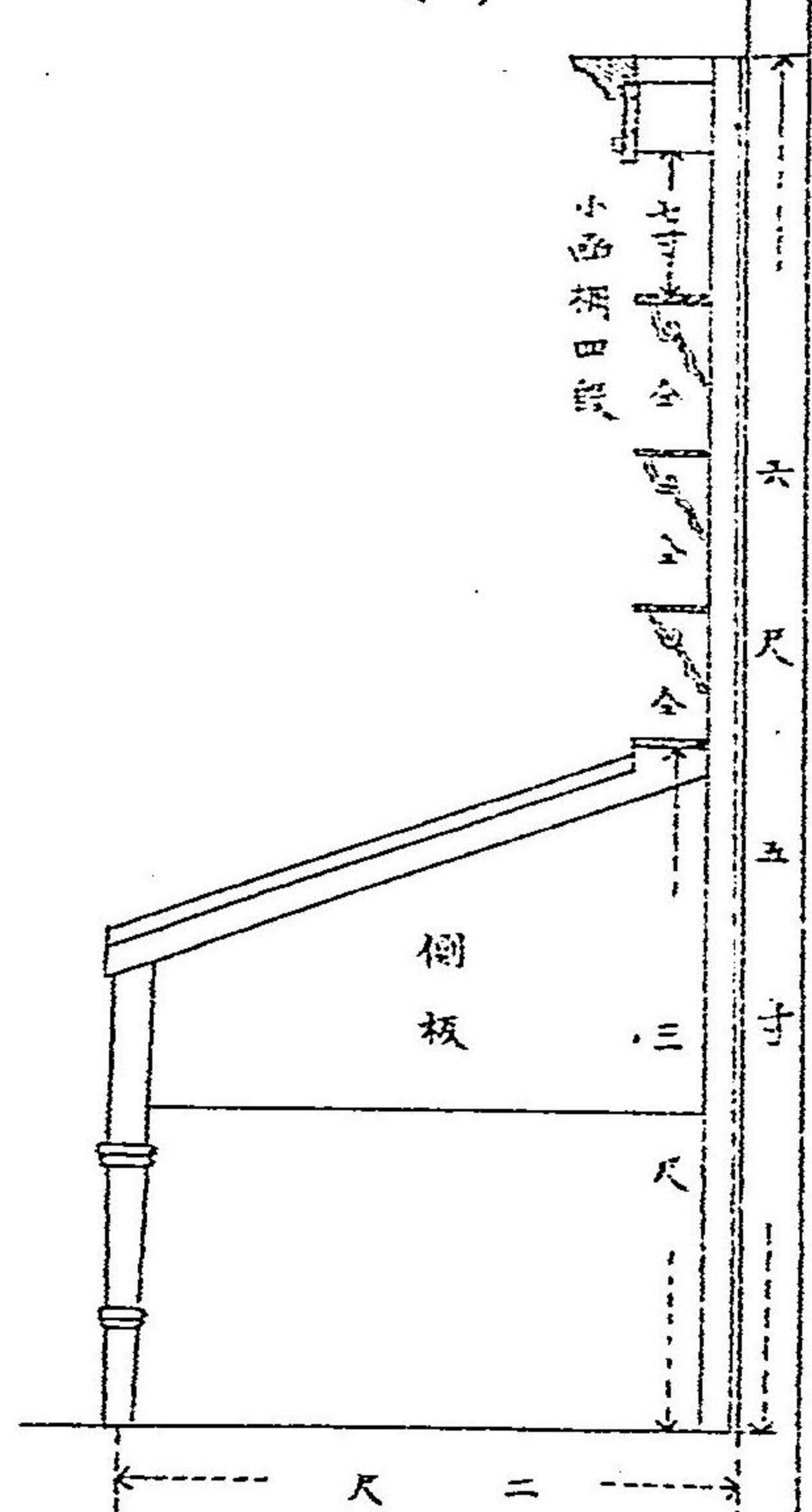
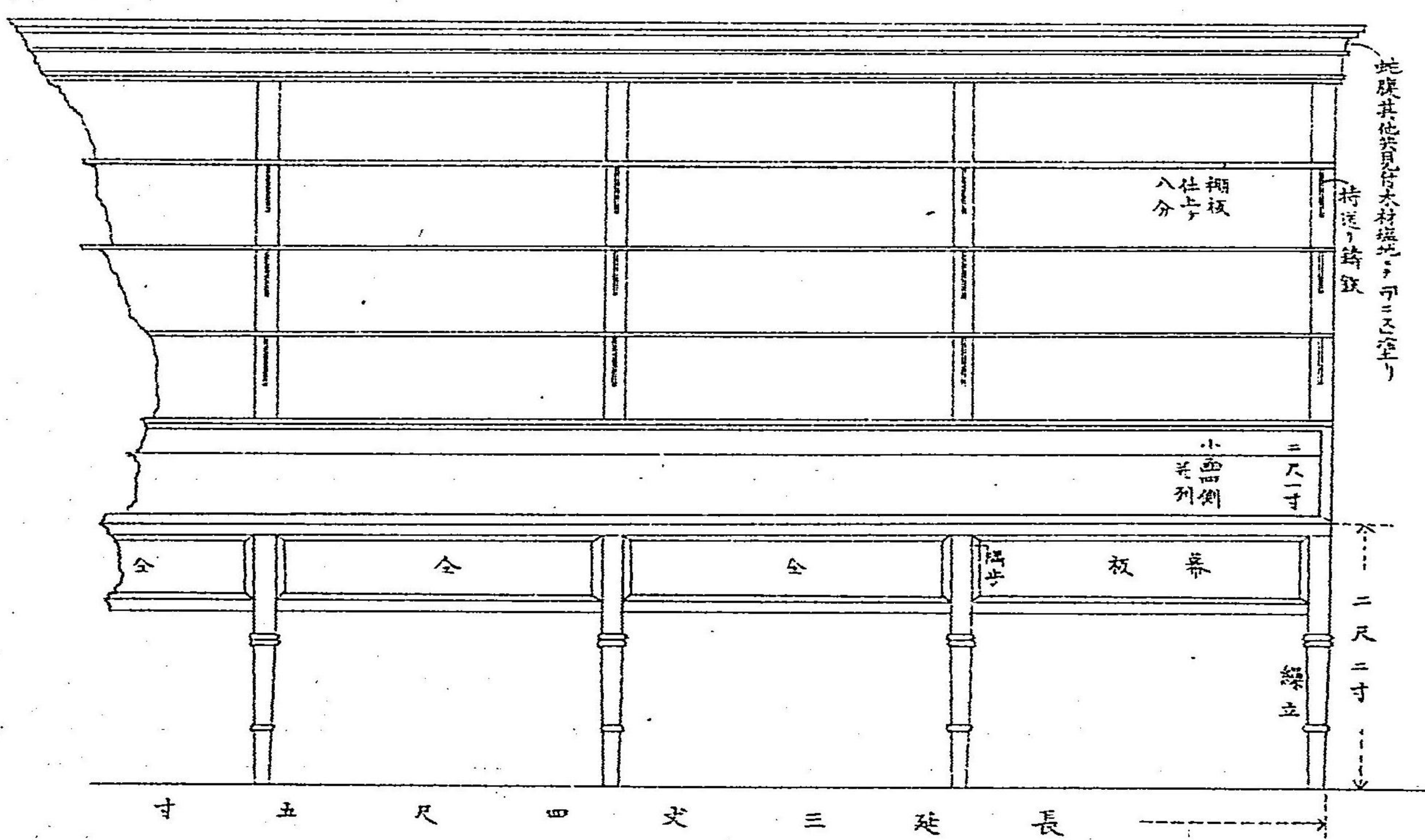
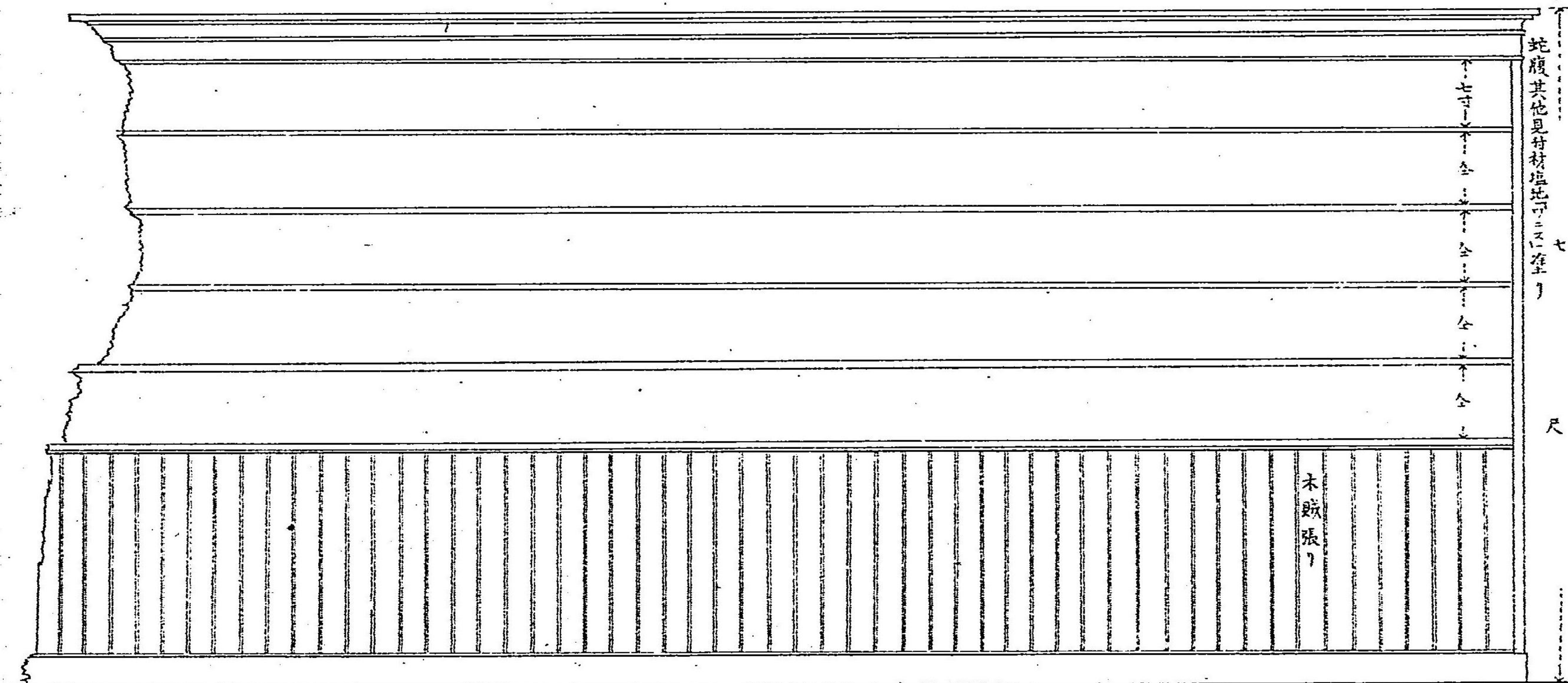


第四圖
農業館 (一)

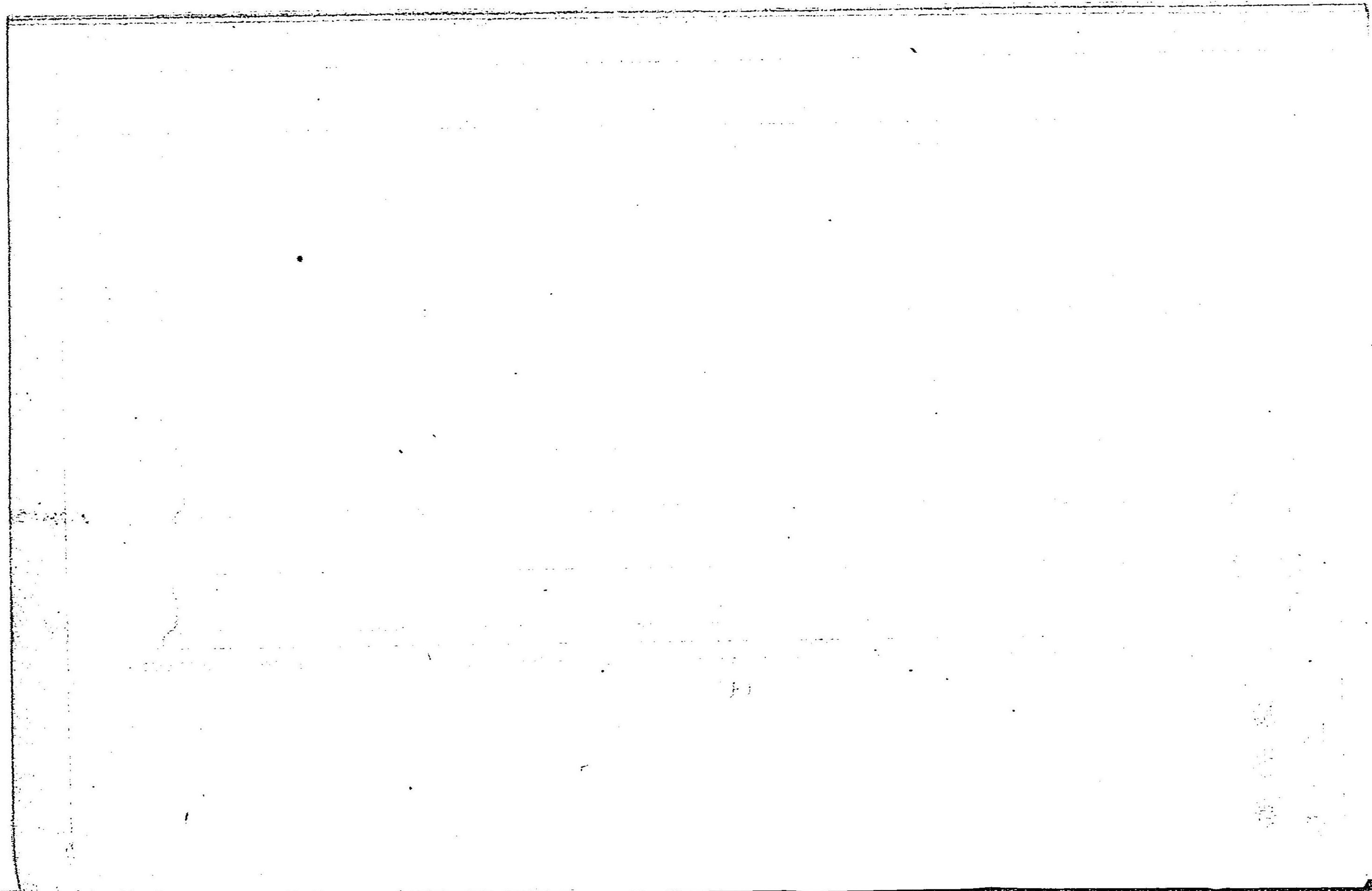


第五圖
農業館

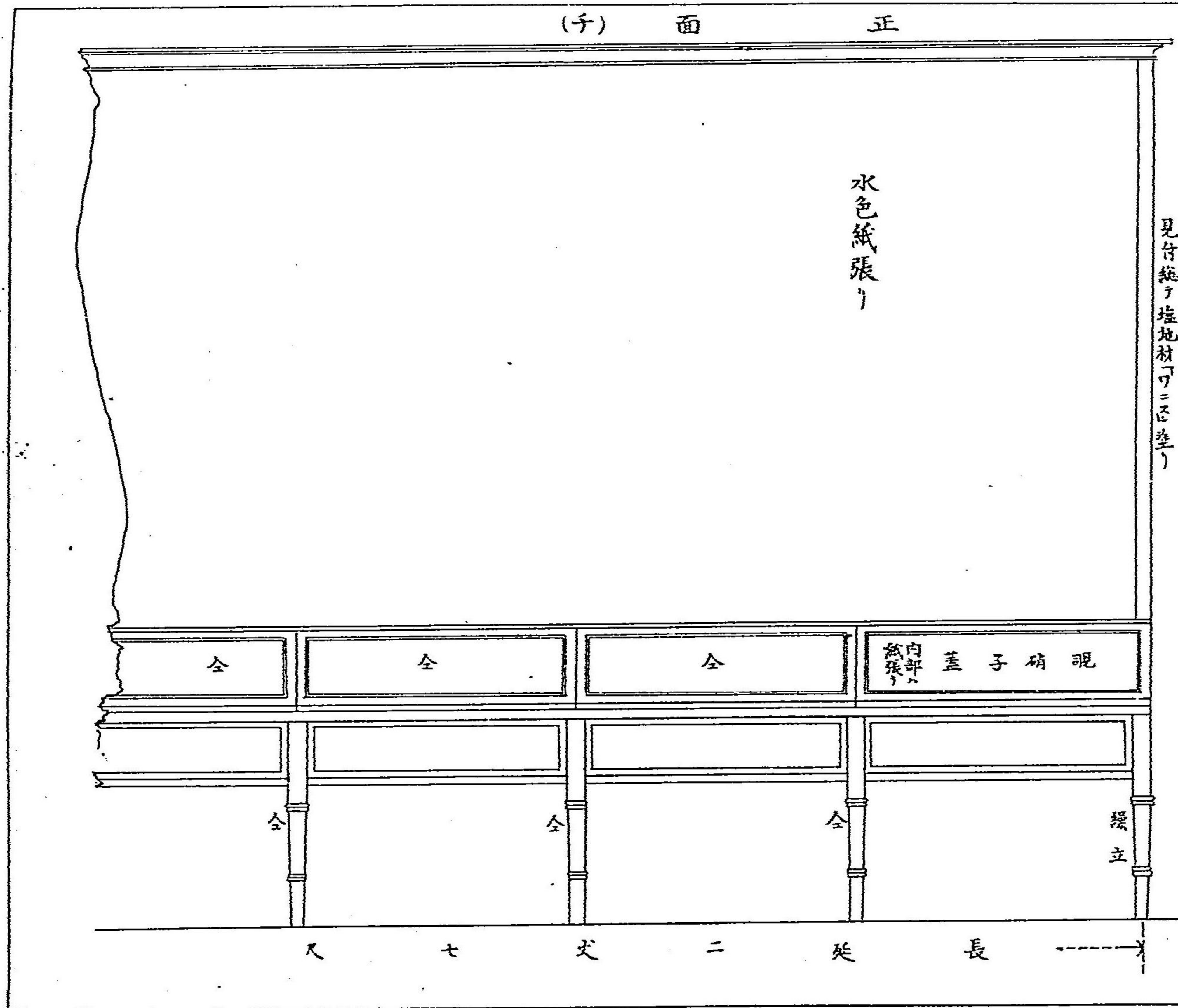
(F)



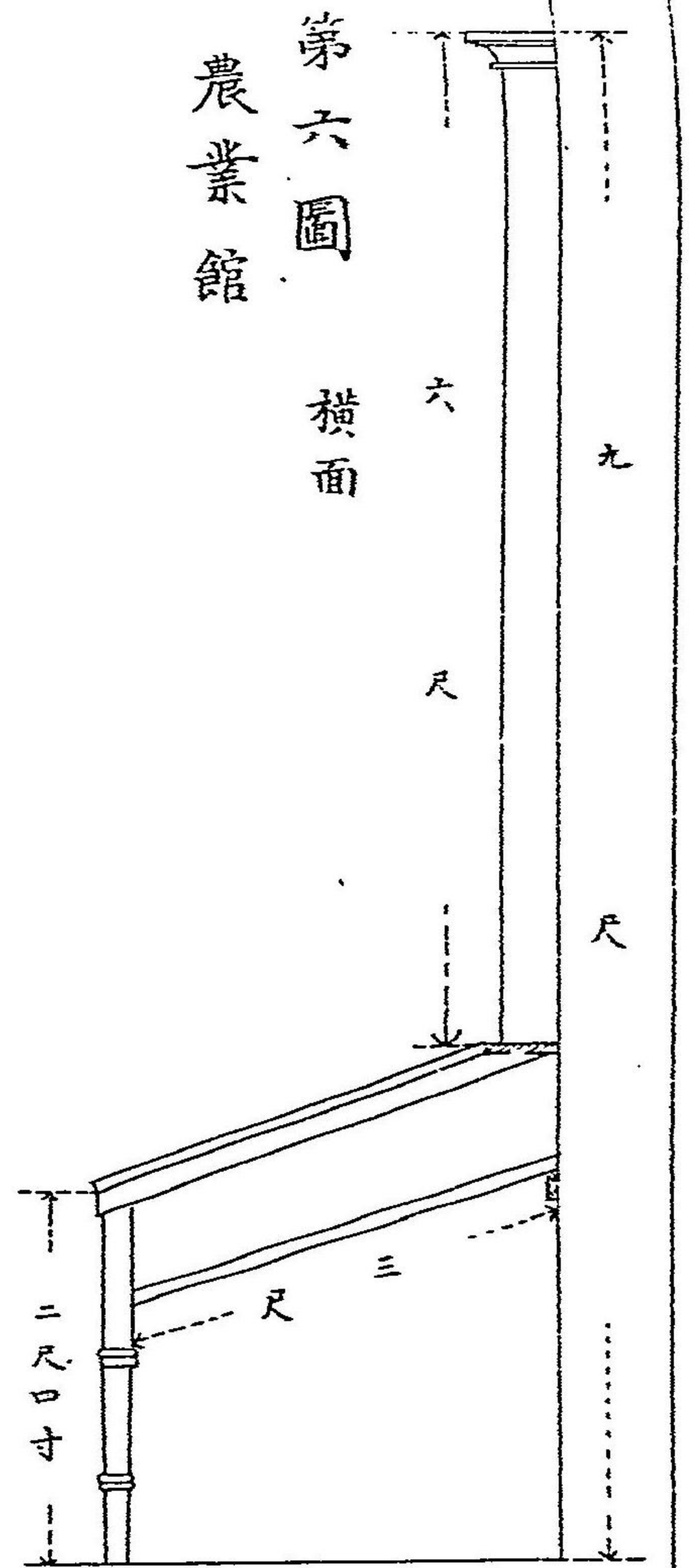
六 尺 五 寸



(子) 面 正



第六圖 農業館

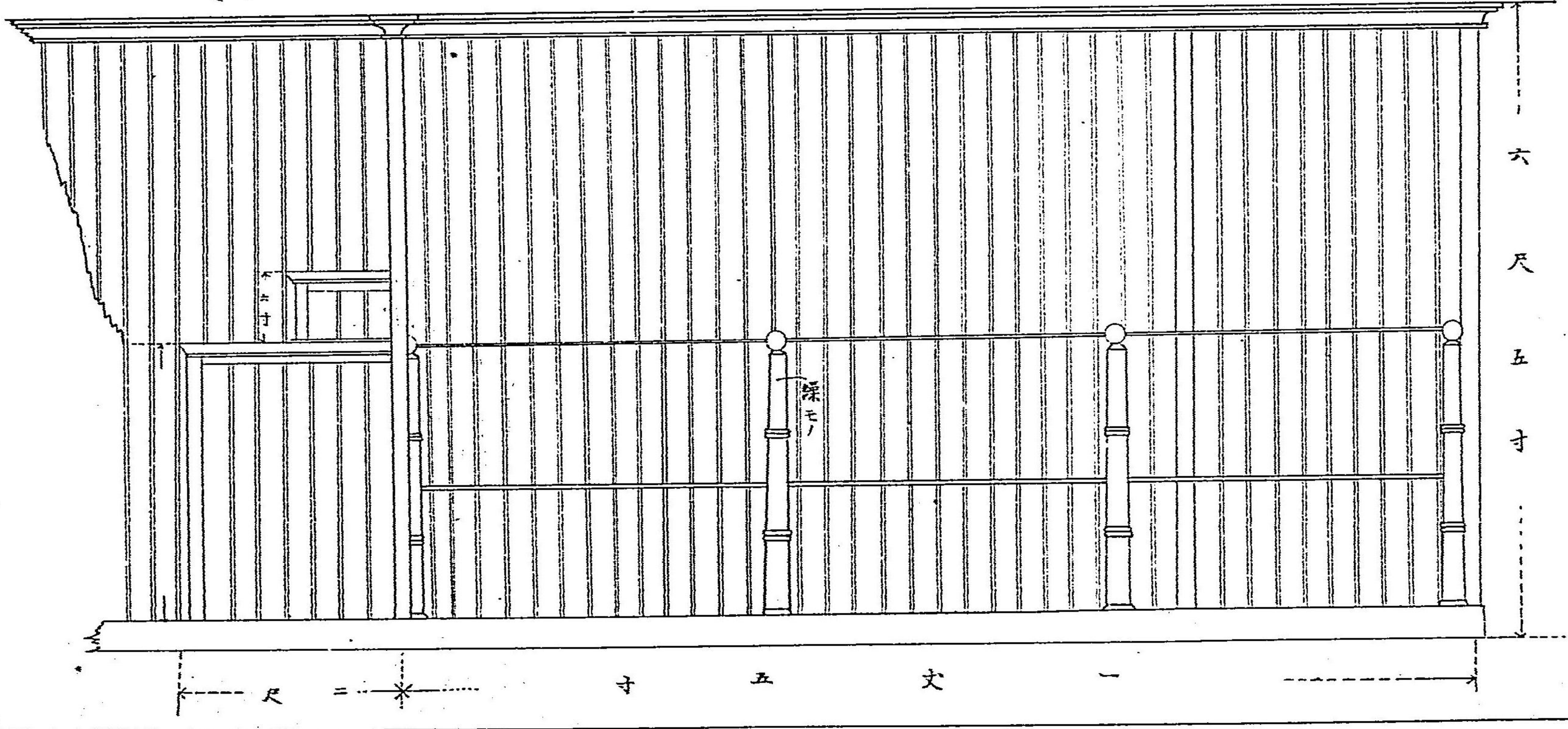


見付紙ノ塩地材(ワニ紙)

内平蓋子硝硯

第七圖
農業館

正 面 (9)
橫 面 (12)

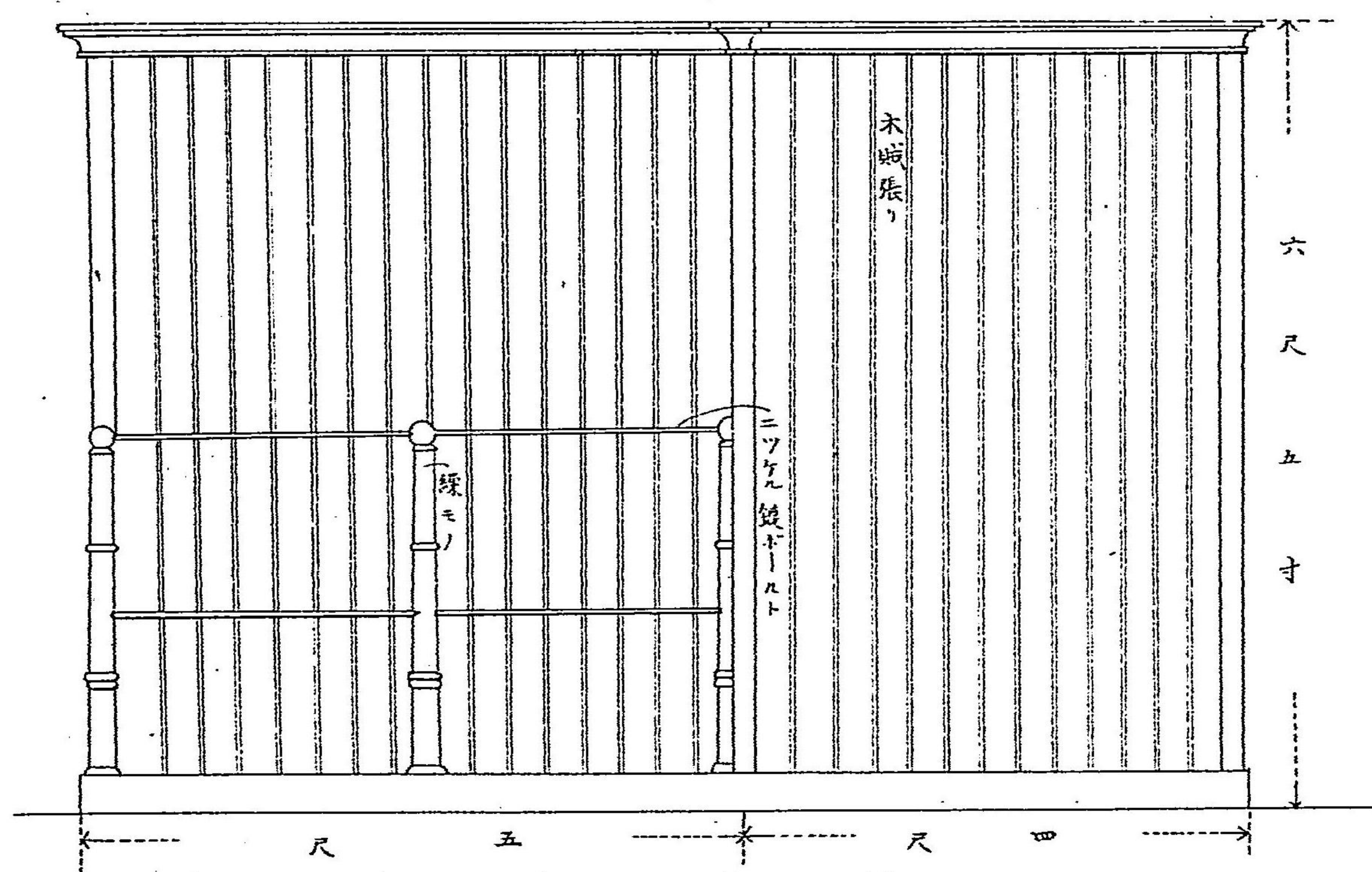


第八圖

農業館

面 横

(又)



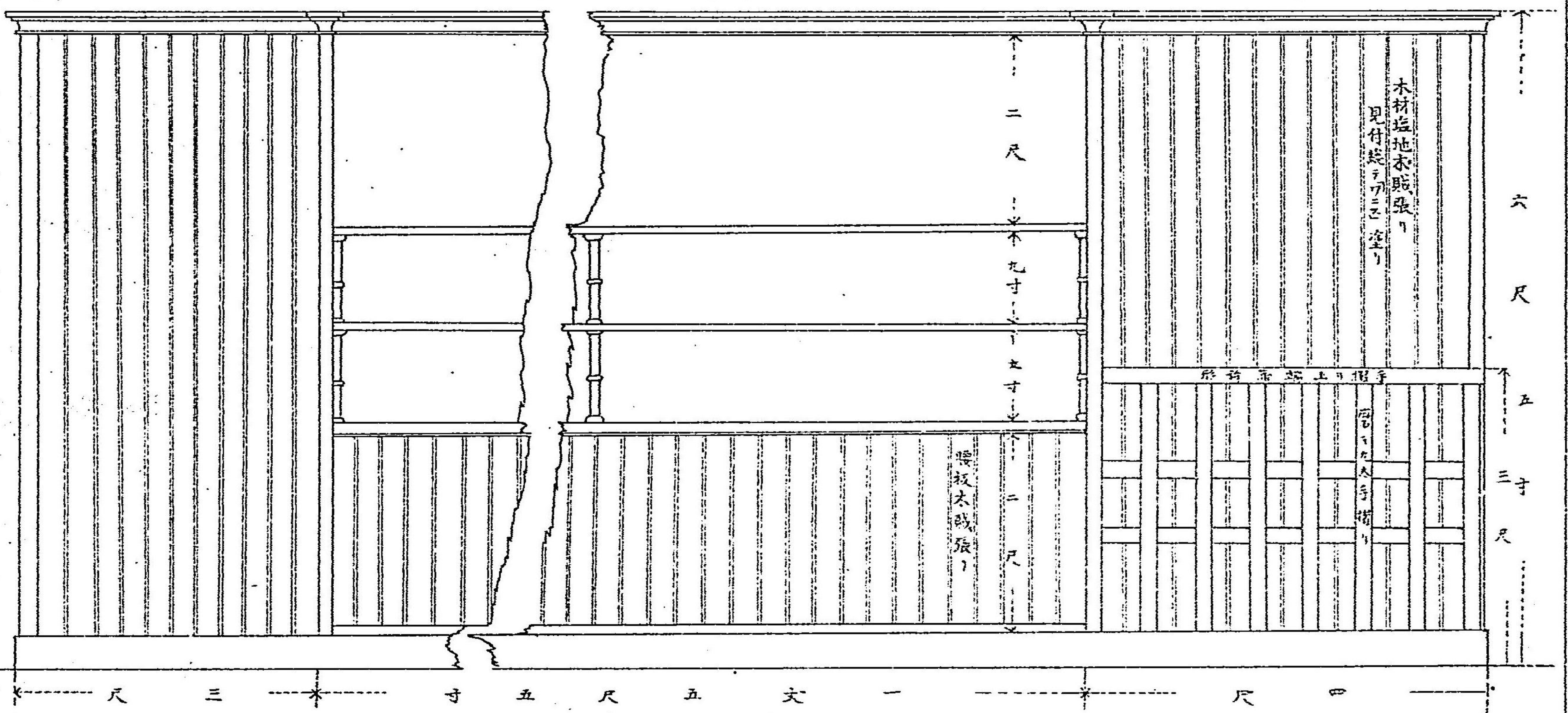
第九圖
農業館

正面

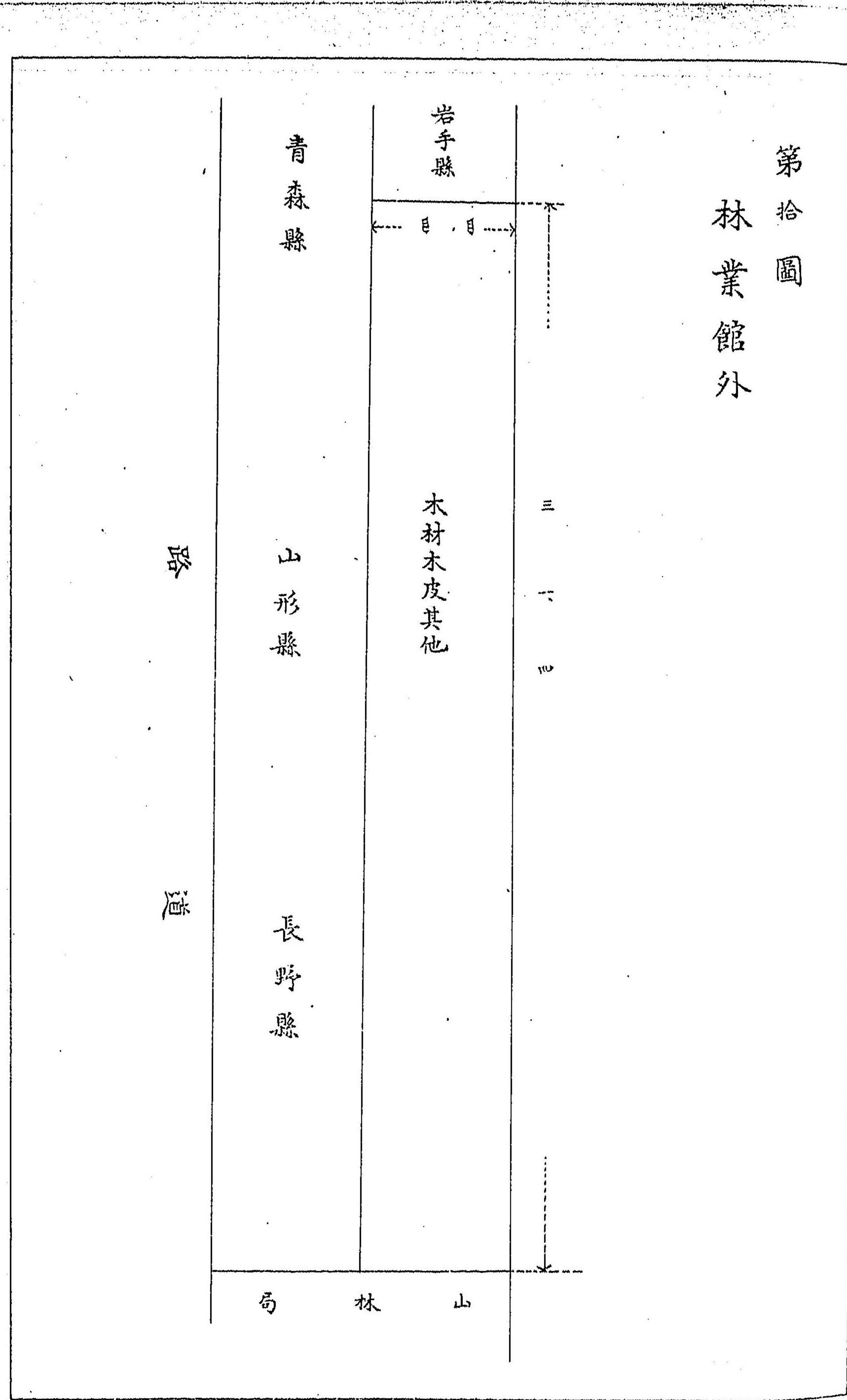
(カ)

(ク)

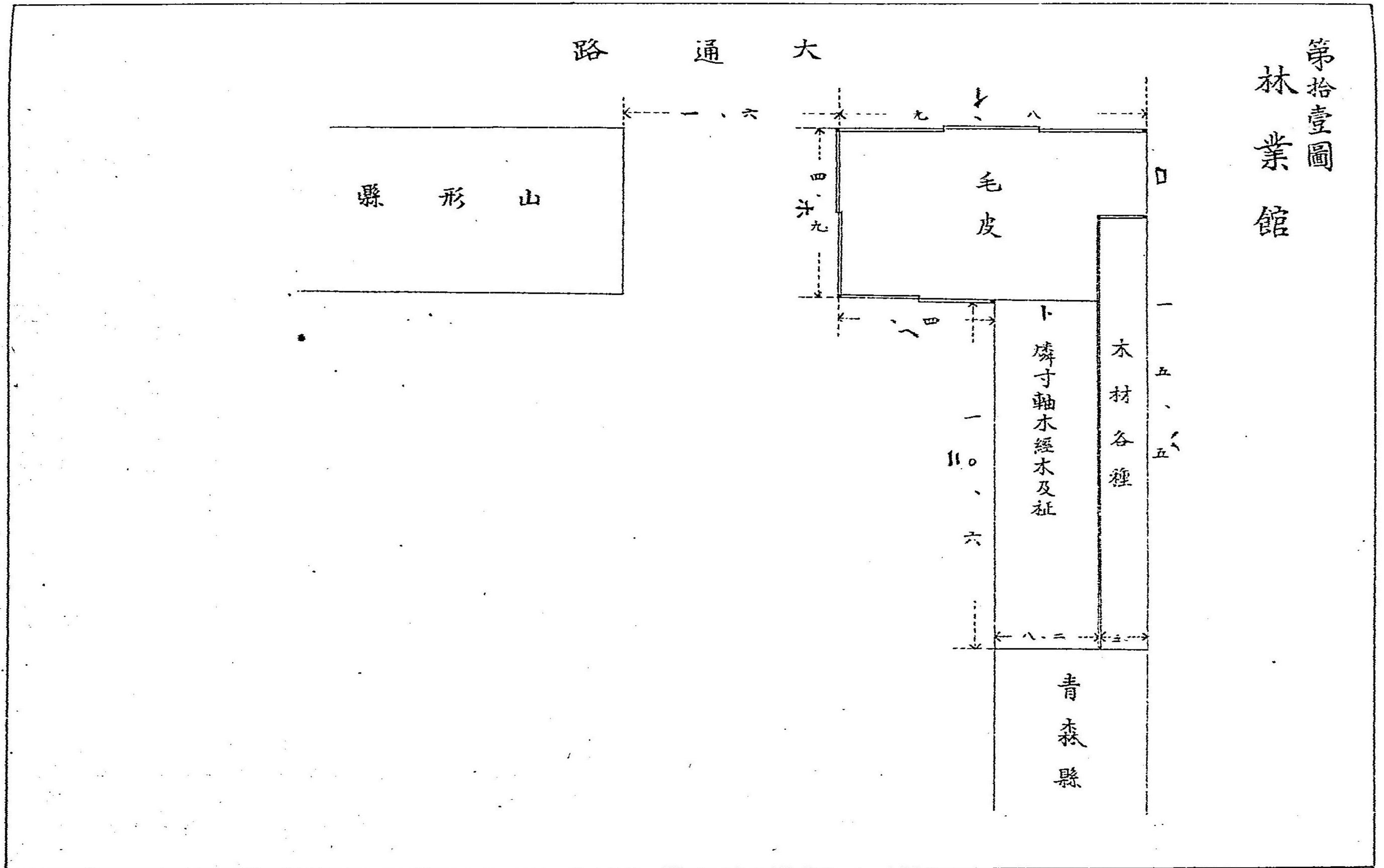
(ケ)



第拾圖
林業館外



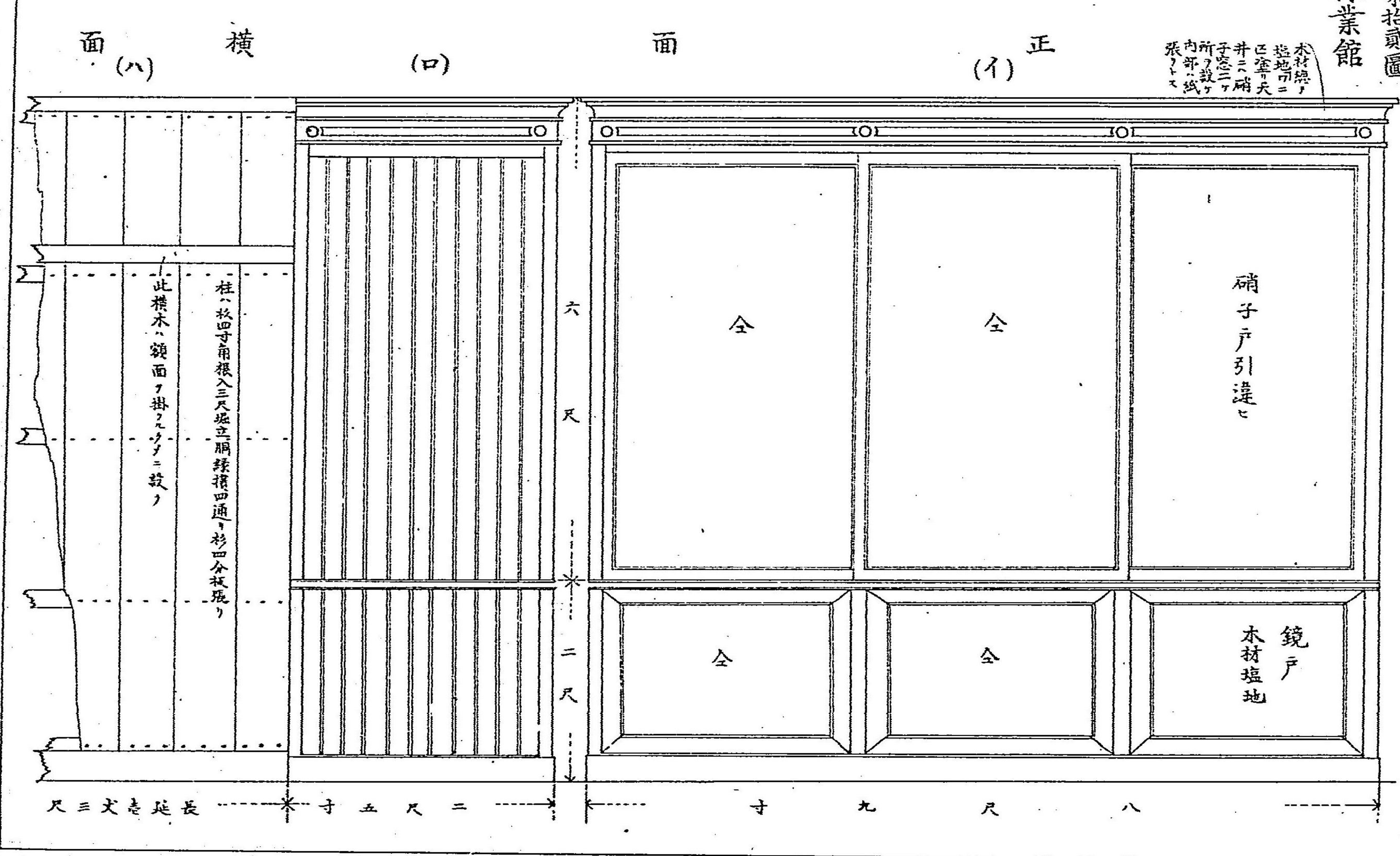
第拾壹圖
林業館



林業館
設計圖

第拾貳圖
林業館

木材總
造地可
區全大
井二附
子窓二
所ノ設
内并紙
張ノ

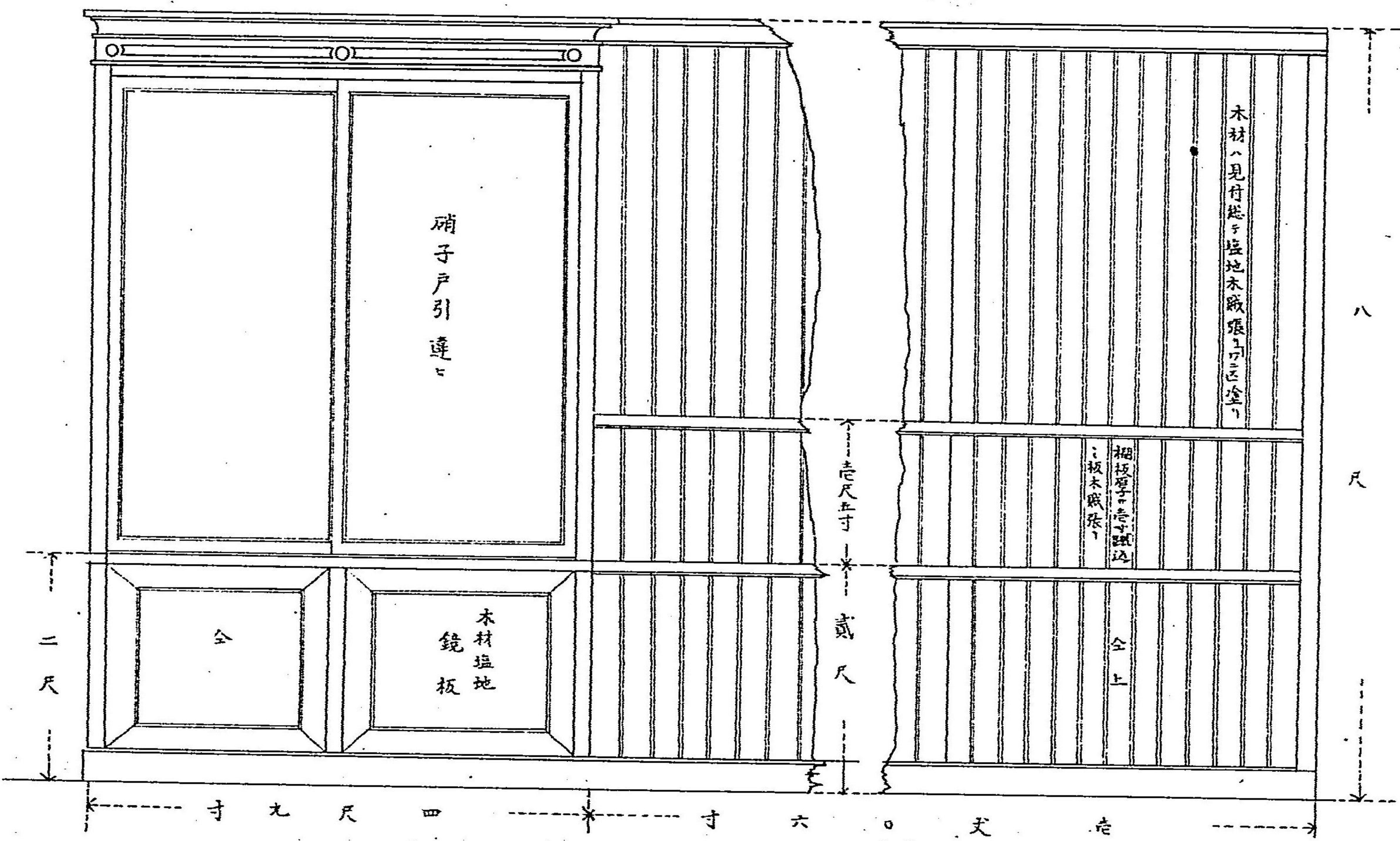


第拾參圖
林業館

面 橫

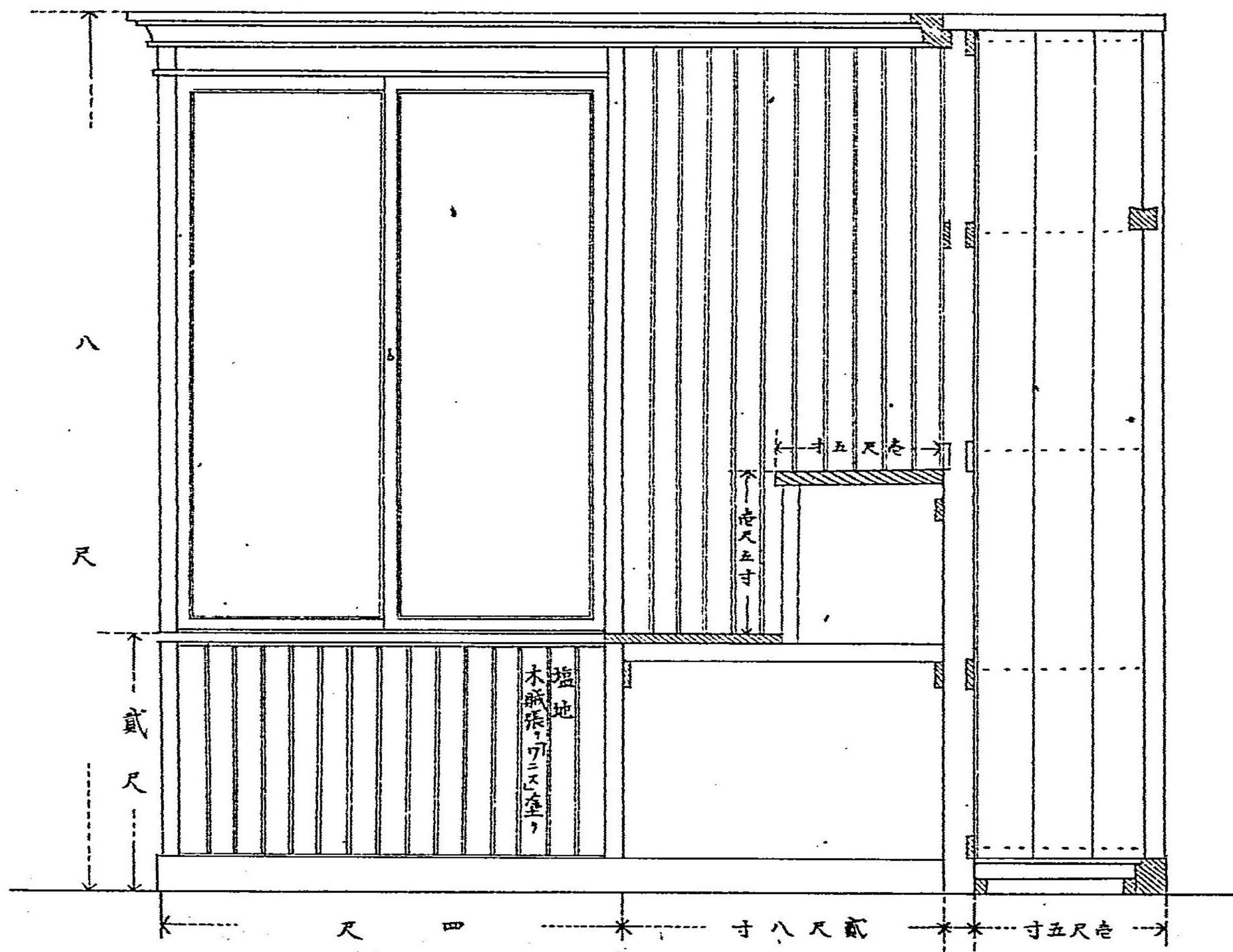
(亦)

(=)



第拾四圖
林業館

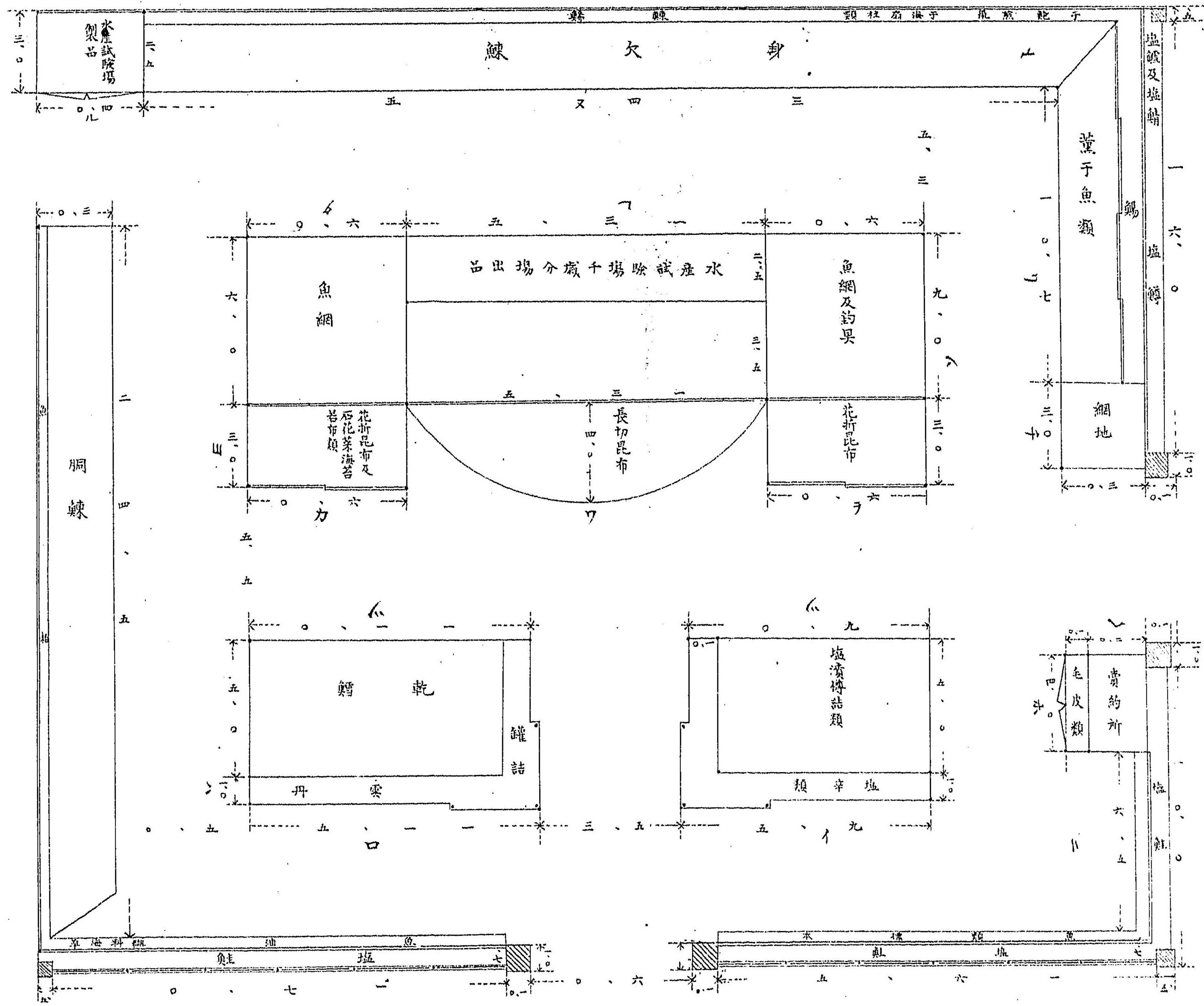
横断面
(ト)



Faint, illegible text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.

Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

第拾五圖
水產館



第拾六圖
水産館

高 八 尺

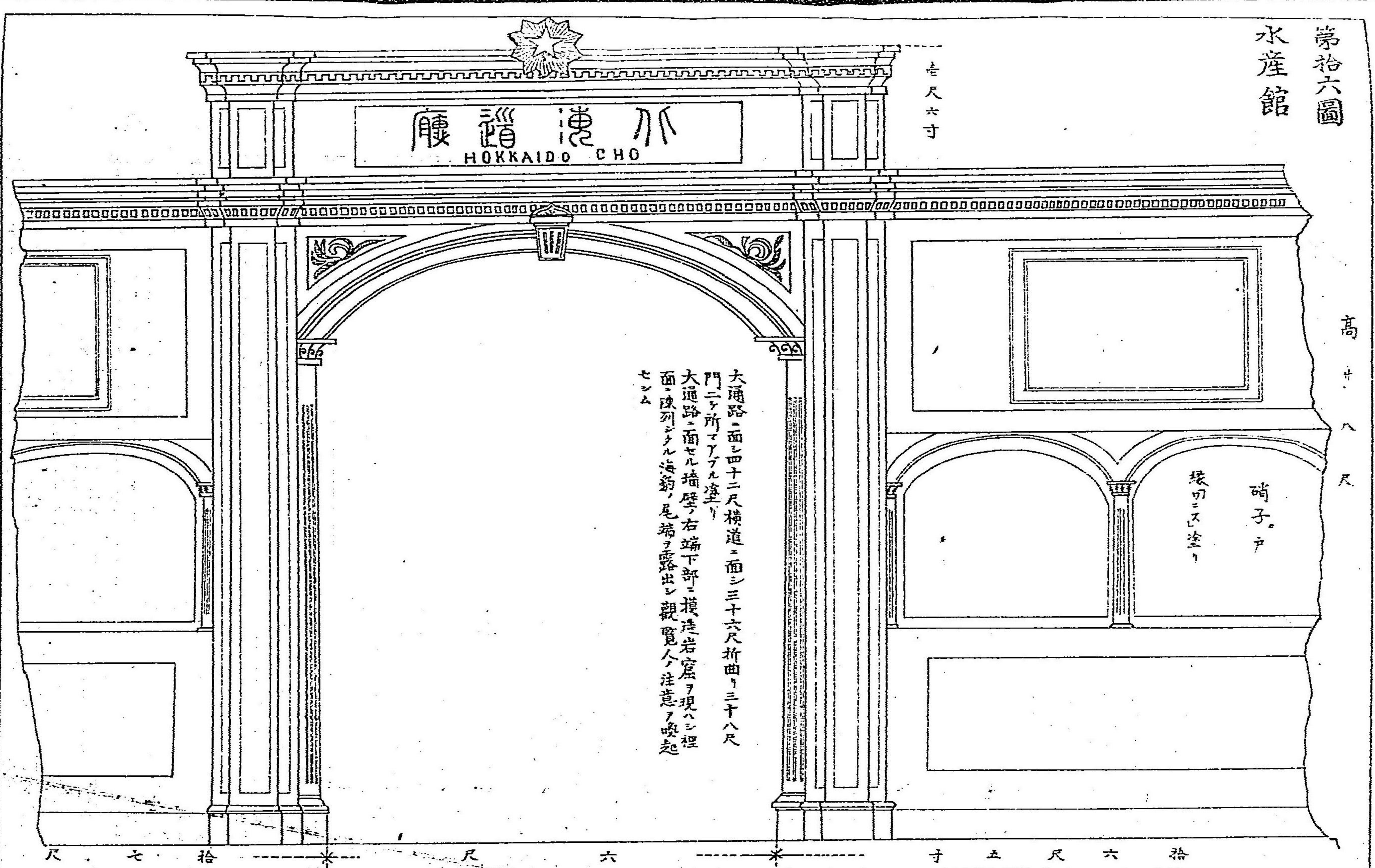
吉 尺 六 寸

小 港 階 廳
HOKKAIDO CHO

硝子戸
縁切込塗り

大通路ニ面シ四十二尺横道ニ面シ三十六尺折曲リ三十八尺
門ニテ所マアケル塗リ
大通路ニ面セル牆壁右端下部ニ損達岩窟ヲ現ハシ裡
面ニ陳列セル海釣ノ尾端ヲ露出シ觀覽ノ注意ヲ喚起
セム

尺 七 拾 * 尺 六 * 寸 五 尺 六 拾



第拾八圖
水産館

面 (一) 横

(ホ)

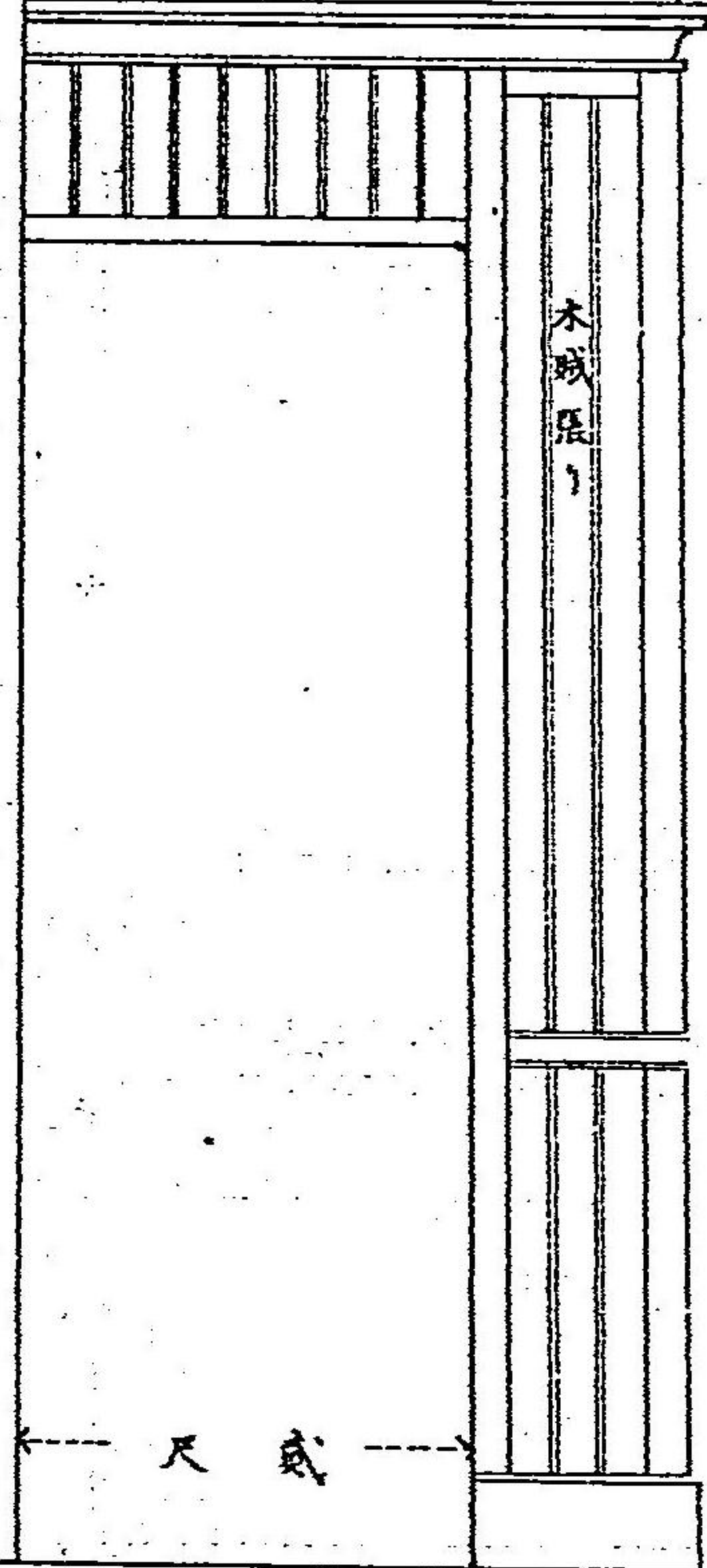
面 正

(ニ)

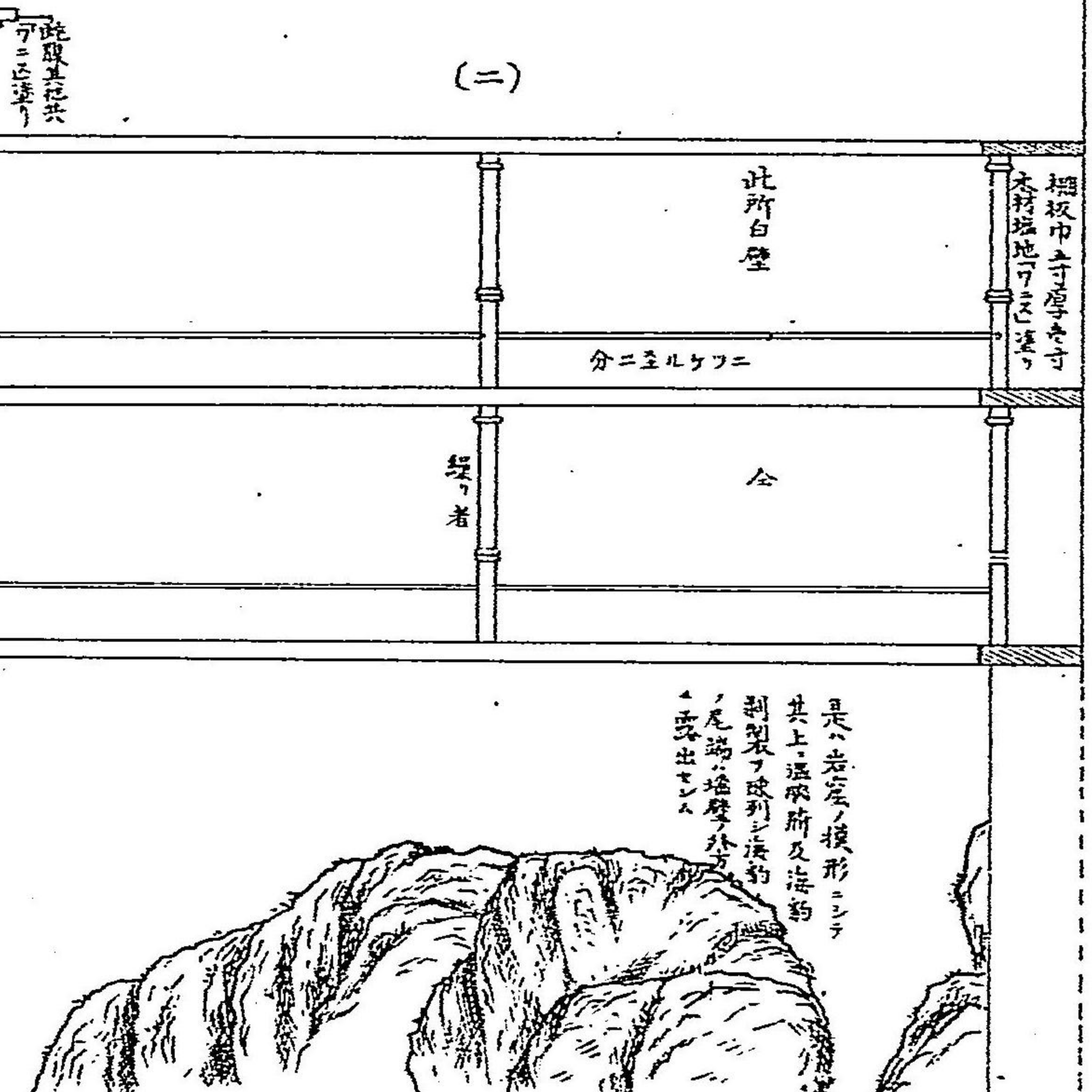
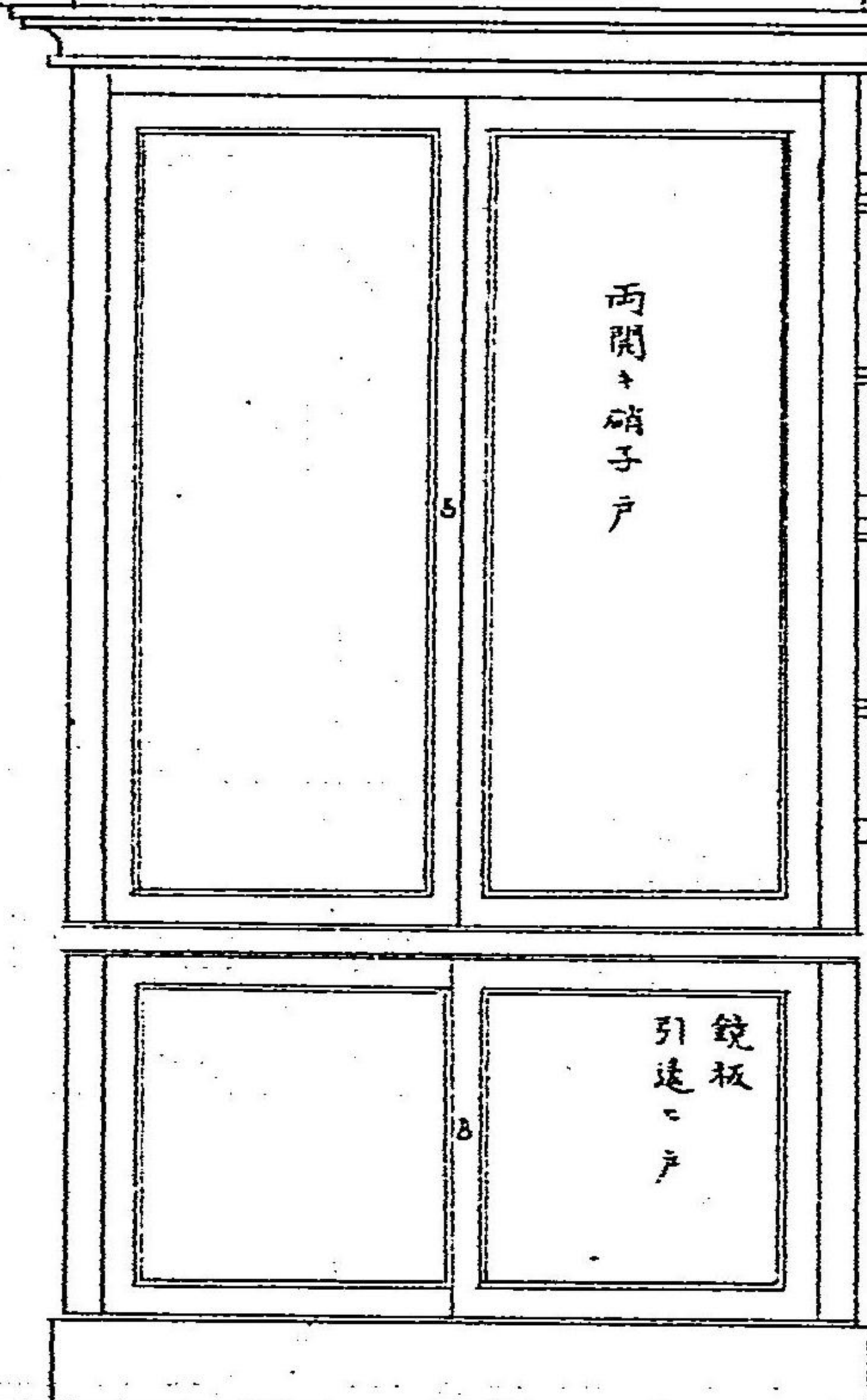
尺 三

尺 四

寸 五 尺 六



七
尺



此取共
分ニニルケラフニ

細板巾寸厚寸
本材地可ニ通シ

是ハ岩屋ノ模形ニシテ
其上ニ窓所及海釣
割取ヲ成列シ海釣
ノ足跡(地盤)外
ニ露出セン

尺 貳

第貳拾圖
水産館

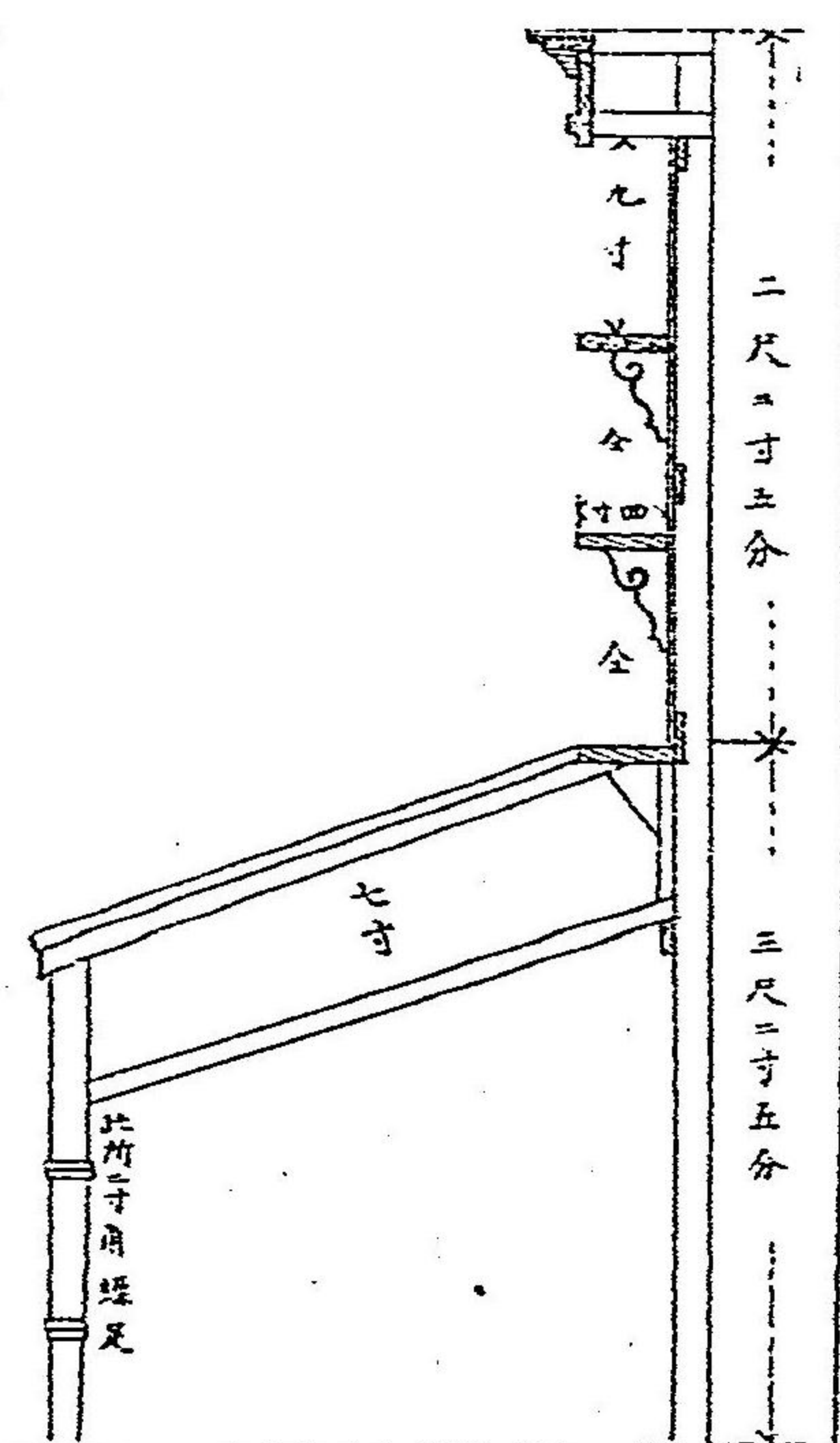
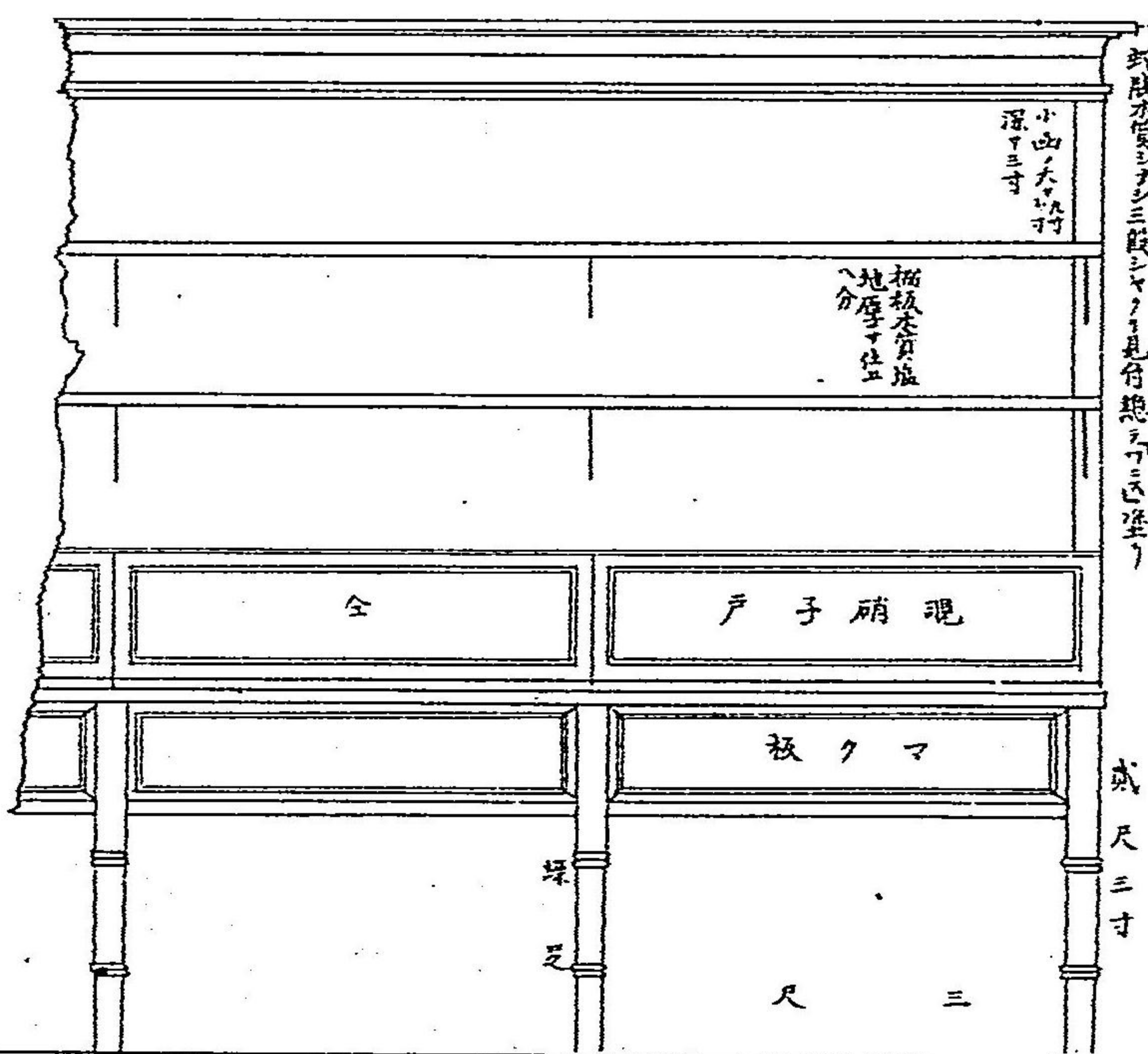
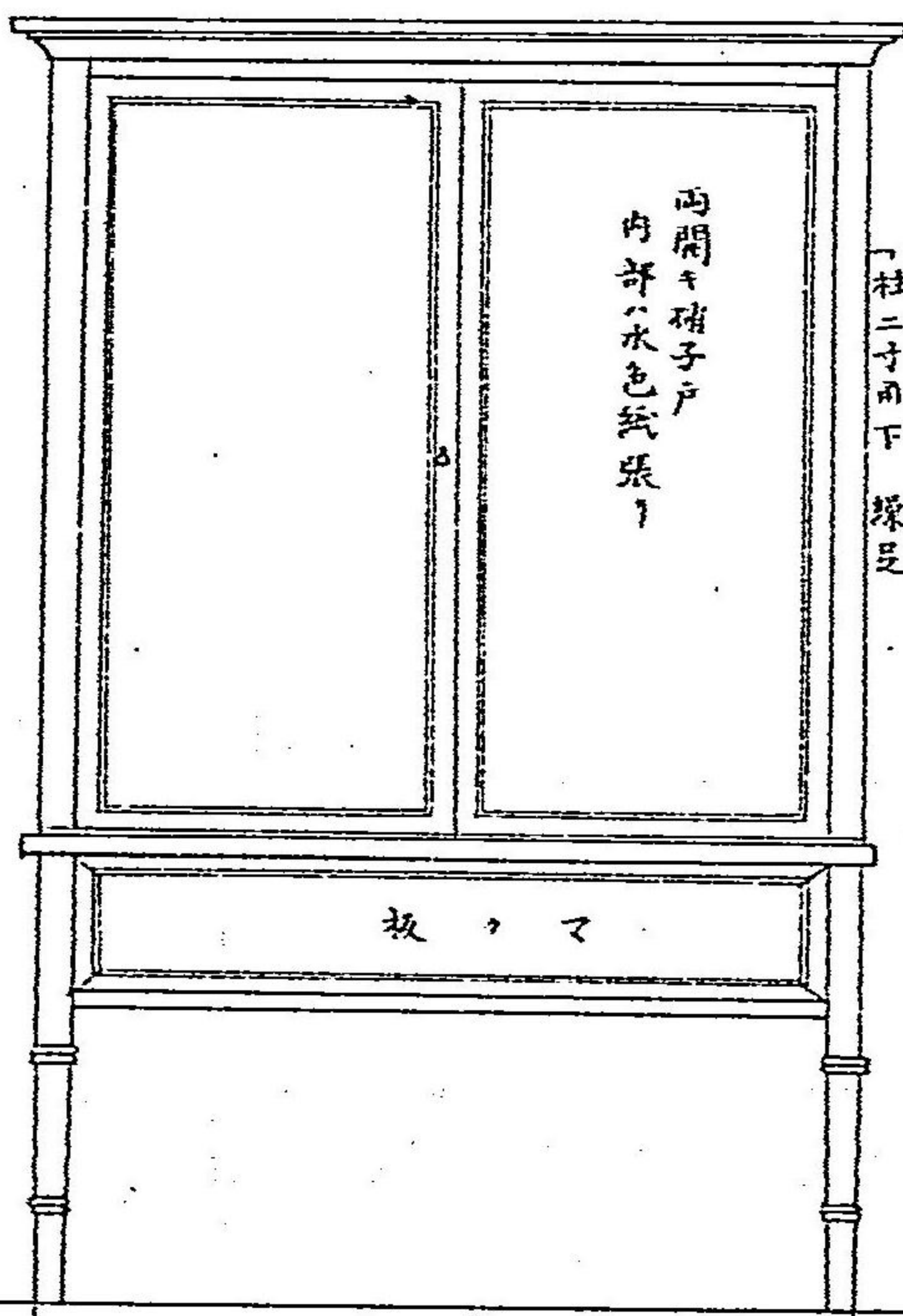
面断横

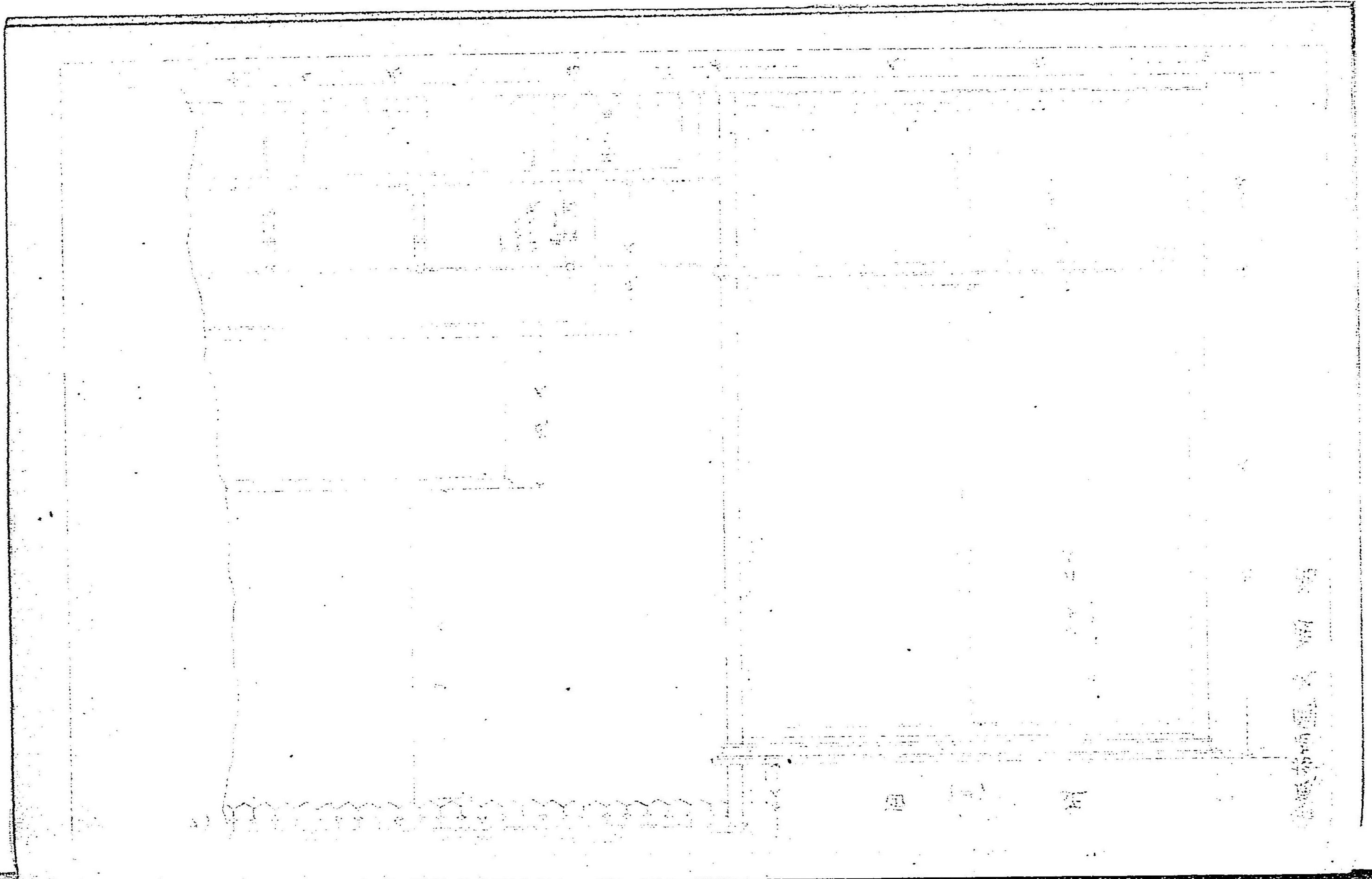
身丈躰及飾
陳列棚
長延三大四尺五寸

面正

(九)

(又)

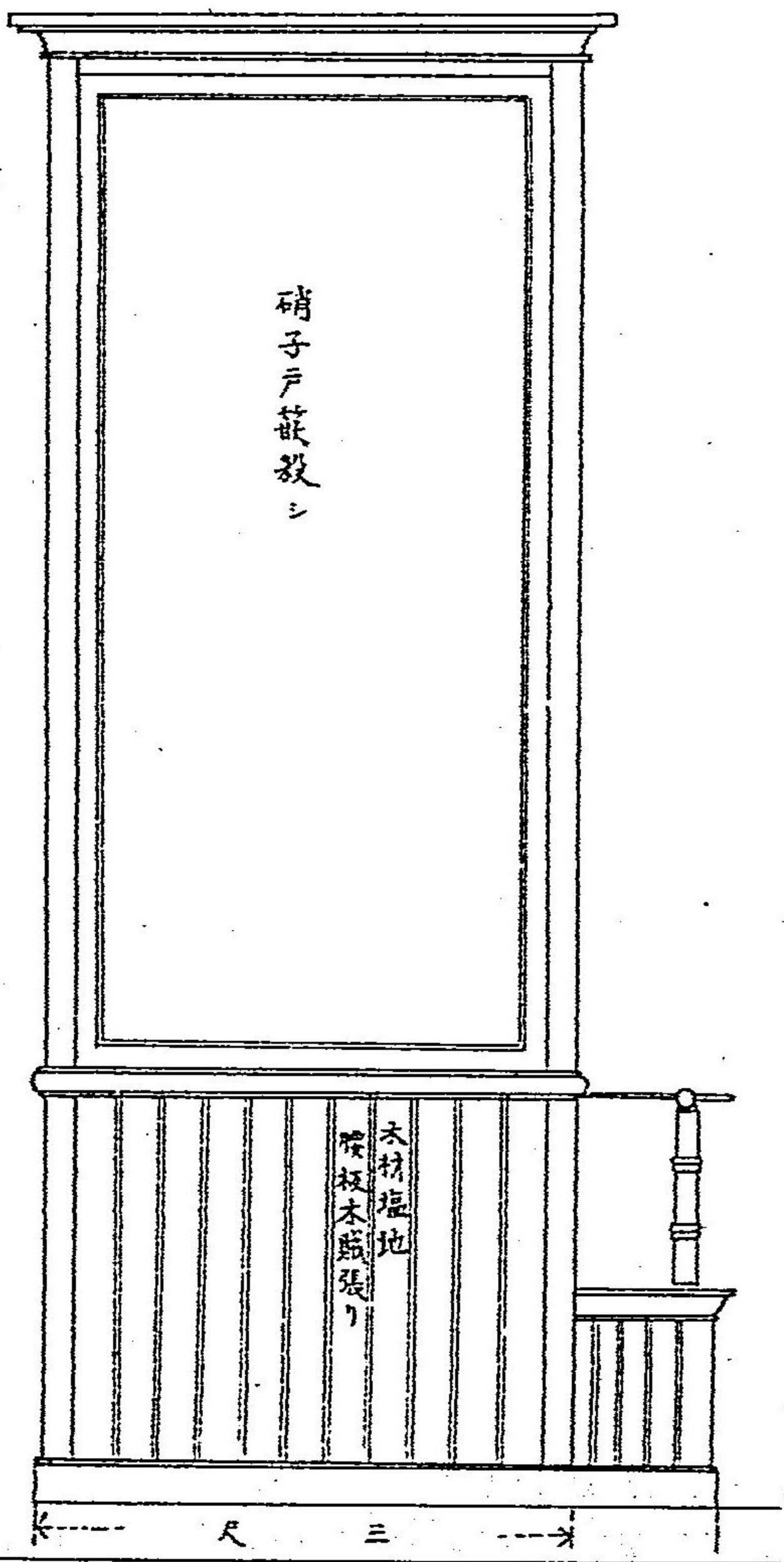




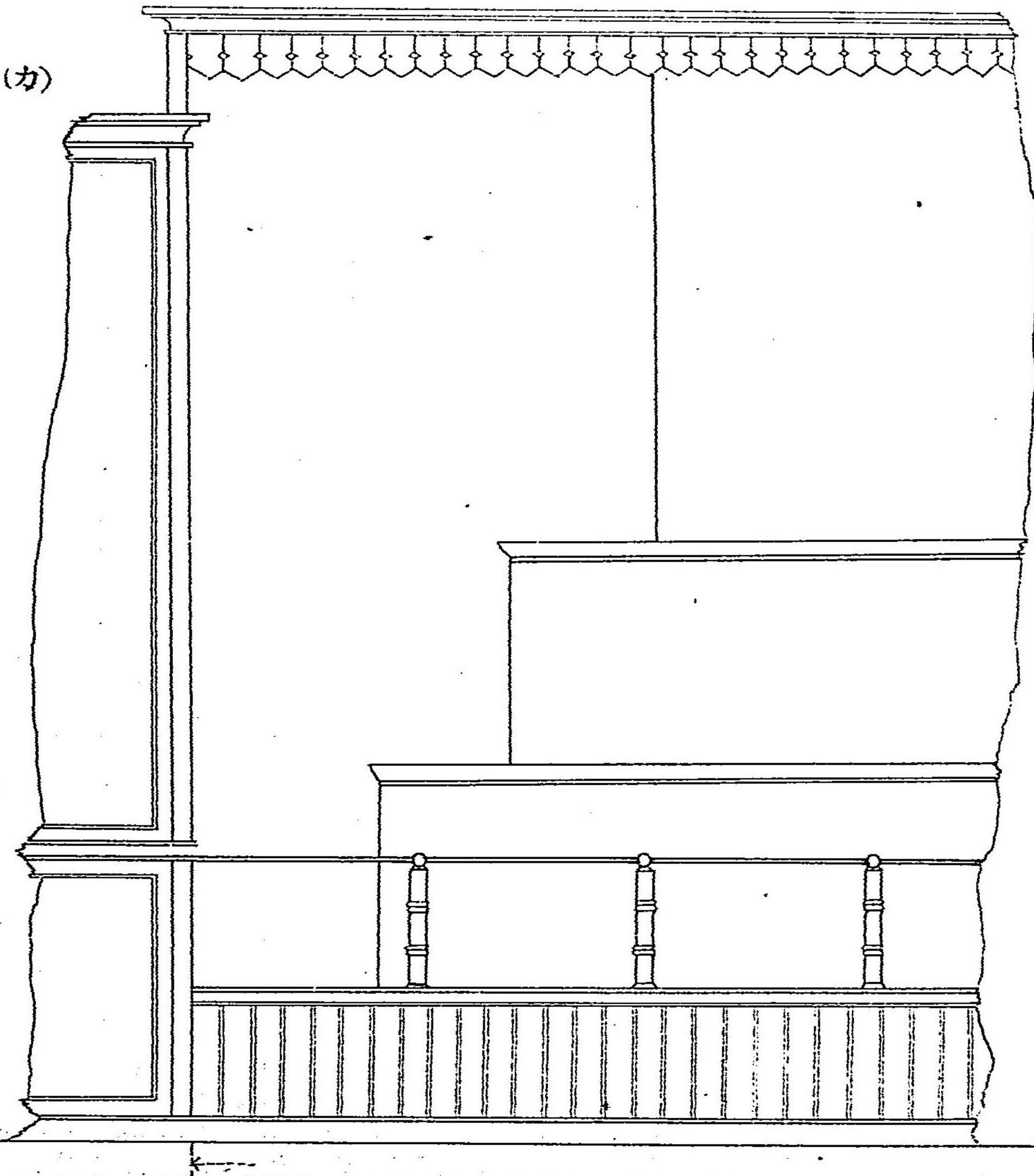
第一拾貳圖

水産館

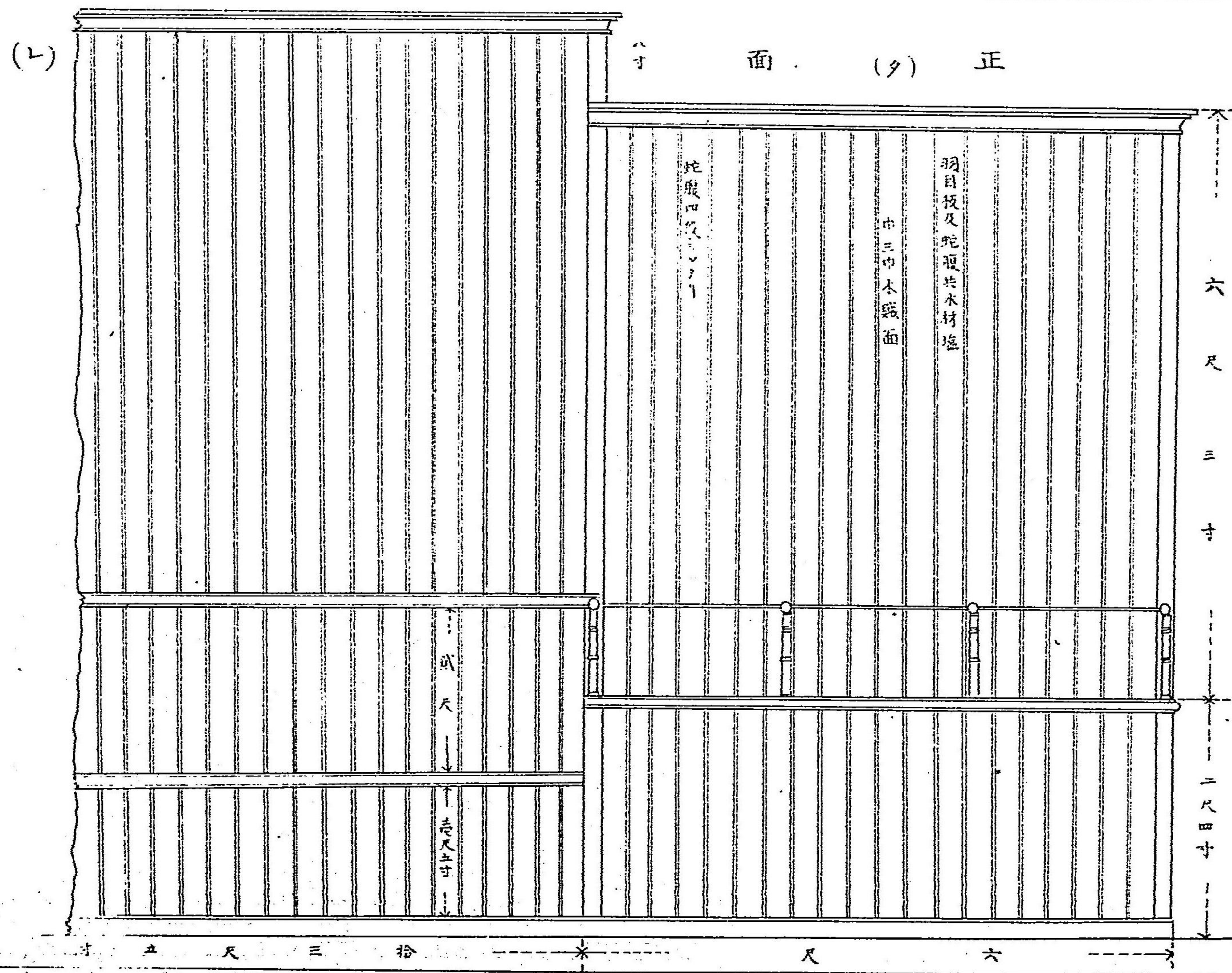
面 (ヨ) 側



(カ)



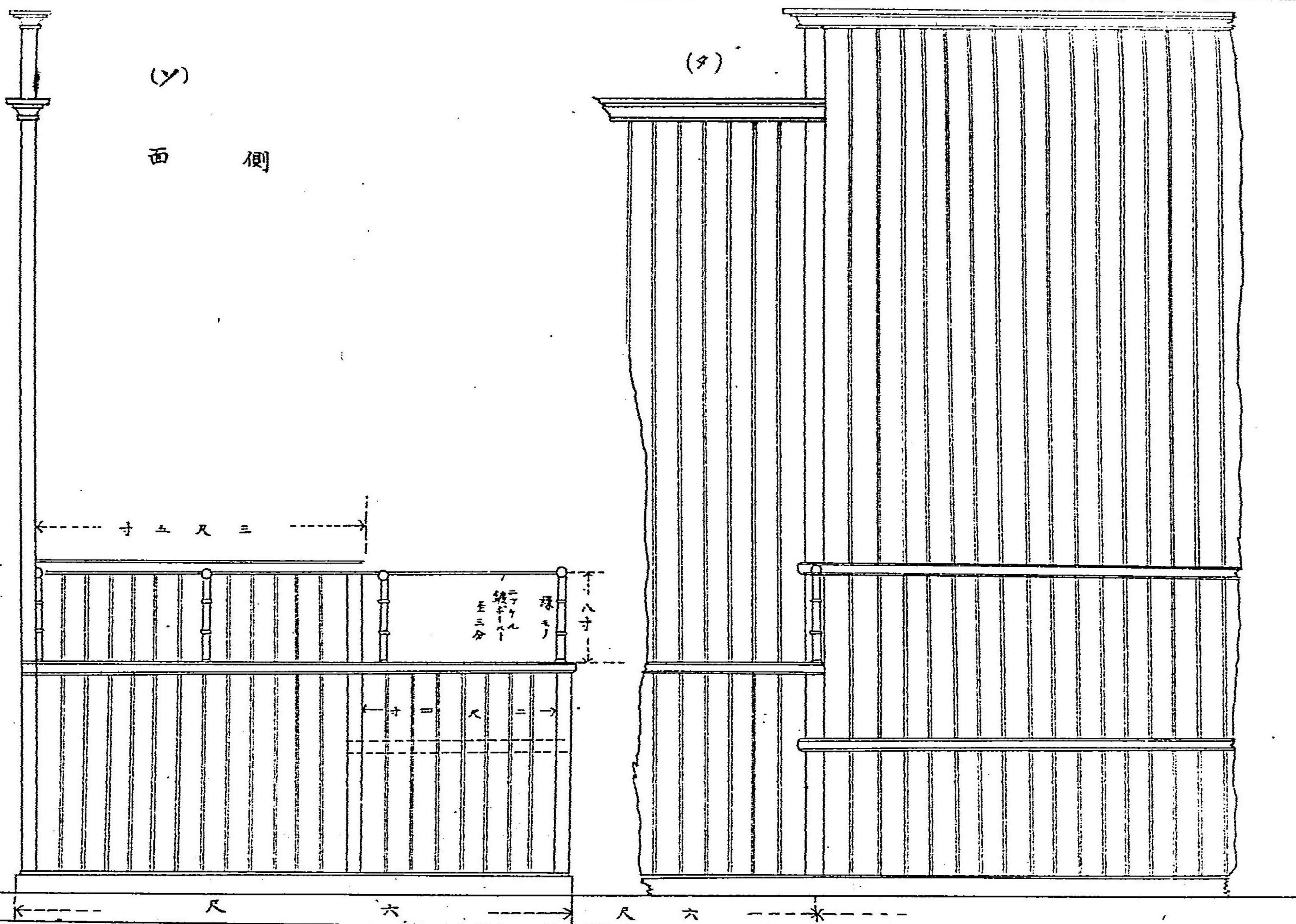
第貳拾叁圖 水産館

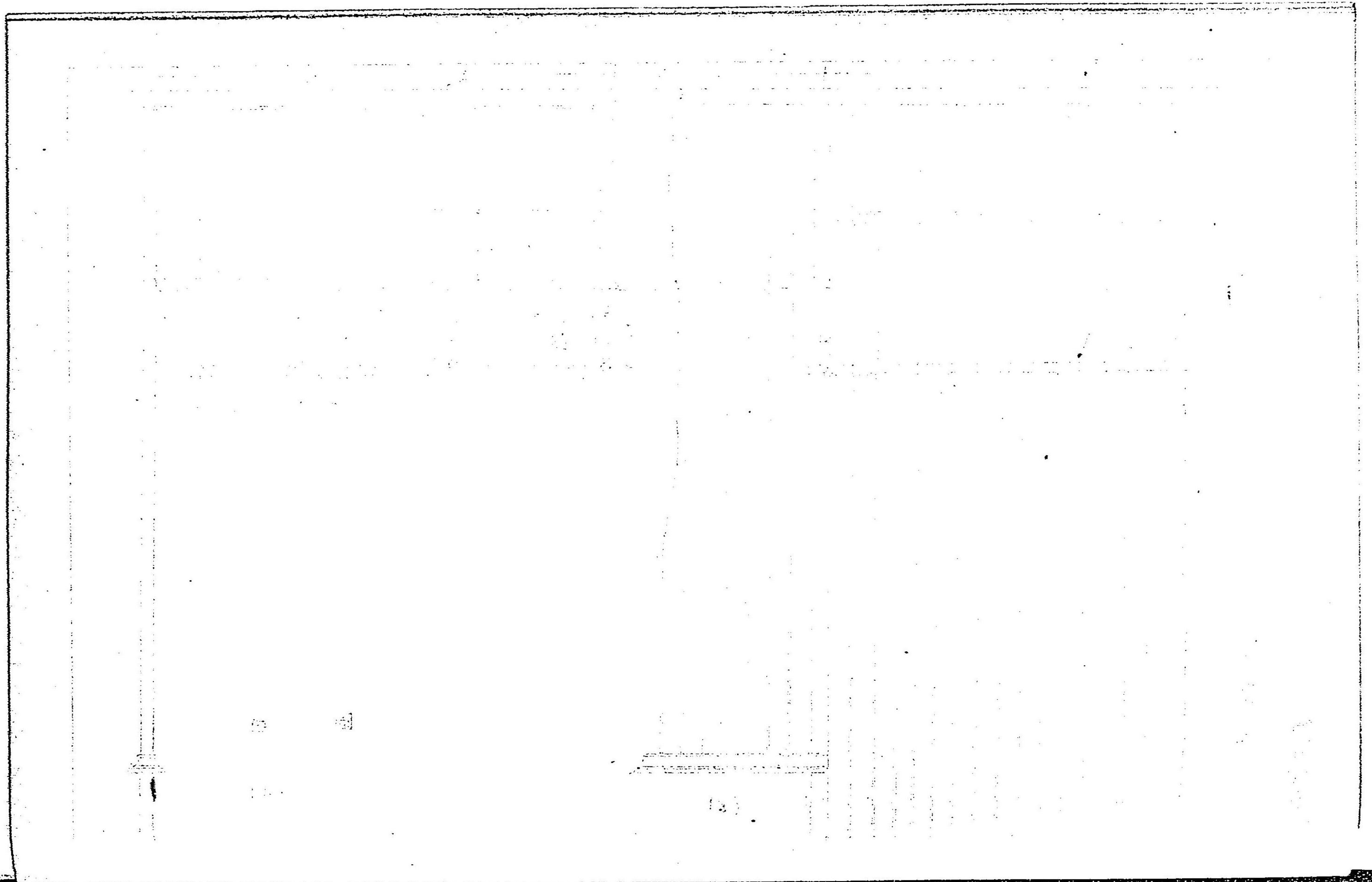


(7)

(7)

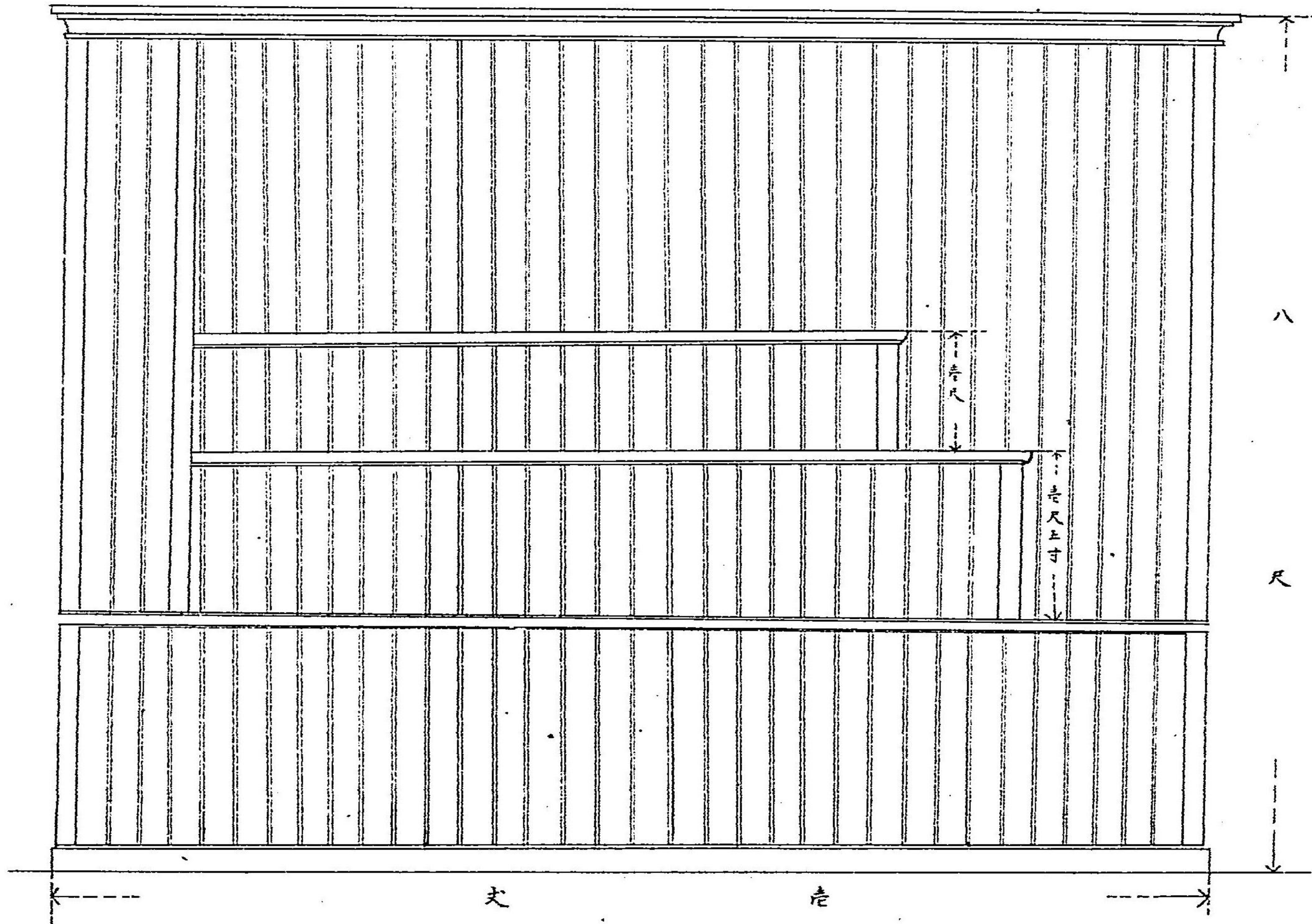
西側



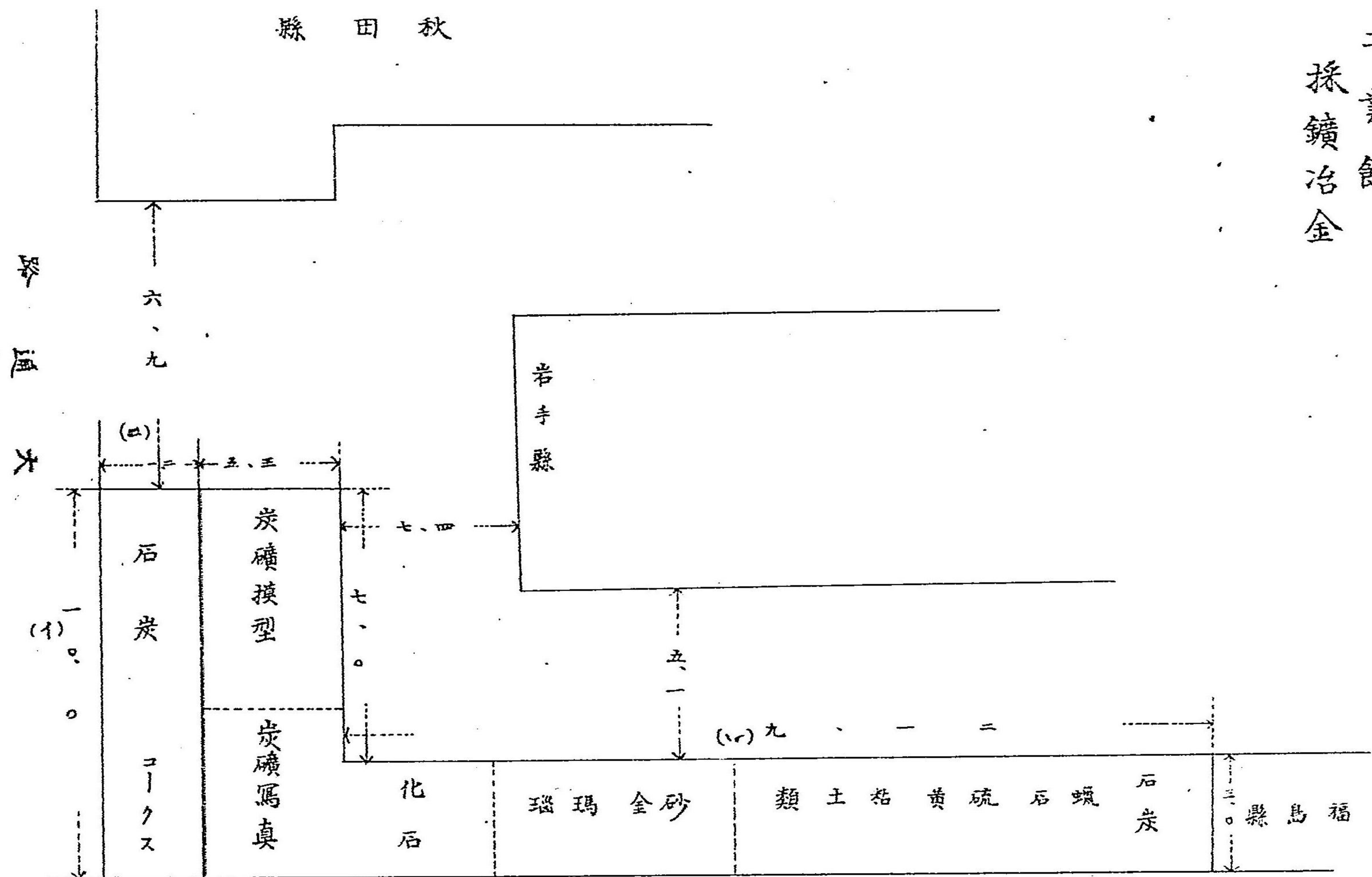


第貳拾五圖
水産館

(ツ)



第貳拾六圖
工業館
採鑛冶金



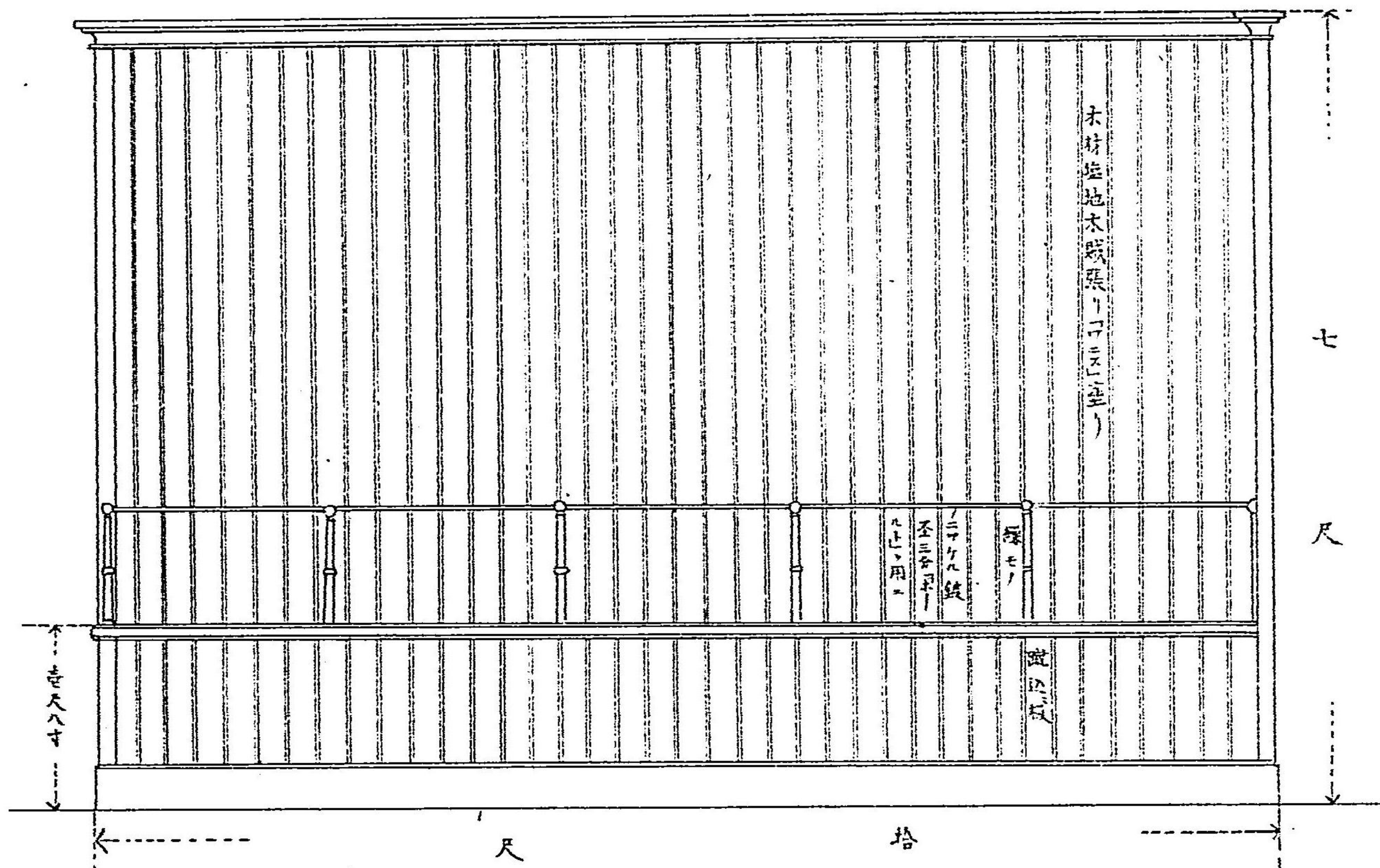
第七拾圖

工業館

採鑛冶金

炭礦會社陳列

正 面 (1)



第貳拾九圖

工業館

採鑛冶金

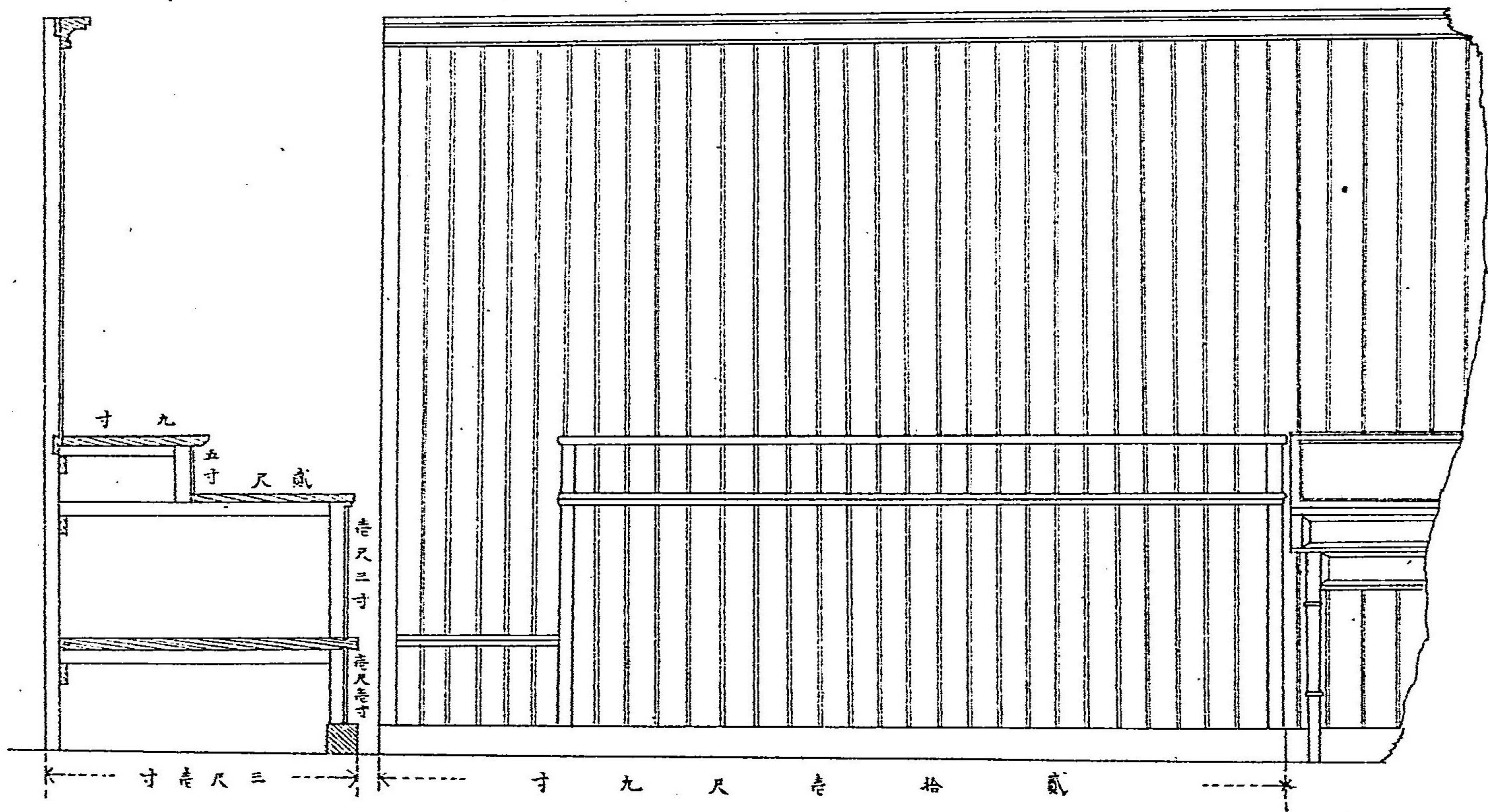
正

面

(八)

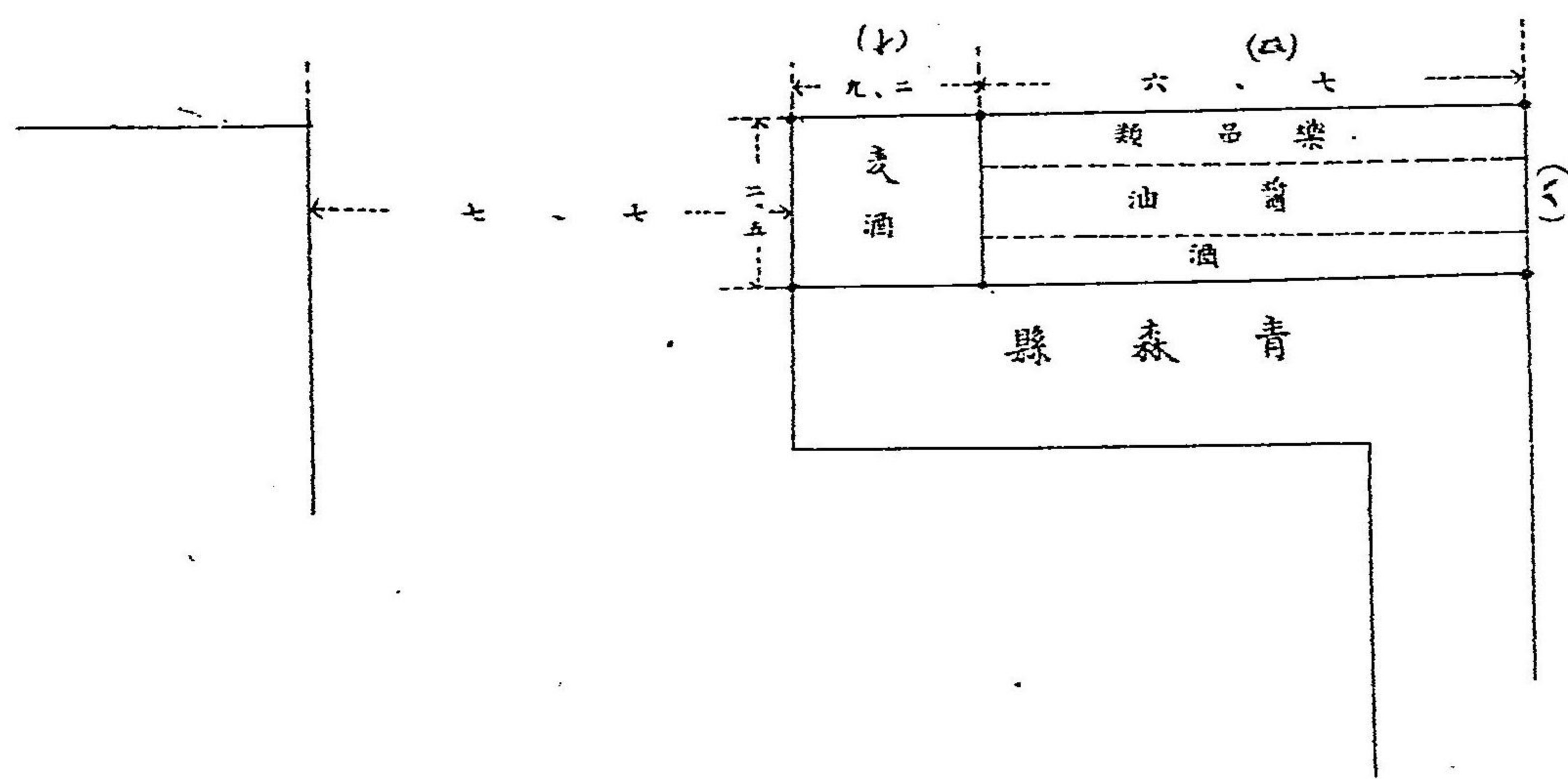
面 斷 橫

(二)



第參拾圖
工業館
化學工業

大 通 路



第拾壹圖

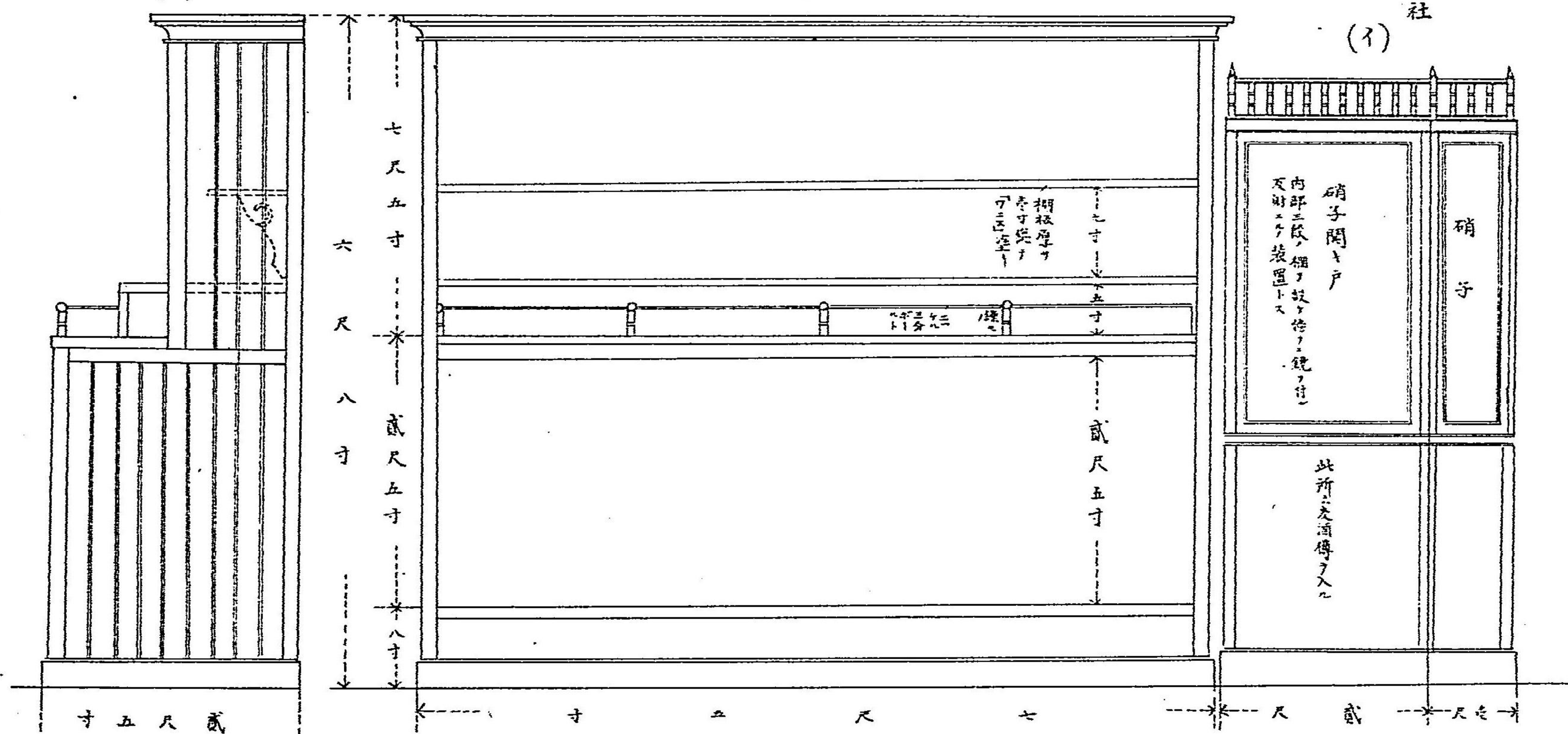
工業館

化學工業
札幌麥酒會社
出品

面 横 (ハ)

面 (ロ)

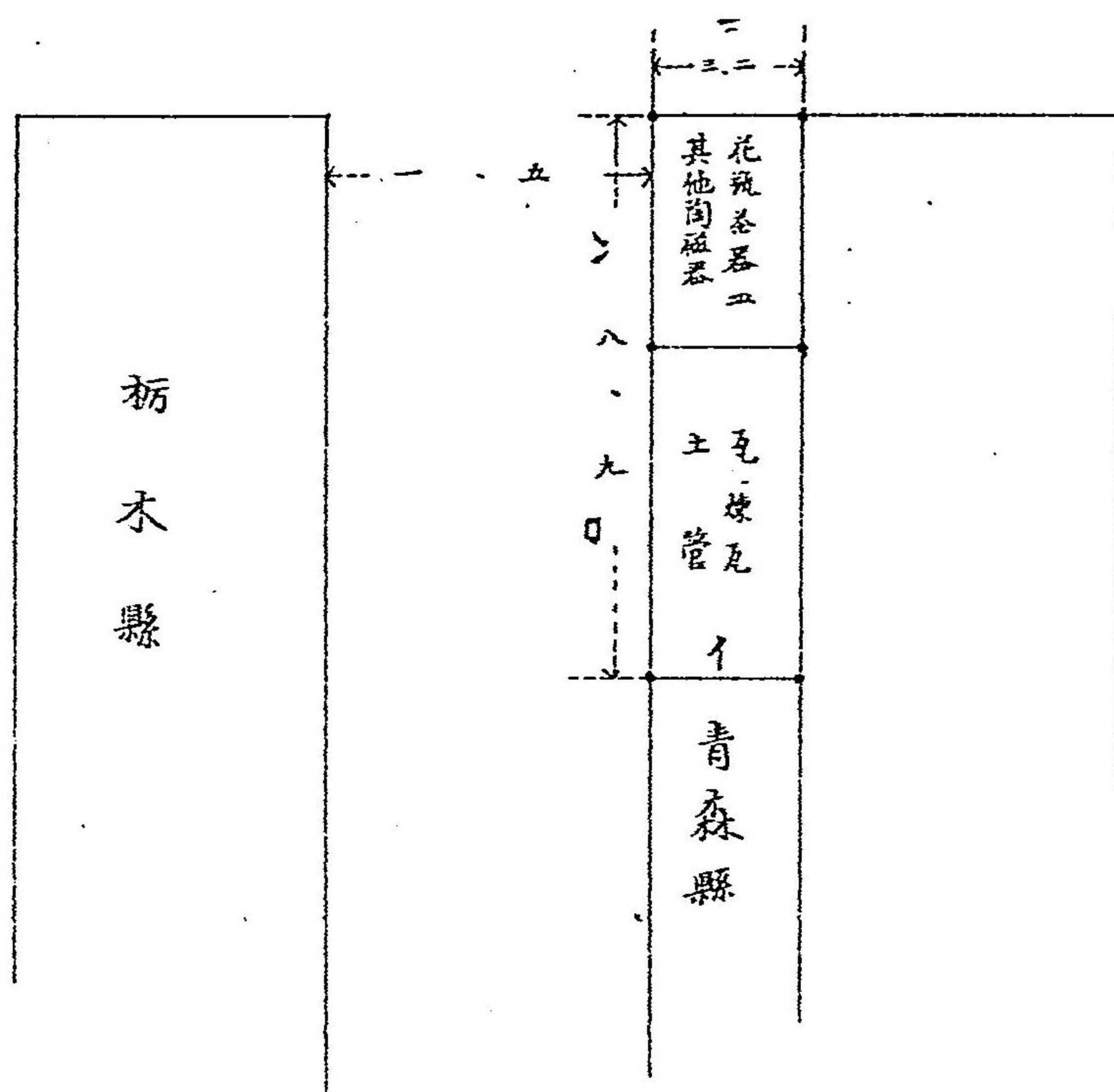
正 (イ)



第參拾貳圖

工業館
陶磁器

大通路

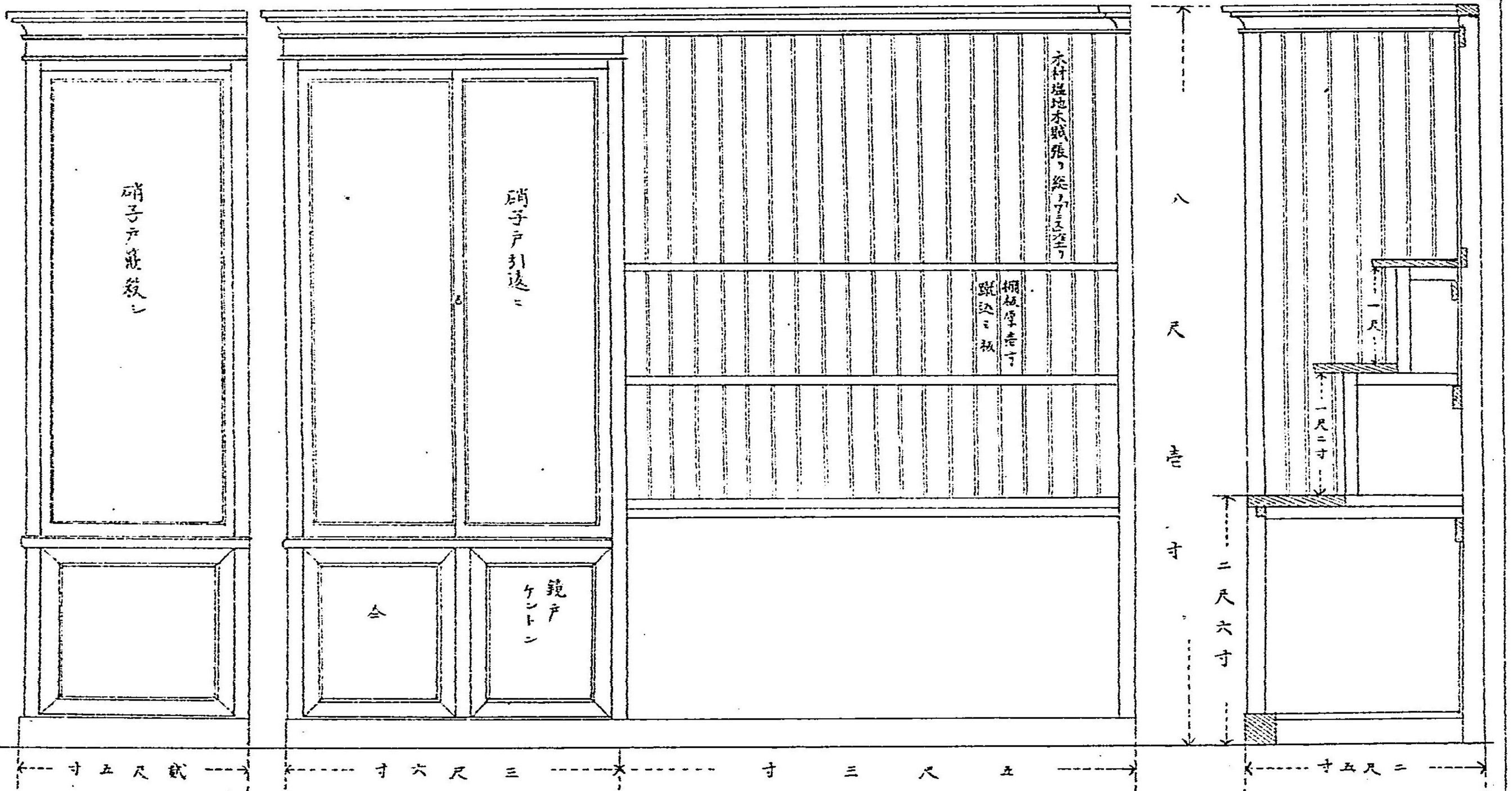


横面 (二)

(八)

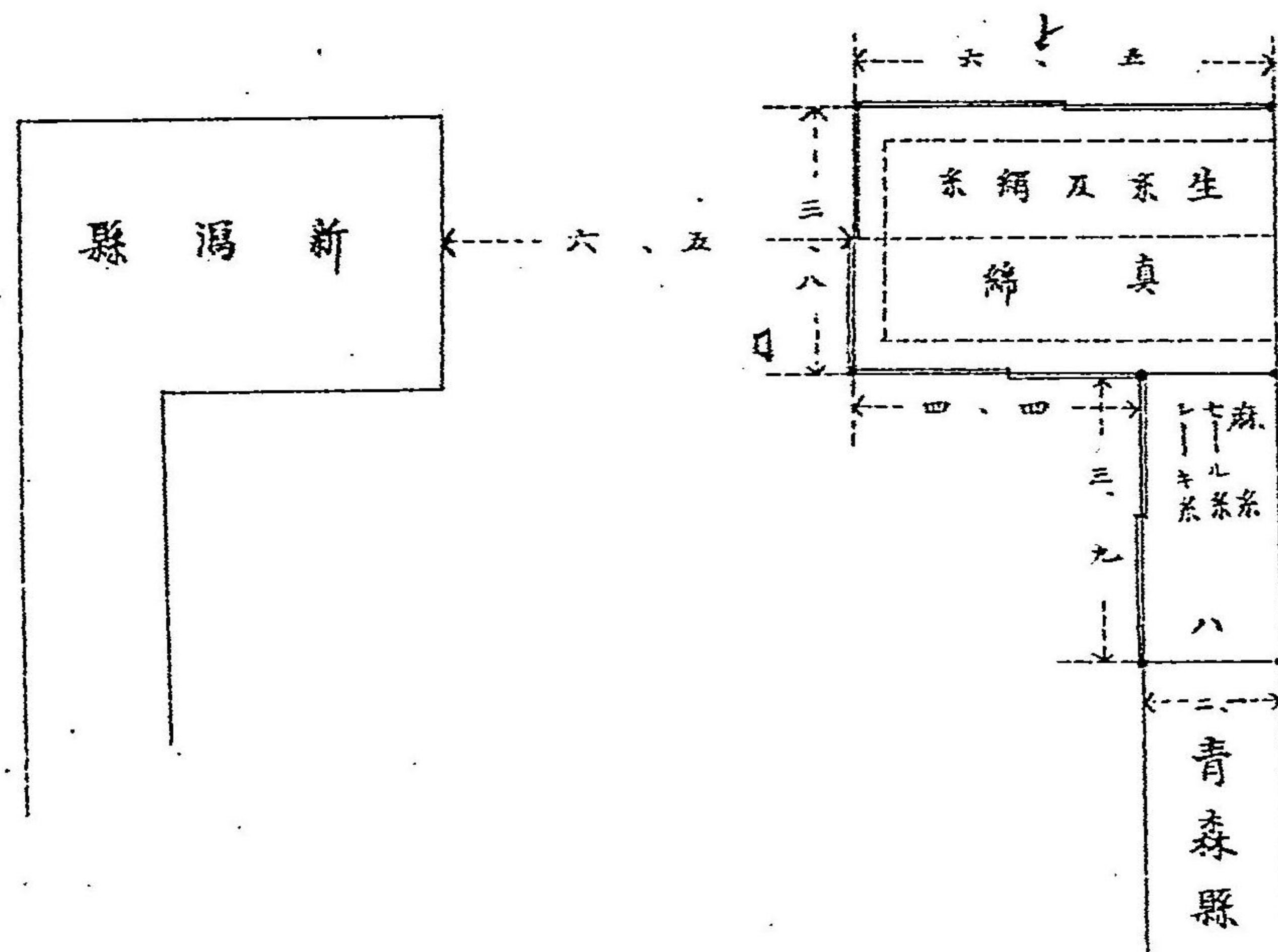
正面 (口)

横断面 (イ)



第參拾四圖
工業館
糸及綿

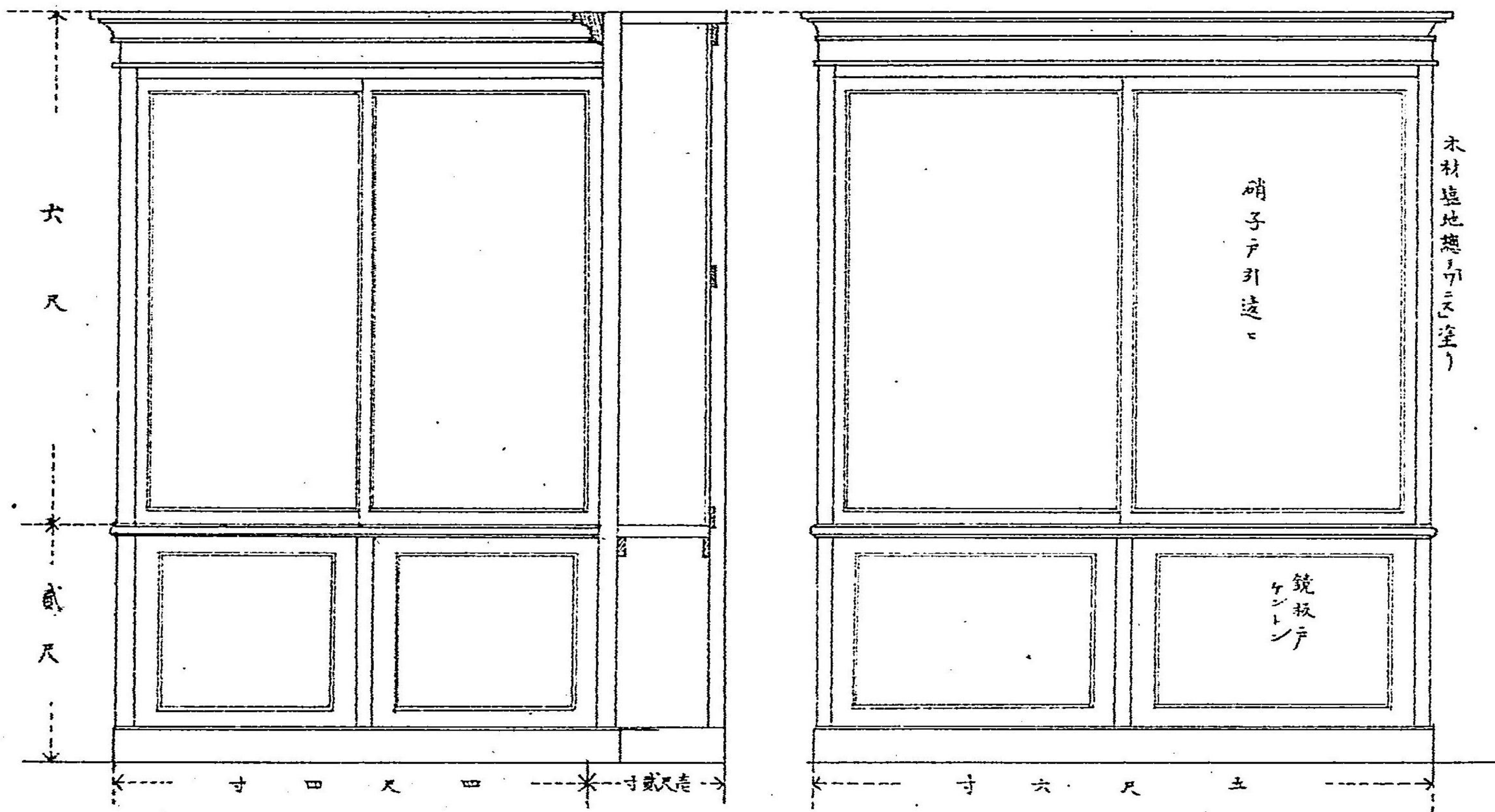
大 通 路



第拾五圖
工業館
糸及綿

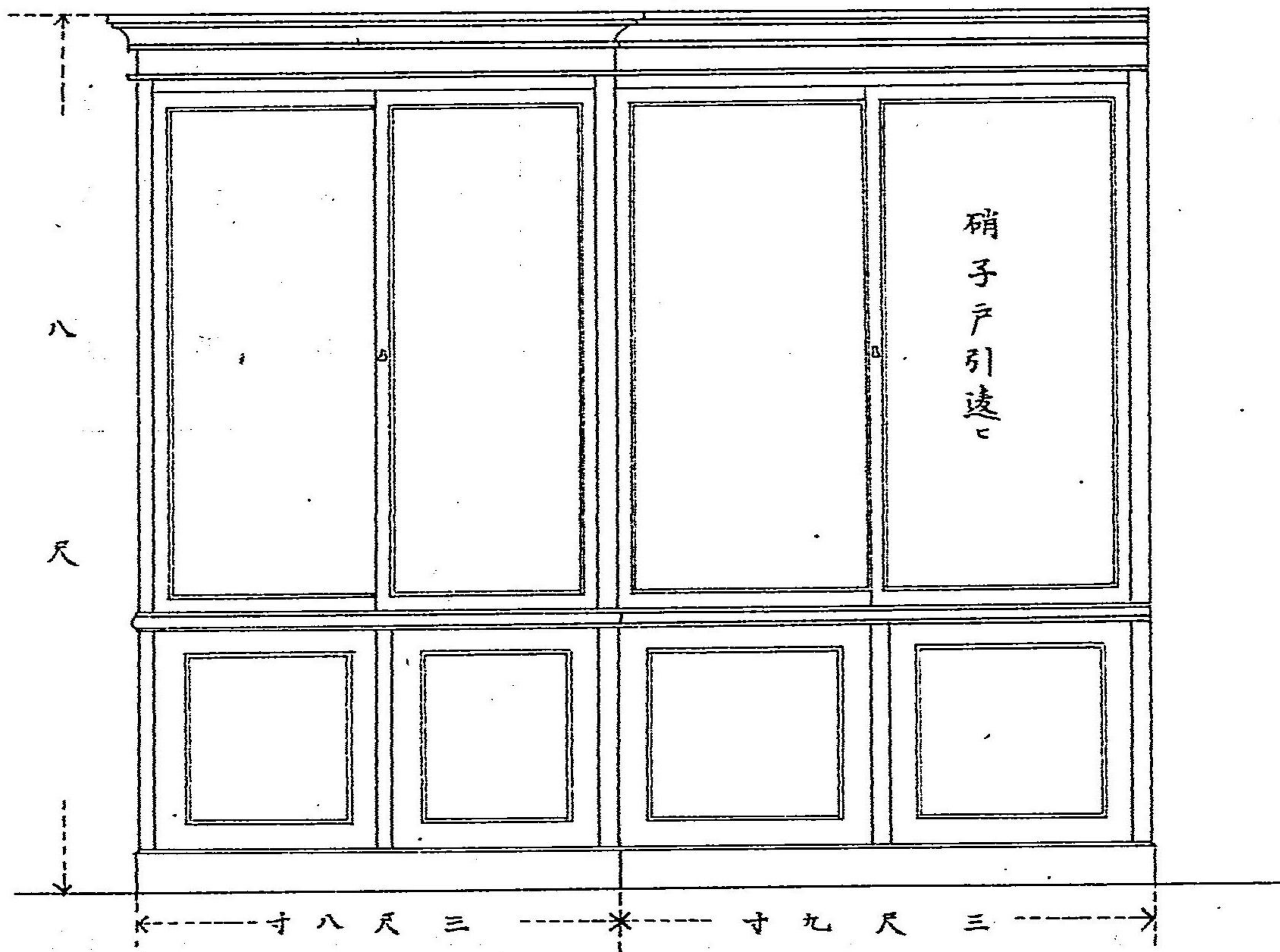
前面 (イ)

後面 (ハ)



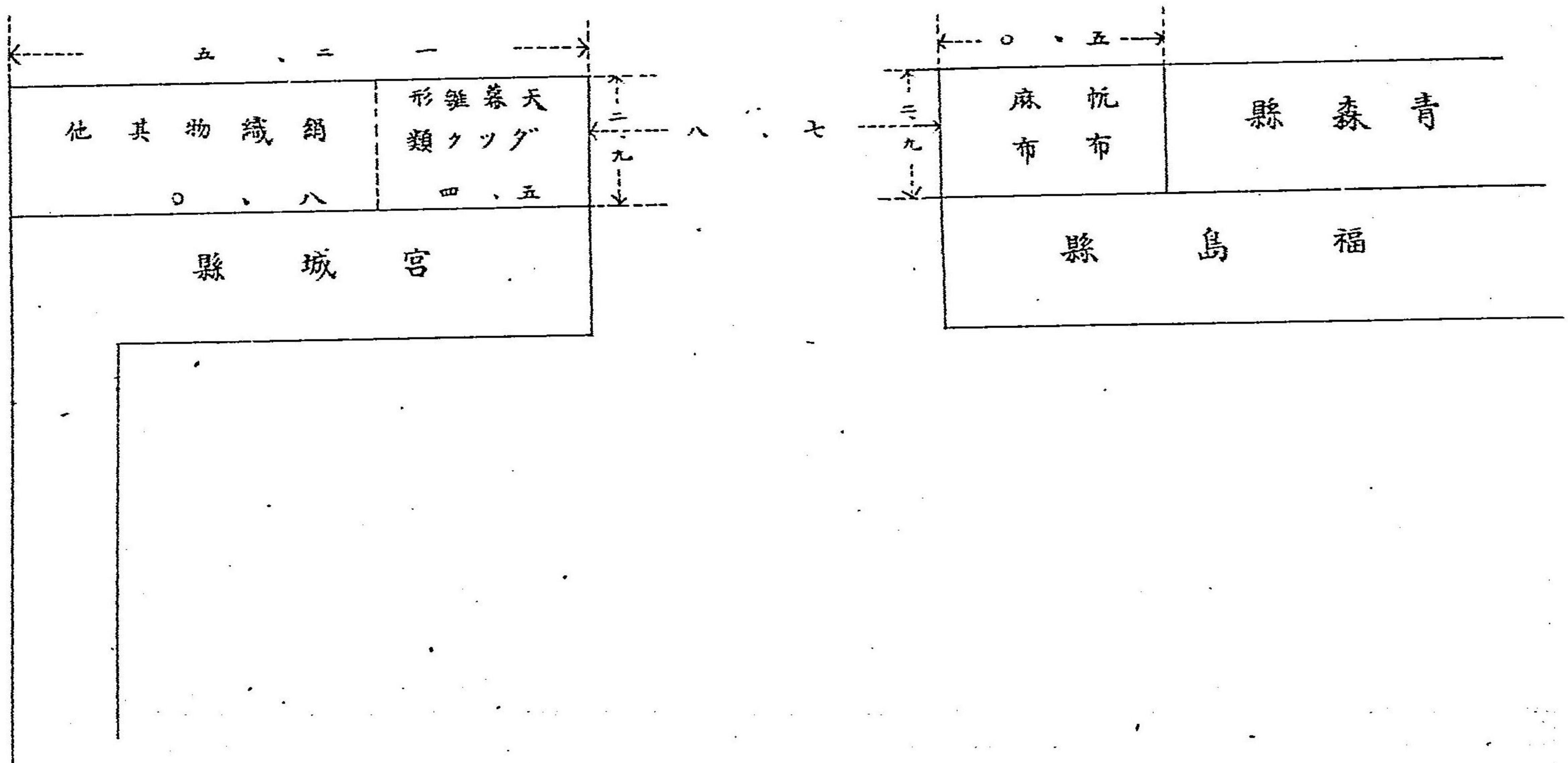
第參拾六圖
工業館
糸及綿

橫面
(口)



第參拾七圖
工業館
染織物

大通路

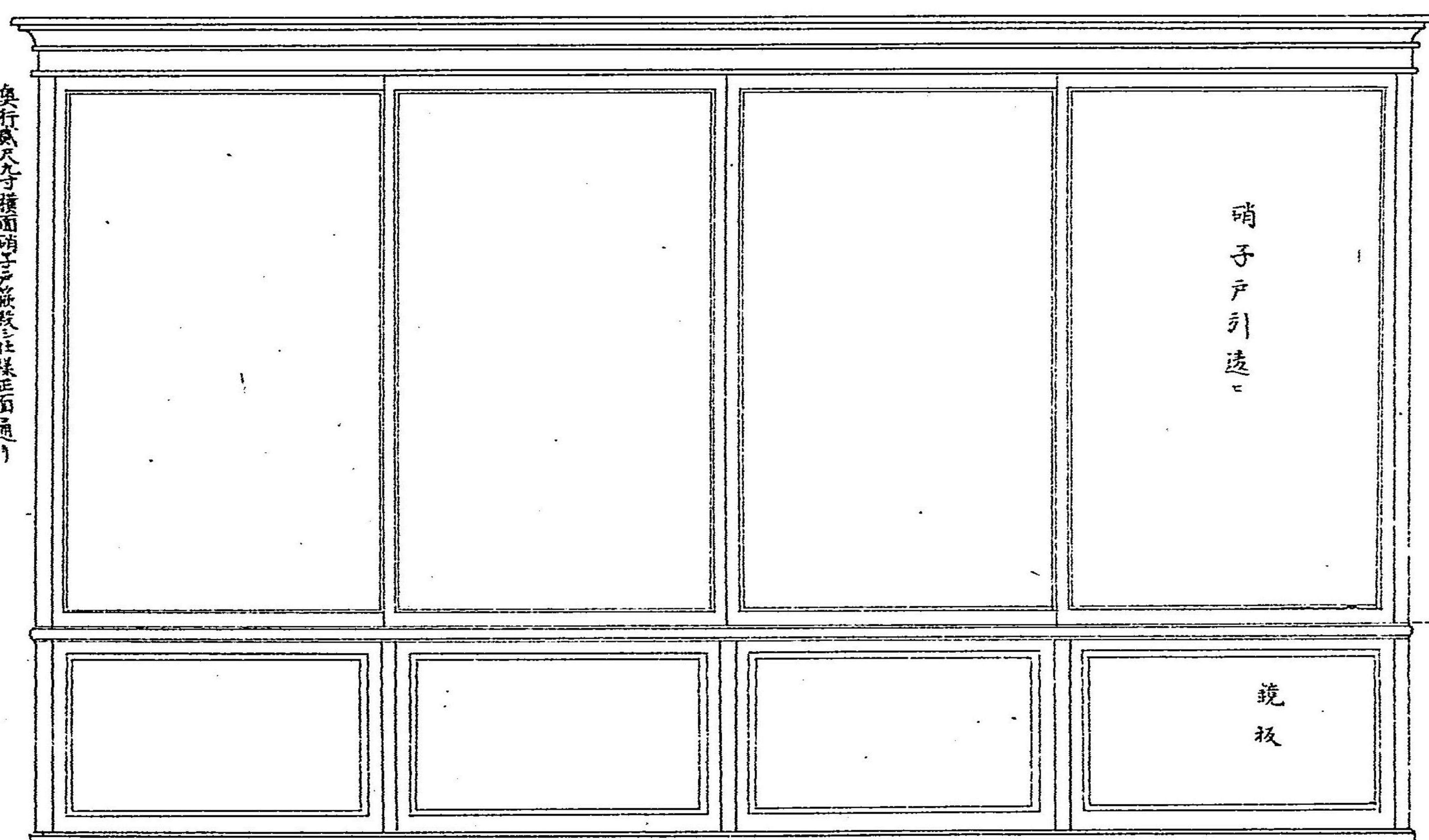


工業館
第一

第拾八圖
工業館
洗織物

正 (1) 面

奥行爲天子權面硝子戸散板(柱樣正面通)



木材：総て塩地・天竺塗
五尺八寸

或尺或寸

四尺三寸

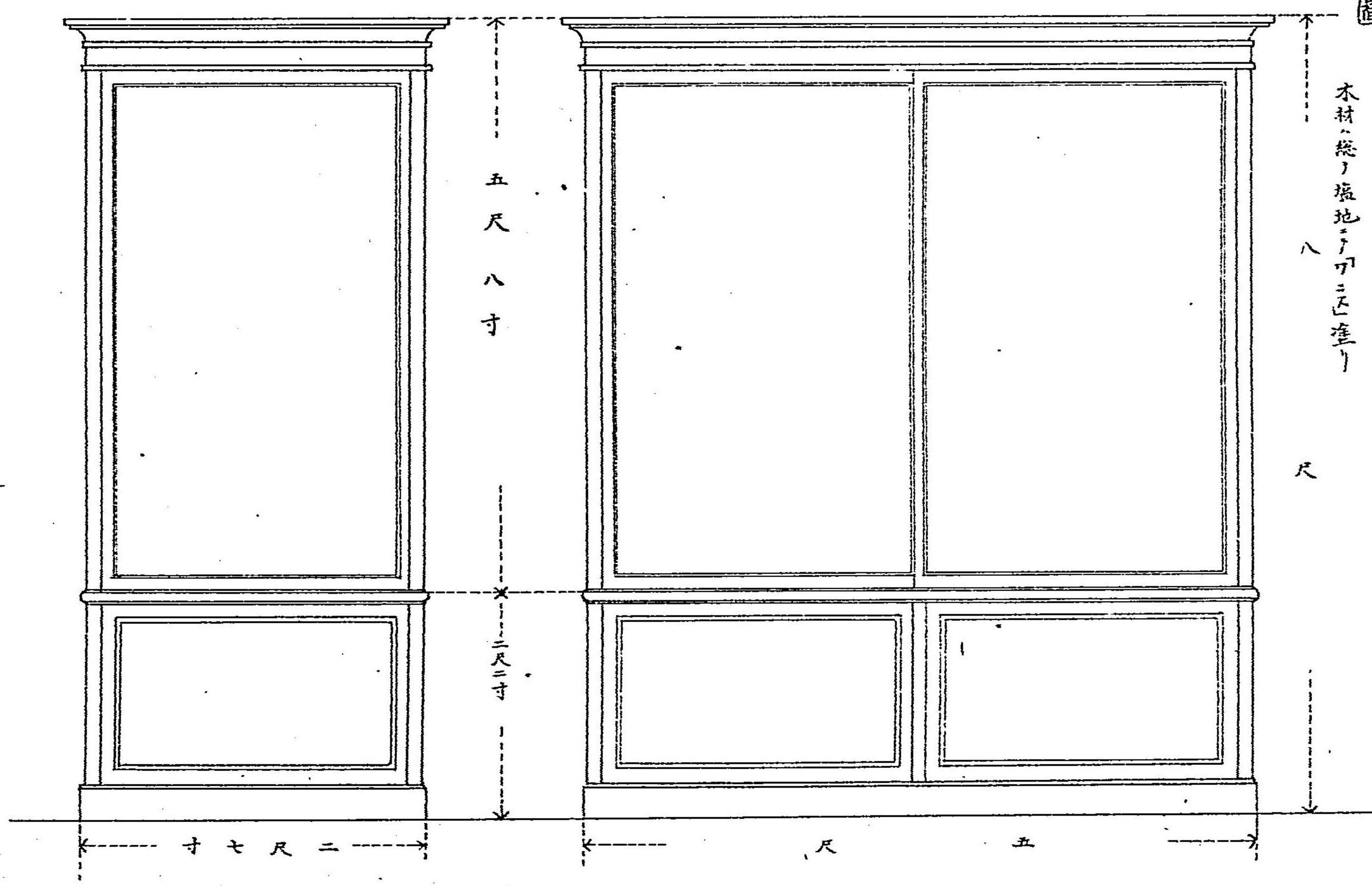
第拾九圖

工業館
添織物

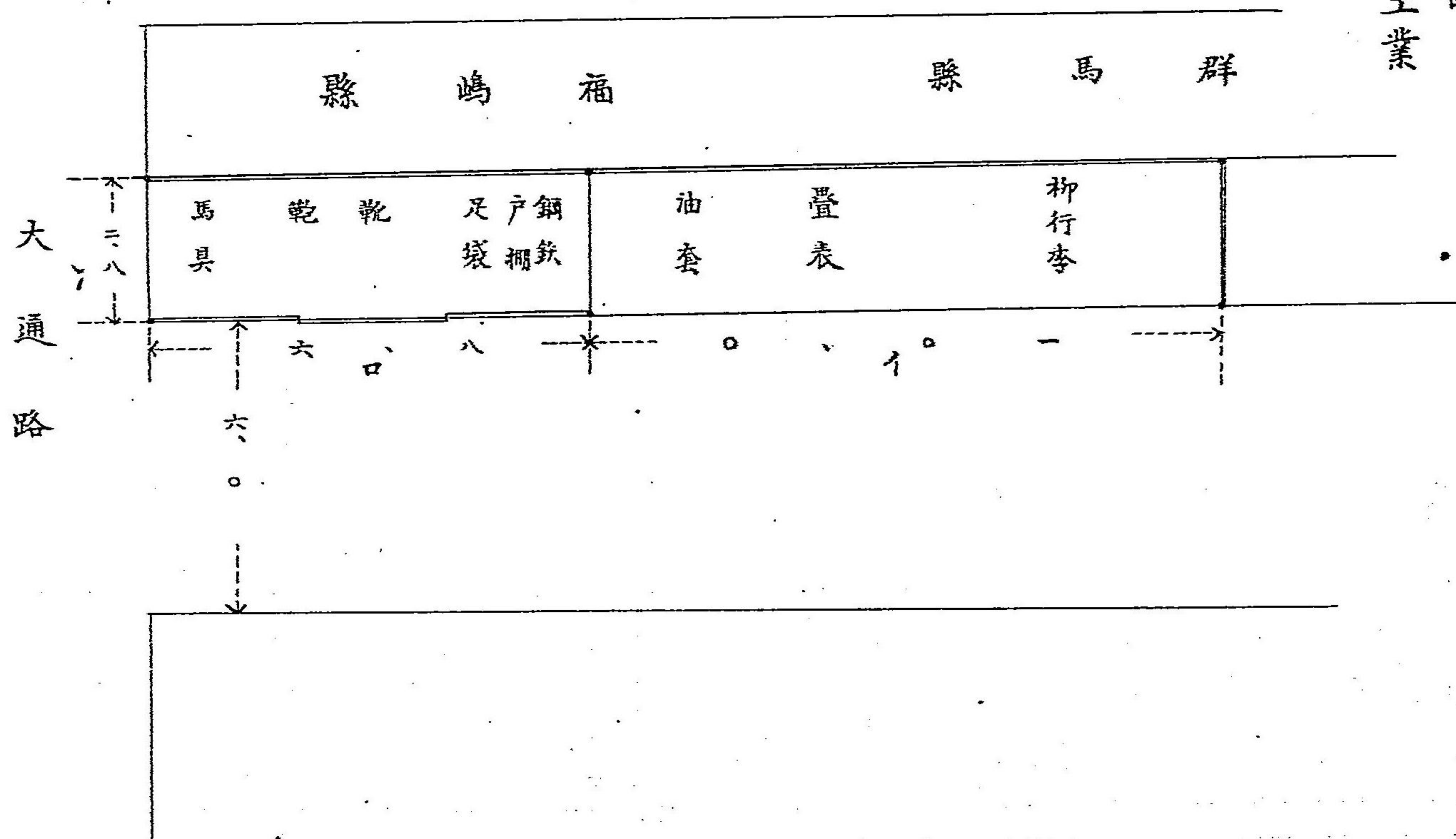
木材ニ概テ塩地ノリニ塗リ

尺

面 横
(ハ)



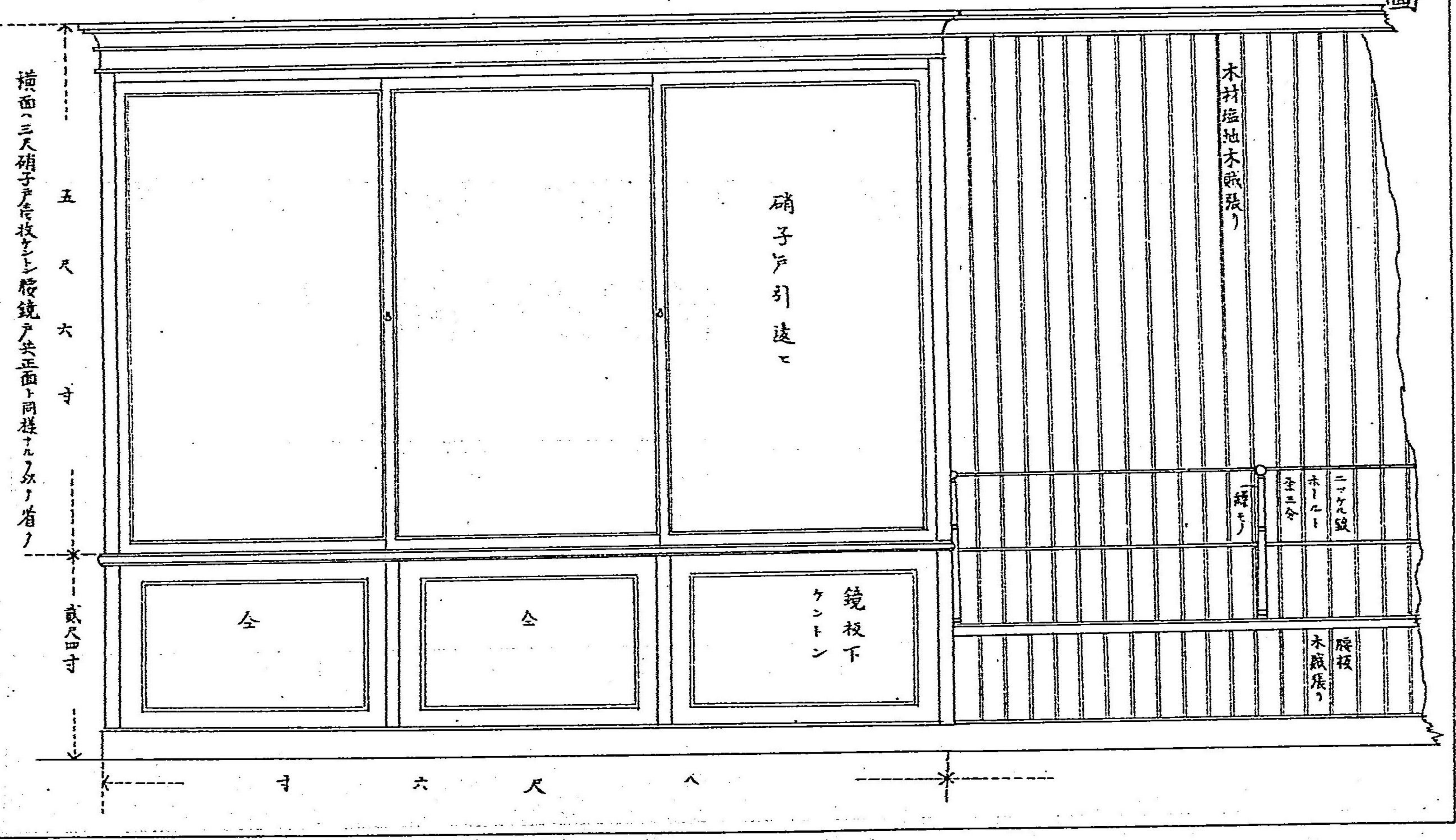
第四拾圖
工業館
製作工業

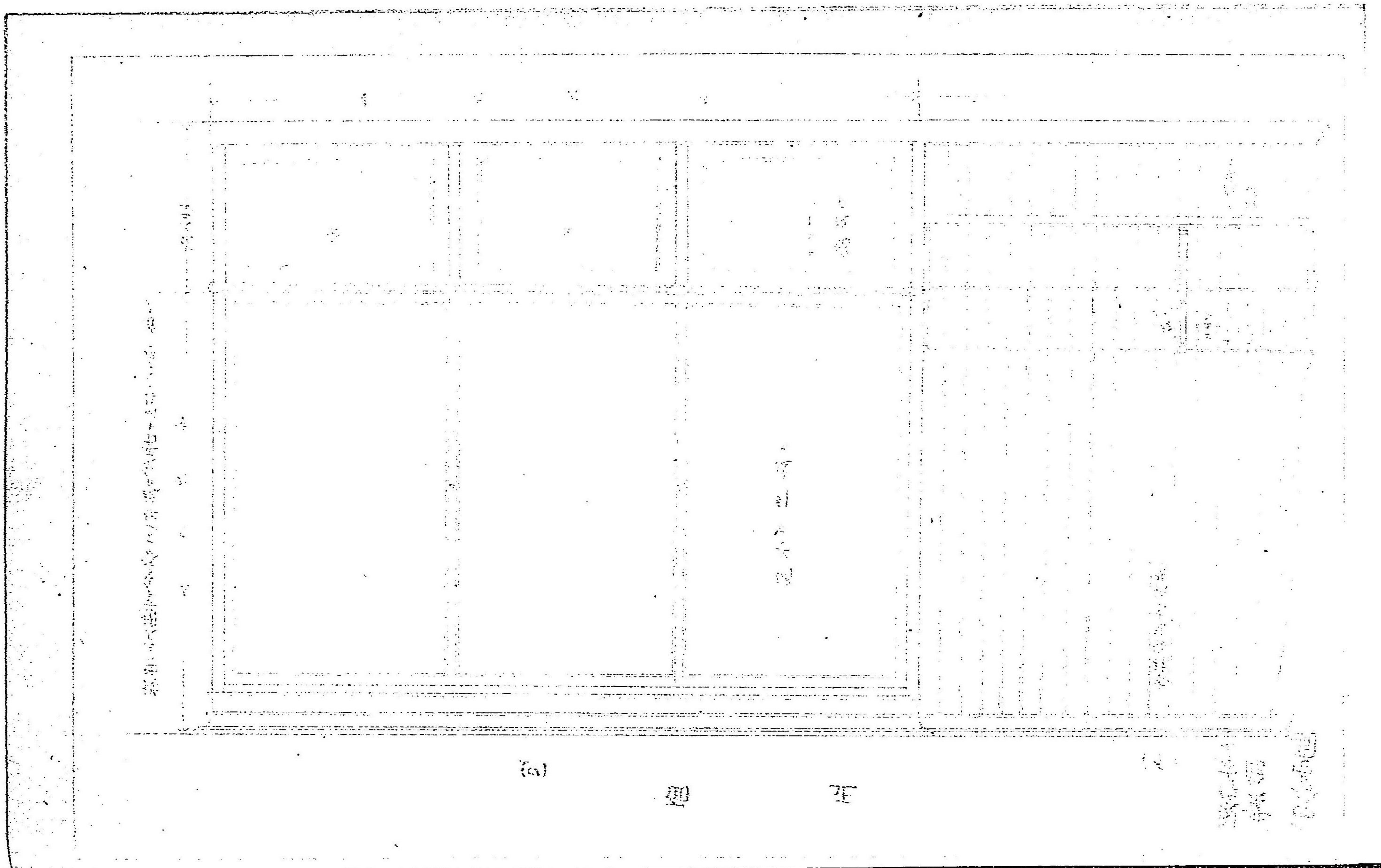


工業館
製作工業
圖

第四拾壹圖
工業館
製作工業

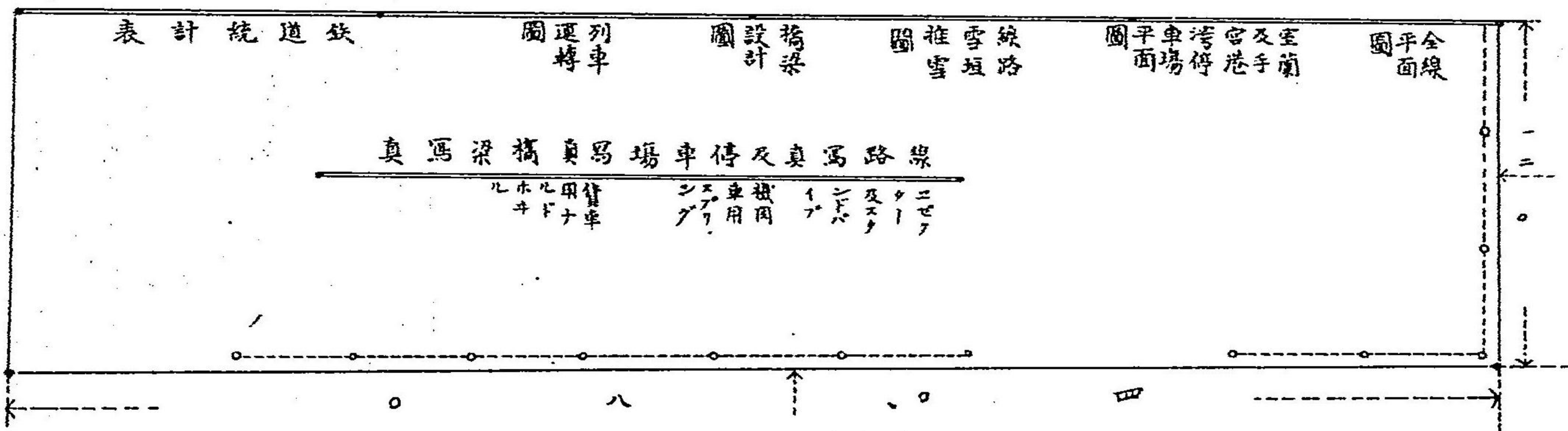
正 面





第四拾貳圖
通運館

大通路

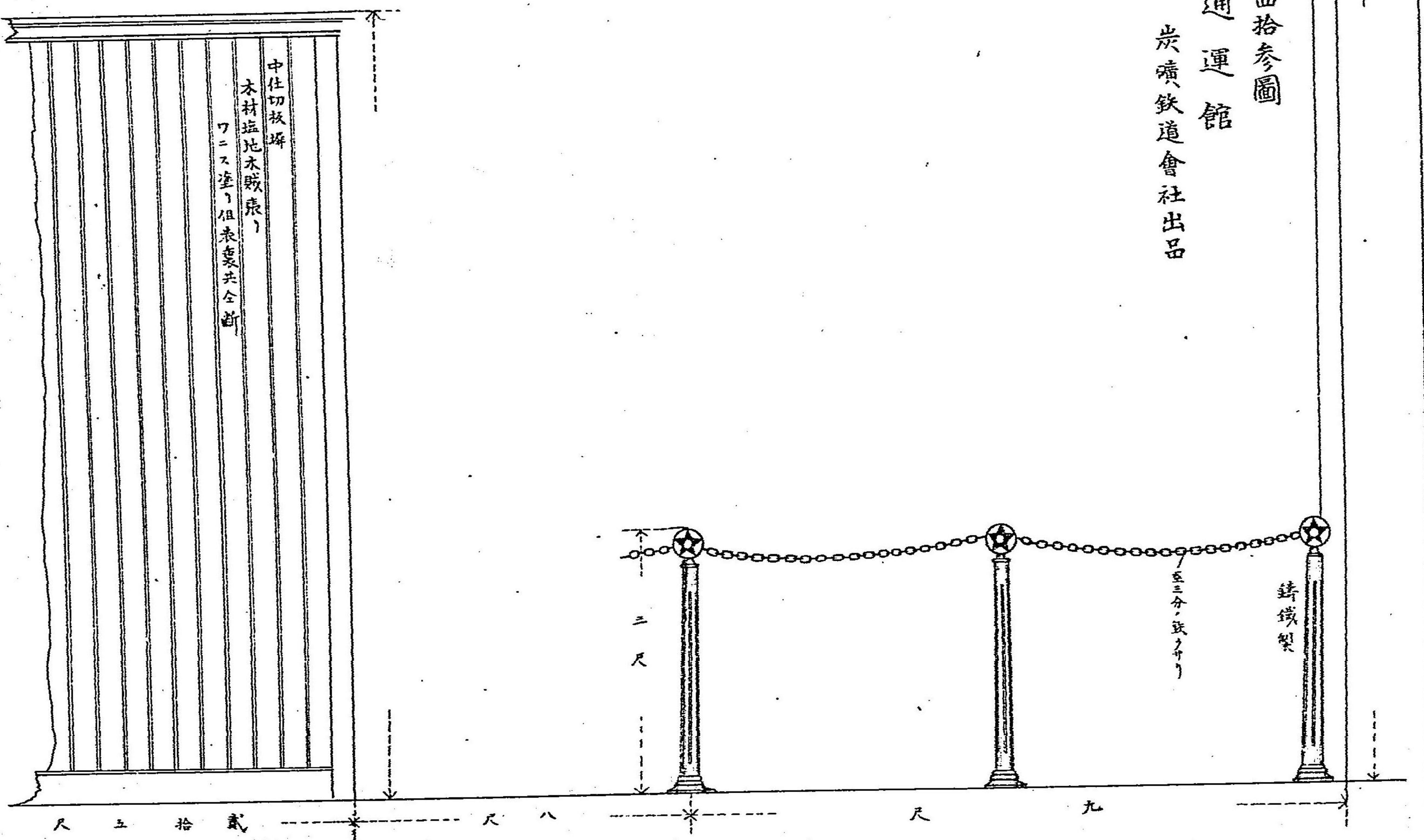


社 會 運 通

第四拾參圖

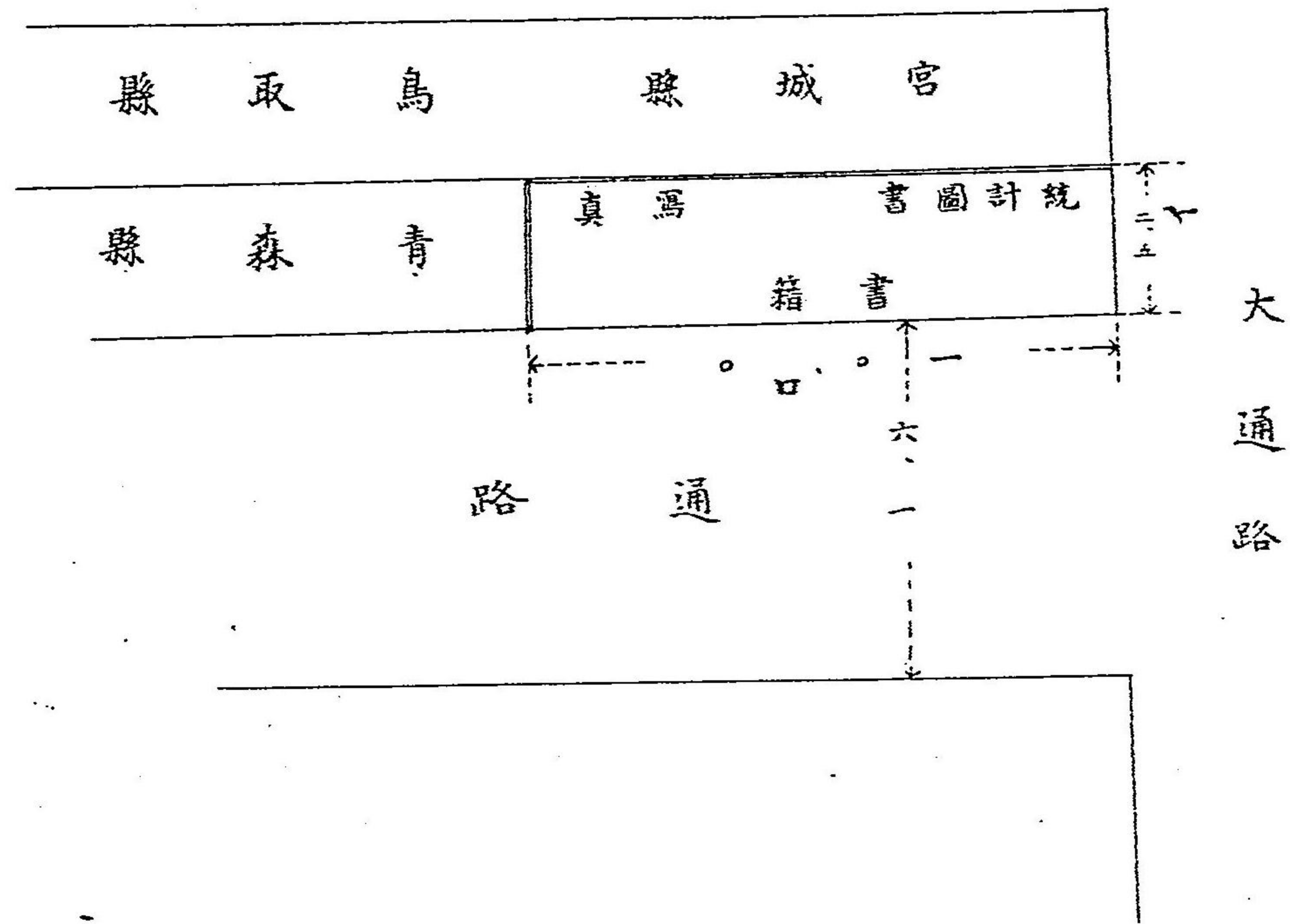
通運館

炭礦鐵道會社出品



第四拾四圖

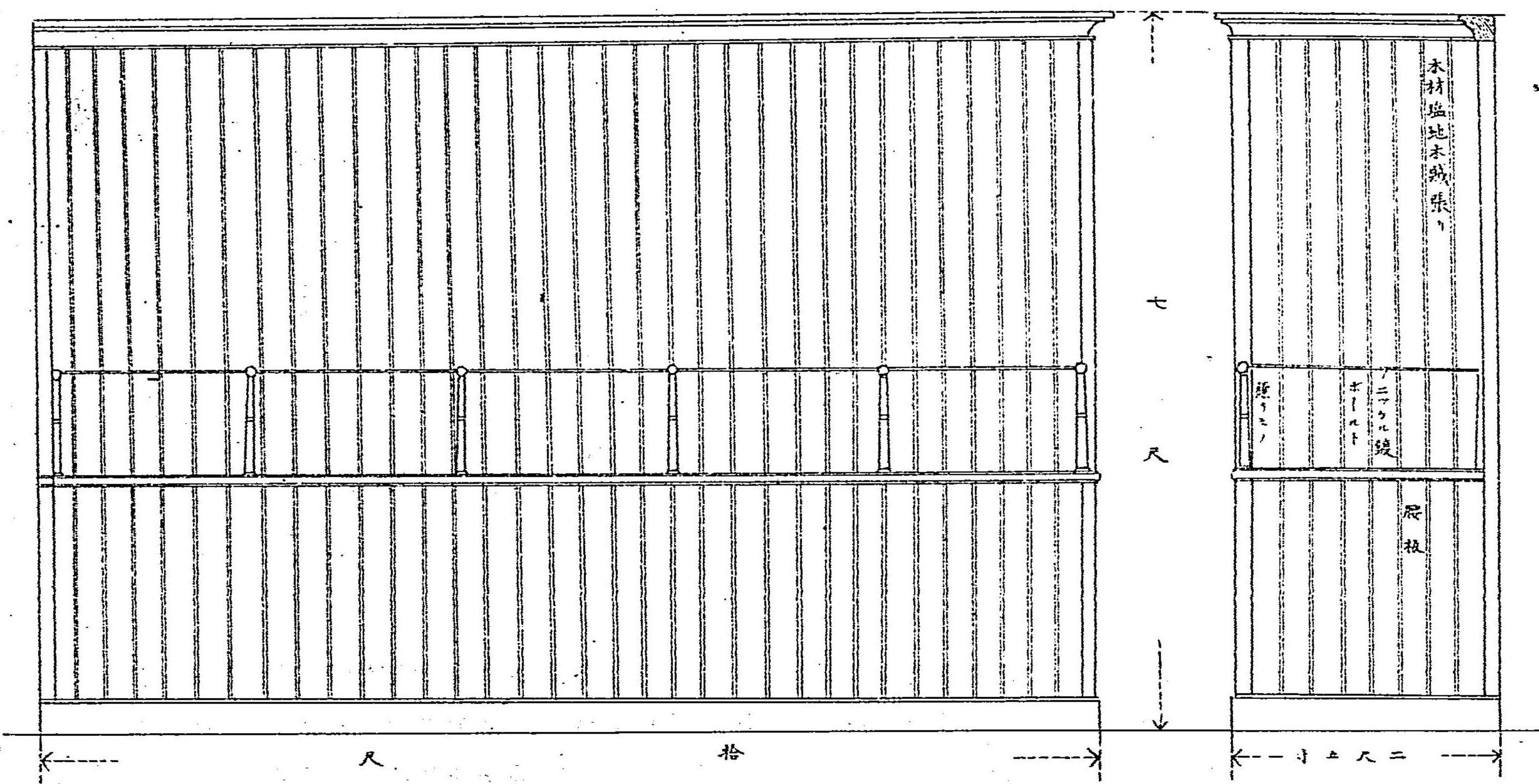
教育館



第四拾五圖
教育館

正面 (口)

側面 (イ)



○出品の附札

出品物の生産者と其價格を明示するか爲め、之に貼付する附札は、濃きに府縣の事務員會議を以て決定し、事務局より交付を得たる厚紙製大、中、小の三種を用ひたれとも、尙此外邦文を解せざる歐米の觀覽人に對し、歐文を以て之を併記せんと欲する者は、左の様式の附札を貼付することを許されたり。

普通附札

類第	部第	號第	品名
價代	地産	出品	名品

出品物の性質と形状とにより大中小の三種を用ひたるも、樣式は皆上記の如し。

歐文併記附札

NAME OF ARTICLE	號第	類第	部第
	價代	地産	出品
EXHIBITOR			
PRICE			
YEN			
PER			

因て本廳は、三區役所及根室、室蘭の二支廳に左の照會をなし、其他は新聞紙に掲載して希望者の申出を待ちたり。蓋し外國向きの商品は三區と根室、室蘭の二支廳管内に最も出品多かりしを以てなり。

殖農第六〇二〇號

第五回内國勸業博覽會出品物ニ添付スヘキ出品附札ハ博覽會事務局ヨリ交付可相成等ニ有之候得共
出品人ニシテ外國語ノ譯文ヲ記載セント欲スル者ハ別紙添付ノ如キ一定ノ雛形ニ依リ調製スヘキ旨
其筋ヨリ通牒有之候間御部内重モナル出品人へ右希望ノ有無御聞合ノ上本月二十五日迄ニ御申出相
成度而シテ右ハ本廳ニ於テ調製可致候條併セテ御了知相成度此段及照會候也

明治三十六年一月八日

殖 民 部

札幌區役所、小樽區役所、函館區役所、根室支廳、室蘭支廳、(各通)
(別紙ハ略ス)

右に對して申出ありたるものは、悉く前記雛形の附札を貼付したり。

博覽會の出品と同種類の商品にして、出品と同一價格を以て出品以外の若干數量を賣約せんと欲する者
われは、之を公示して需要を待つは産業獎勵上亦必要の措置とす、事務局に於ても此方法の實行を望み其
旨を通牒し來りしを以て、本廳は左の如く各支廳、區役所及道農會に照會を發せり。

殖農第一六一號

第五回内國勸業博覽會出品ノ賣買約定ハ管ニ出陳シタル現品ニ限ラス之ト同一ノ物品ニ就テハ出陳
以外ニ賣買約定ヲモナシ得ル様出品附札ニ(何石)又ハ(何斤等)マテ賣約ニ應ス(下記入致スヘキ旨博覽會
事務官長ヨリ通牒有之候ニ付出品以外ノ賣約ヲ希望スル者有之候ハ、至急取調御報告相成度此段及
照會候也

明治三十六年一月二十一日

殖 民 部

各支廳區役所、北海道農會宛

右に對して根室、網走、小樽、釧路の四支廳よりは上記の賣約に應ずる者無きを報し來り、其他は多少の申出
ありたるを以て夫々左の如く記入取計ひたり。

第 部 第 類 第 號	名 品	出 品 人	地 産	代 價	此 出 品 ハ 出 品 シ
					タル 數 量 ノ 外 何
					石(若クハ何斤)マ
					テ賣約ニ應ス

右添付の結果、酥搾粕、澱粉、玉蜀黍等、續々賣約の申込ありたる旨を以て本廳に謝狀を寄せたる出品人、抄な
からざりき、以上の方法は出品以外に本道の製産物を世間に紹介し得たる點多かりしを疑はず。

○出品の看守

陳列後出品物を保管せしむる爲め、本廳は看守人八名を雇入れ、一定の制服と制帽を給して之を各館に配
置したり、而して看守人には毎朝開館前、事務所に備付けたる出勤簿に捺印せしめ、閉館後再び事務所に立

寄りて其日の出来事を報告せしめたり。其間事務員の巡回監督したるは勿論なれども、孰れも熱心其職務に従事し不都合の所爲ありたる者無かりき。開會前の出品物搬入及閉會後に於ける出品物搬出の際は、事務員の記名捺印したる搬出入證及事務所より申請し事務局の許可を得たる搬出入許可證を看守人に交付し、看守人は更に人夫を指揮監督して事務局守衛の檢閲を経、之を運搬したるを以て出品物の盜難紛失等の虞無く安全に事務を處理するを得たり。府縣の中には看守人に婦人を採用したるもの少なからざりしも、本廳に於ては凡て青年の男子にして相當の學力あるものを雇用したり。蓋し一は萬一の盜難に備ひ一は出品の説明をなさしむる場合あるべきを豫想したればなり。

以上記したる外、益裁及苗木等の館外出品に就ては、兵庫縣に於て雇入れたる看守人に依托し、別に手當を支給して其看守及び灌水培養に従事せしめたり。

○動物の出品及其設備

本道に於ける動物の出品は牛馬の二種にして、北海道廳種畜場の牛三頭、馬五頭及び民間出品の牛十一頭、馬七頭合計二十六頭とす。遠距離を運搬して疲勞したる牛馬を直ちに會場に搬入陳列するは甚だ不得策なるを以て、之か休養舎を設置するの必要あり。一人の牛馬舎を設けて一手に之を賃貸する者なきにあらざりしも、其位置、人家稠密の市街なるのみならず、濕地にして動物の衛生に適せず、一朝傳染病若くは火災等ありたる場合には之を救助する能はざるの虞ありしを以て、本廳は會場を距る十町餘の一小村、今宮新家の畠地を指定し、爰に休養舎及收夫舎を建設せしめ、牛馬各一頭に付十四圓宛の割合を以て請負人より借入使用したり。出品の馬は四月十日搬入陳列を終り、同月三十日搬出し、牛は五月五日搬入、同月廿五日搬出せり。其間の飼料は事務局より毎日配付せられたれども、品質良好ならざるのみならず、出品人は大概

本道より良好の牧草、燕麥等を持参したるを以て、多くは事務局下付の飼料を用ゐざりき。出品の牛馬は非賣品たる種畜場出品のものの一頭の病馬とを除くの外、陳列中賣約成立し若くは搬出後出品人に於て隨意賣却するを得たり。出品牛馬の良否に關しては、玆に一言せざるへからざるものあり。由來本道は牛馬の産地を以て其名著はれたりと雖、近年府縣に於ける斯業の進歩頗る著大にして、審査の結果、王冠は遂に他府縣の手に落ちたり。是れ頗る憾むべしとなす。然れども本道の出品中にも亦逸物なきにあらざり。種畜場出品の乗用馬初蕾號と山縣牧場出品の乗用馬第三ヨット號の如き是れなり。初蕾號は出陳の當日より本會總裁閑院宮載仁親王殿下の注目せらるゝところとなり、再三場内の馬場に於て運歩を御覽せられし結果、熱心御懇望の趣き、爪かに拜聴したるを以て、本廳は喜んで之を献上したり。抑も殿下の馬術に精通せらるるは本廳の夙に拜承したる處にして、其御鑑識に適ひたる初蕾號の名譽は勿論、此名馬を産出したる種畜場の榮譽も亦大なりとす。

山縣牧場の第三ヨット號も至大の榮譽を擔ひたり。初め、至尊の會場各館を御巡覽遊ばさるゝや、特に馬匹に御留意あらせられ、全國出品の馬百九頭の中より其駿逸なるもの二十七頭を抜き、一々御面前に牽き出さしめられ御熟覽あらせられたり。本道出品の中其選に當りたるは、種畜場の第五シユヘルプ號、山縣牧場の第三ヨット號、園田牧場のユースーフ號及藤野牧場の銀龍號なりしか。御買上の大命は終に第三ヨット號に下れり。北海の野朔風に嘶きたる一野馬、一朝にして御厩に養はるゝに至りしもの榮たるや、至て大なり。恩禽獸に及ふとや言ふべき。此外、赤心社の隼號は九鬼子爵に、園田牧場のユースーフ號は長野縣に、銀龍號以下も種畜場出品のものとして佐治操出品の病馬とを除くの外、凡て各府縣若くは有名なる牧場に賣却するを得たり。

動物の出品に就ては、牧夫の監督、飼養の注意等普通事務員のみにて處理する能はざるものありしを以て、

右陳列中特に種畜場技手遠藤源吾に事務員を命じ専ら其事務に當らしめたり。
附記 種畜場出品の第三初番號を 閑院宮殿下に獻納するや、同宮家よりは之に代へて土耳其産の名馬「トル」號を本廳に下附せられたり、是亦初番號に劣らざる逸足にして、目下種畜場に於て飼養す。

第五章 審査及受賞

○出品の審査

出品の審査は三月一日に始まり六月十日に終れり、出品物の性質により陳列館現場に於て審査したるものおれとも、其多くは審査室に搬入せしめて審査を行はれたり。審査の方法は審査規則及大島審査總長の訓示に據りしこと勿論なりと雖、尙審査の公平と嚴肅とを保たん爲め、審査上に關する用務の外は、地方事務員及看守人等の妄りに審査室に出入するを許さず、其審査用出品物の運搬に就ても左の規定を勵行せられたり。

内博審發第四二號

審査用出品物運搬ニ付左記ノ通規定シ本日ヨリ施行相成候條此段及御通知候也

明治三十六年三月九日

第五回内國勸業博覽會事務局審査課

北海道廳事務所御中

審査用出品物運搬規定

一 審査用出品物ヲ館内ヨリ分析室、審査場へ運搬シ又ハ審査濟品ヲ出陳場へ返還スル者ニハ左ノ雛形ニ據ル證符ヲ携帯セシム

一本證符ハ各陳列館ト審査場及分析室間トノ以外ニ於テ使用スルコトヲ得ス
一本證符ノ取締ハ審査課ニ於テ管理ス

雛形 縦五寸

第 號

第 部 審査用出品物運搬證

審 查 課 印

斗 川 齋

一本證通用區域自各出品陳列館間
至審査場分析室間

一本證ハ必要ノ都度審査部長ヨリ審査課ニ請求シ

使用當日午後六時迄ニ返納ノコト

審査上最も重要な參考たるへき解説書は、出品人より二部を徴し其一部を事務局に進達し一部を事務所
に保存したるを以て種々の場合に於て便宜を得たること鮮ながらず、殊に審査は各部其室を異にせるを
以て、解説書の如きも各部に之を分つ際、往々紛亂し、當該審査官の手許にあるへきものにして、間々是無き
か如きことあり、斯の如き時は直ちに事務所備付の分より之を謄寫し、審査官に提出したるを以て、十分の
審査を遂ぐることを得たり、左表は本道出品に關する審査日程なり、以上出品に對して本廳か如何に慎重
の注意を拂ひたるかを知るに足るへし。

石		福		秋		山		青		岩		福		宮		長	
川		井		田		形		森		手		島		城		野	
第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回
二六三八	三三〇四	六二七九	二二六九	二七六六	二六五二	四四〇八	一八四八	一八八六	三〇七八	四五六六	二七九八	四八二五	二〇一一	三二四〇	二八〇二	二五四二	一九三九
四七二	三〇四	八四二	三三三	二五四	一五六	五〇四	二二〇	三六七	二九九	六二四	三二〇	五二〇	二四三	四二三	三〇五	五四五	三九二
一六八		五〇九		九八		二八四		六八		三〇四		二七七		一一八		一五三	
一八弱	〇九強	一三強	一五強	〇九強	〇六弱	一一強	一二強	一九強	一〇弱	一四弱	一一強	一一弱	一二強	一四弱	一一弱	一二強	二〇強

岐		滋		山		靜		愛		三		奈		朽		茨	
阜		賀		梨		岡		知		重		良		木		城	
第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回
一〇〇九一	三〇二九	四二〇四	五〇一一	二二二六	一三七九	八六〇五	一四二八	一〇二六六	七二二六	六五三九	四二〇二	五九五六	三八一八	四一九二	二四六八	二六七五	一五五八
八六九	二三一	六五九	五九八	三五五	二二一	一三五三	二三八	一三七二	六二〇	七八二	三七五	七六〇	三二八	五〇〇	三九八	四六四	二二四
六三八		六一		一四四		一一一五		七五一		四〇七		四三二		一〇二		二四〇	
〇八弱	〇八弱	一六弱	一二弱	一六強	一五強	一六弱	一七弱	〇七弱	〇九弱	一二弱	〇九弱	一三弱	〇九弱	一二弱	一六強	一七強	一四強

沖		鹿		宮		熊		佐		大		福		高		愛	
細		島		崎		本		賀		分		岡		知		媛	
第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回
三、七四二	一、一三三	二、九八六	一、四三九	二、九一一	一、七六九	四、二三九	一、〇六四	四、二四〇	一、一五一	三、四八三	二、六二七	七、二七五	四、五〇六	四、九五六	二、七五五	六、〇六八	六、三六八
四五八	二〇三	六〇六	二一四	四九二	一九四	五四三	二〇九	四〇〇	一〇五	五九〇	三五二	八五八	三九六	八八五	三三三	八六三	五三〇
二五五		三九二		二九八		三三四		二九五		二三八		四六二		五七二		三三三	
一、二強	一、七弱	二、〇強	二、五強	二、七弱	一、一弱	一、三弱	一、〇強	〇、九強	〇、九強	一、七弱	一、三強	一、二弱	〇、九強	一、八弱	一、一強	一、四強	〇、八強

香		徳		和		山		廣		岡		島		鳥		富	
川		島		山		口		島		山		根		取		山	
第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回
四、三五九	四、一六〇	九、〇四五	五、四四二	四、八六七	二、五四二	三、六五五	一、九八五	六、一一〇	二、七五二	五、三二一	二、五六七	四、六〇二	一、八一〇	二、五九七	一、〇七六	三、四一三	二、二六一
七六二	三八四	一、〇〇九	五八七	六九三	二五六	七六八	三二六	七七七	三〇四	一、一二七	二八四	六三八	二五〇	三八八	一四三	四四七	一八五
三七八		四三二		四三七		四五二		四七三		八四三		三八八		二四五		二六二	
一、七強	〇、九弱	一、一強	一、一弱	一、四強	一、〇強	一、二強	一、六弱	一、三弱	一、一強	二、一強	一、一強	一、四弱	一、四弱	二、五弱	一、三強	一、三強	〇、八強

合計		第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	第四回	第五回	部別	
第四回	第五回	(第二部)	(第十部)	(第五部)	(第九部)	(第七部)	(第八部)	(第一部)	(第七部)	(第六部)	(第五部)	(第六部)	(第四部)	(第四部)	(第三部)	(第一部)	

考 備

第 第

鯉白子	後志國忍路郡鹽谷村	山田龜一郎	鯉荒粕	全 國利尻郡香形村	谷永忠助
鯉	後志國留萌郡留萌村	八反田虎吉	鯉粕	根室國目梨郡植別村	小倉宗右衛門
鯉	天鹽國留萌郡留萌村	佐賀伊三郎	鯉	渡島國茅部郡鹿部村	原田真助
鯉	後志國壽都郡壽都町	畑久平	鯉	全 國岩内郡岩内町	林貞喜藏
鯉	全 國高島郡高島村	南彌太郎	鯉	天鹽國増毛郡増毛町	松江喜藏
鯉	全 國忍路郡鹽谷村	山吹山太郎	鯉	全 國苦前郡苦前村	今江喜藏
鯉	全 國余市郡余市町	福原鐵五郎	鯉	全 國厚岸郡厚岸町	山崎茂平
鯉	全 國厚田郡望來村	今藤五郎	鯉	全 國厚岸郡厚岸町	清水林藏
鯉	石狩國厚田郡望來村	福士儀兵衛	鯉	全 國紗那郡紗那村	高城留治
鯉	天鹽國苦前郡苦前村	米澤傳一	鯉	全 國増毛郡増毛町	佐々木與市
鯉	全 國利尻郡鴛泊村	水口石藏	鯉	全 國厚岸郡厚岸町	福野重兵衛
鯉	全 國利尻郡鴛泊村	鬼脇村漁業組合	鯉	全 國後志郡東湧村	照井重兵衛
鯉	全 國全 郡鬼脇村	石川丹治	鯉	全 國後志郡東湧村	三上兼太郎
鯉	全 國全 郡香形村	東出孫四郎	鯉	全 國後志郡東湧村	矢本貞吉
鯉	全 國全 郡全 村	一田喜之助	鯉	全 國後志郡東湧村	石塚又一郎
鯉	全 國全 郡全 村	仲谷鶴作	鯉	全 國後志郡東湧村	岡田千代三郎
鯉	全 國全 郡全 村	長内音四郎	鯉	全 國後志郡東湧村	小黒喜三治
鯉	全 國全 郡全 村	宮城野勇太郎	鯉	全 國後志郡東湧村	山縣勇三郎
鯉	全 國全 郡全 村	山崎茂平	鯉	全 國後志郡東湧村	北子銀藏
鯉	全 國全 郡全 村	池田七三郎	鯉	全 國後志郡東湧村	藤井兄弟商店
鯉	全 國全 郡全 村	山本七三郎	鯉	全 國後志郡東湧村	小樽製油株式會社
鯉	全 國全 郡全 村	木村茂三郎	鯉	全 國後志郡東湧村	岡山勇作
鯉	全 國全 郡全 村	横山時守郎	鯉	全 國後志郡東湧村	

全 國全 區地蔵町	全 國全 區稻穂町	全 國全 區信香町	全 國全 區若松町	全 國古平郡古平町	北見國禮文郡船泊村	渡島國函館區龜田村	石狩國札幌區北四條西三丁目	渡島國上磯郡上磯村	石狩國札幌區江別村	全 國全 郡白石村	後志國小樽區色内町	石狩國札幌區南一條西三丁目	全 國上川郡旭川町	全 國札幌郡廣島村	石狩國札幌區大通東四丁目	渡島國函館區大町	石狩國札幌區南二條西三丁目	全 國全 區南一條西四丁目	杞柳製行李	
菅谷善作	村上嘉藏	安達吉平	本間禮太郎	藤森正隆	佐野定七	福山甚三郎	北海道セメント株式會社	久保兵太郎	鈴木豊三郎	鈴木松藏	木村與吉	松井榮治	平井雪藏	深野正之助	常野彌助	石川定七郎	上田傳治郎			
李柳製及靴行	水夫用雨着	生絲	風通綿	眞綿	全 國各種	機關車給水用	品探廣事業	後志國余市郡大江村	渡島國函館區辨天町	全 國檜山郡江差町	石狩國札幌區北一條東三丁目	石狩國札幌區北三條西三丁目	全 國空知郡瀧川村	全 國札幌區北三條西三丁目	全 國全 區北五條西三丁目	協贊賞狀	協贊人	米倉清族		
地方費事業場所出品受賞一覽								山川瀧五郎	堀彌平	北海道製絲織物講習所	松崎龍平	山田五平	藤川兄弟商店	小林和三郎						
品名	賞等	場所																		
繭	三賞	北海道農事講習所																		
燕麥	全賞	北海道水産試驗場																		
通織	全賞	北海道農事講習所																		
風通	全賞	北海道農事講習所																		
盤表	全賞	北海道農事講習所																		

第六章 出品物の賣約及殘品の處分

博覽會の出品物は一の商品見本なるを以て其需要を促さんと欲せば觀覽入をして購買試用せしめざる

へからず、是れ博覽會に賣約の制を設けたる所以なり、然れども出品の賣買は困より主たる目的にあらず、成るべく多方面の需要者に販賣し、其需要者は或は之を味ひ、或は之を使用し、其特長を發見し、熟知して初めて其需要起るべきなり、然るに動もすれば當局事務員にして、出品物全部を一手に販賣し盡して得々たるものなしとせず、是其手数を省く點に於ては、恰憚なる方法に相違なしと雖、出品の目的より言へば頗る不親切の處置と言はざるを得ず、況んや出品物の價格は市場に於ける價格に比して頗る廉なるを常とするを以て、其間往々醜弊の漏るゝものあるに於ておや、本廳は此弊を避くる爲め左の規定を設け各館に之を揭示し、最初より之を實行したり。

一、賣約は陳列品に就て之を爲すものとす。

二、賣約申込は必らず看守人を經由すへし。

三、賣約申込は一種類一人に付十點以内とす。

四、賣割手附金は三割以上とし、圓位未滿は之を切上げて圓位に止むるものとす。

但壹圓未滿の價格に就ては其全額を豫納せしむ。

五、賣約申込時間は午前八時より午後三時限りとす。

賣約所は農業水産の二館に之を設置し、出張の出納吏員其約束を訂結し、代金は凡て之を特約銀行に預け入れたり。

本廳に於ける賣約の開始は三月二十一日にして七月三十一日之を停止したり、其月計左の如し。

出品物賣約高月計表

年	月	販賣高	證據金受取高	差引殘高
三十六年	三月	八〇七七九六	三五六八〇六	四五〇九九〇
	四月	三、一〇三七一	二、六一四四三	五八九二七八
	五月	五、一七一五六二	三、二二五五七	一、九四五九八九
	六月	三、五六五三	三五六五三	
	七月	六、七五三五	六、七五三五	
計		九、二八六二五七	六、三〇〇〇〇	二、九八六二五七

備考、賣約高に對する差引殘高は、八月十五日現品引渡しの際之を領收したり、此外出品物の賣約なき分は之を競賣に付したり、其金高二百七十二圓四十三錢五厘とす。

更に之を部別するときは左表の如し。

出品物賣約高部別表(自三月廿一日至七月廿一日)

部別	購買人		數		代價	
	内國	外國	内國	外國	内國	外國
第一部	四二四	—	五八七	—	六、四五八三八	四六〇〇〇
第二部	三〇	—	三三	—	五、六七五二〇	〇
第三部	三三四	—	九五九	—	四、三三〇三〇	〇
第四部	二	—	二	—	四、五〇	〇
第五部	三三	—	六三	—	一、五四六〇二	〇
第六部	一六	—	三三	—	七、七一六七	〇
第七部	一九	—	三二	—	九、二八五	〇
第八部	二	—	九	—	二、〇一五	〇
計	八三九	—	一、三九七	—	七、七八三九〇七	四六〇〇〇

備考、此外宮内省御買上品に係る臘虎皮外七點代金千、四百五十六圓三十五錢あり。

右の賣約代金は賣約臺帳に記入し、閉會後出品人毎に明細なる計算書を作り、現金と共に一々之を出品人に送付したり。

○競賣

賣約未済品に就ては府縣事務員の間種々の議論行はれ、或は閉會前日をもって割引せんと云ふ者あり、或は福引的景品を添へんと説くものありて、事務員聯合會の問題となりしも、本廳の出品は當時既に大部分を賣約したりたるのみならず、如上の手段は必ずしも最良の方法と認むるを得ざるを以て、何れにも賛成せず、結局府縣各自の意嚮を以て割引したるもの、景品を添へたるもの等、實行區々に終れり、即ち本廳に於ては出品物の賣約せざりしものは、閉會後之を事務所に搬出して競賣に付したり、但し競賣したるものは、代價の如何に拘はらず賣却せられたる旨願出たる者若くは全く處分願を提出せず、事務員に於て適宜の處分を爲すべきものに限りて之を行ひたり、其金額二百七十二圓四十三錢五厘とす、而して之か計算書を作り一々出品人に送金したること賣約代金に等し。

○御買上と獻納及寄贈

天皇皇后陛下は御臨場の際長くも各館を御巡覽遊されたる後、産業御獎勵の思召を以て特に出品中優良の品にして賣約未済なるもの數百點を選抜し、御買上遊はされたり、本道の出品にして其撰に中れるもの左の如し。

品名	數量	代價	出品人	住所氏名
----	----	----	-----	------

宮内省御買上	上	二、三〇〇、〇〇〇	根室郡根室町	山縣勇三郎
牡馬	頭	三、六〇〇	札幌郡札幌村	淺羽靖
毒シヤム	打	四、〇〇〇	札幌郡札幌村	岩淵利助
牛酪	五磅	五、〇〇〇	札幌郡札幌村	札幌木材商組合
オンコ板	一枚	一、二五〇、〇〇〇	札幌郡札幌村	ストロインツプ、ヤッコフ
臘虎皮	一枚	二、三、五〇〇	札幌郡札幌村	北海道製麻株式會社
帆布	反	八〇、〇〇〇	札幌郡札幌村	農北道試驗場
柳行李	組	一七、〇〇〇	札幌郡札幌村	松田下熊
黒狐皮	一枚	一八、五〇〇	函館區末廣町	全人
十字狐皮	一枚	一四、五〇〇	空知郡瀧川村	藤川兄弟商店
河狸皮	一枚	七五、〇〇〇	函館區東濱町	全人
臘臍皮	一枚	三、八三六、一〇〇	函館區東濱町	石垣隈太郎
計				

又出品人中根室國根室郡根室町藤野四郎兵衛は、其製造に係る鮭鱈罐詰四打入一面を、宮内省に獻納したる旨願出たるを以て、村田審査第三部長を経て獻納を請ひたるに、御嘉納あらせられたる旨通達を受けたる、又全人製造の全品一箱及び清國輸出向きの水産物數點は、清國貝子載振殿下の御來遊を好機とし、同じく村田部長より獻納を願ひたるに、殿下には御採納ありたる上、厚く出品人に謝意を傳ふべき旨、同部長迄仰出されたる趣き、傳達ありたり。

右の外本道出品物にして官廳學校、及び商品陳列場等に買上げられたるもの左の如し。

品名	數量	代價	買約者名
大豆	一升	〇七〇	奈良縣立農林學校
蕎麥	一升	〇四〇	全
大	一升	〇七〇	全
蕎麥	一升	〇七〇	全

帆布	亞麻種子	社牛	身缺	薰製	白海豹皮	鯨魚	乾海扇	牡牛	全頭	全頭	牡馬	鱈油	河豚油	食鹽	鮭魚	鱈魚	明骨	乾海扇	手織昆布	昆布灰	鹽化加里	沃度	
一	一	一	五	二	一	一	二	一	一	一	一	二	三	五	四	六	二	二	五	五	五	十三	
反	升	頭	把	尾	枚	斤	斤	頭	頭	頭	升	合	罐	斤	個	個	斤	斤	個	斤	斤	斤	
二四〇〇〇	一〇〇〇〇	六〇〇〇〇	一三三〇〇	四八〇〇〇	六〇〇〇〇	一三三〇〇	一三三〇〇	七〇〇〇〇	三三〇〇〇	六〇〇〇〇	五〇〇〇〇	八八四〇〇	〇九〇〇〇	二二五〇〇	二二五〇〇	八〇〇〇〇	一〇八〇〇	一〇八〇〇	一六〇〇〇	八四四〇〇	五〇〇〇〇	〇六四〇〇	九六四〇〇
農商務省商品陳列場	大阪府農會	香川縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
煎海鼠	干鮑	燻製	長切昆布	海豹皮	稈麥	馬鈴薯	北寄水	冬常盤物	燻製	農具	厚葉昆布	煉瓦	燒雲丹	乾海扇	雲丹	白粘土	陶器	全	瓦管	柳行	外割		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
斤	斤	尾	枚	升	升	斤	斤	反	把	把	東	個	罐	斤	斤	個	個	本	枚	個	個	東	
四五〇〇	八〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	
大分縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	

粟	大豆	胡蘿蔔種子	豌豆種子	南爪種子	蠶豆種子	牧草種子	燕麥種子	菜豆種子	大豆種子	胡爪種子	小豆種子	ライ麥種子	豌豆	燕麥	稈麥	大麥	小麥	菜豆	虹豆	大福豆	蜀黍	粟	
一	二	一	三	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	五	四	四	三	一	一	一	二	二
升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升
〇三〇〇	一六〇〇	一六六〇	五六〇〇	二〇〇〇	一五〇〇	四〇〇〇	〇二八〇	二五〇〇	一五〇〇	〇八〇〇	〇一三〇	〇八〇〇	〇七〇〇	〇三〇〇	三二五〇	二九〇〇	二八〇〇	三一〇〇	〇七〇〇	〇一〇〇	〇八〇〇	〇七五〇	一〇〇〇
全	大阪府立農學校	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	奈良縣立農林學校
陶器	蠶麥	粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉	澱粉
三	一	二	一	二	三	一	七	四	二	一	一	一	一	一	三	一	三	二	一	一	一	一	一
個	升	升	把	斤	升	斗	升	斗	升	斗	斗	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升
七〇〇〇	〇八〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	一四一三	一三〇〇	八五五〇	三三五〇	一四〇〇	四八五〇	二九三〇	六七〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	〇四〇〇	一〇〇〇	一三〇〇	一〇〇〇	一六〇〇	一〇〇〇	〇二五〇	〇四〇〇	一五〇〇	一〇〇〇
全	全	高知縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

魚網	鹽化	赤褐	耐火	燐寸	燐寸	柏木	亞麻	亞麻	切麻	全軸	燐寸	穀付	亞麻	苗木
網	加里	釉石	煉瓦	小函	小函	皮	莖	實	棧	木	小函	牡蠣	莖	木
形	里	石	大形	素地	素地	皮	莖	實	棧	木	小函	牡蠣	莖	木
各	一	二	一	側	十二	二	二	一	二	十	二	一	二	二十
種	斤	百	個	千	把	把	斤	升	個	把	枚	個	把	種
三	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大	大
重	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	阪	阪
縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	府	府
神	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	立	立
苑	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	農	農
池	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	學	學
會	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	校	校
函	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	函	函
館	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	館	館
區	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	區	區
藏	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	藏	藏
町	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	町	町
近	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	近	近
江	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	江	江
勇	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	勇	勇
藏	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	藏	藏
田	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	田	田
中	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	中	中
與	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	與	與
三	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	三	三
郎	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	郎	郎
近	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	近	近
江	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	江	江
勇	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	勇	勇
藏	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	藏	藏
田	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	田	田
中	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	中	中
與	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	與	與
三	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	三	三
郎	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	郎	郎
近	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	近	近
江	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	江	江
勇	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	岸	勇	勇
藏	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	厚	藏	藏

右の外、左の七名は、其出品物を賣却したる代金五圓拾四錢を孤兒院に寄贈したる旨申出ありたるを以て、本廳は該金額を北海孤兒院に寄贈の手續をなしたり。

- 紋別郡紋別村 渥味久之助 全 郡全 村 岩倉梅吉
- 全 郡全 村 加藤三之助 全 郡全 村 谷彌平
- 全 郡全 村 高野留五郎 全 郡全 村 佐野清次郎
- 全 郡全 村 龍田和七

○返送

出品物の中出品人の希望により賣却其他の處分をなさざるもの、若くは大阪に於て受取るべき代理人なきもの等百七十八點は會場より事務所に搬出し、叮嚀に荷造したる上、容積の大なるものは之を船積とし、小なるものは小包郵便を以て一々之を出品人に返送したり、其費用は出品人の自辨にして、其個數九十五個に及へり、之に加ふるに官廳出品と地方費事業場所の返送荷物十個あり、閉會後に於ける事務所の繁忙亦想ふへし。

第七章 儀式及行幸啓

○開場式

本會は明治三十六年三月一日を以て總裁閣院宮殿下に依りて假開場式を行はれ、全年四月二十日、畏くも 陛下御親臨の上、嚴肅なる開會式を行はせられたり、總裁宮殿下の奏上文並に勅語左の如し。

奏上文

戴仁謹ミ奏ス

第五回内國勸業博覽會ノ設備玆ニ成リ本日ヲ以テ 陛下親臨開會ノ盛典ヲ舉ケサセラル内國博覽會ノ開設以來列品ノ數逐次遞加シ今回ニ至リテハ實ニ三十有餘萬ニ上リ之ヲ第四回ニ比スレハ正ニ一倍ヲ加フ而シテ製作技術ノ如キモ前回ニ比シ優ニ進境ニ就クヲ觀ル殊ニ今回ハ始メテ外國ノ列品ヲ參加シ其國十有餘ノ多キニ及ヒ本會ニ一段ノ光彩ヲ添ヘタリ伏テ惟レハ盛徳鴻業日ニ就リ月ニ將ミ國運隆々トシテ振起ス本會ノ盛大斯ノ如キモノアル亦故ナキニアラサルナリ蓋シ博覽會ノ設ケアル所以ハ列品ノ優劣産業ノ特質ヲ校覈シテ之カ改進ノ方法ヲ究メ以テ經濟ノ發展文明ノ啓發ヲ資クルニ在リ是戴仁等夙夜體認シ以テ効果ヲ奏スルコトヲ

期セサルヘカラサル所ナリ裁仁乏ヲ總裁ニ承ケ此盛事ニ與リ感喜ノ至リニ堪ヘス茲ニ恭シク
會場全國列品區劃圖及出品目錄ヲ附シ以テ聞シ併セテ 聖徳ヲ奉唱シ倍々國運ノ隆盛ヲ禱ル
明治三十六年四月二十日

第五回内國勸業博覽會總裁

大勳位功四級 裁 仁 親 王

勅 語

第五回内國勸業博覽會ノ設成ルヲ告ク
朕茲ニ親臨シテ開會ノ典ヲ舉ク列品ノ衆多ナル前回ニ倍蓰ス技術ノ精巧ナル必ス觀ルヘキモ
ノアラム況ンヤ外貨ノ陳列アル今回ヲ始メトス我ヲ益スルコト當ニ大ナルヘシ爾官民倍々其
心ヲ一ニシテ我國光ヲ發揮シ以テ文明ノ化ヲ贊ケンコトヲ期セヨ

之に次ぎ地方官總代として高崎大阪府知事祝辭を奏上し以て式を終れり當日の盛典に參列の榮を得た
る本道人は左の如し。

北海道廳事務員總代	北海道廳屬	石 井 忠 昭
全 出品人	總 代	藤 川 光 太 郎
全 出品人	總 代	尾 藤 鎌 吉

○褒賞授與式

七月一日 御名代伏見宮貞愛親王殿下臨場あらせられ褒賞授與式を舉行せられたり其奏上文左の如し

奏上文

裁仁謹ミテ奏ス

第五回内國勸業博覽會出品ノ審査茲ニ結了シ本日ヲ以テ褒賞授與ノ式ヲ舉行セラル褒賞ノ數
合セテ三萬六千四百九十其中名譽ノ選ニ當ル者百二十七之ヲ前回ニ比スルニ製品ハ益々精良
ニ趣キ受賞者ノ數著シク増加シタリ伏シテ惟ミルニ明治十年以降數々内國博覽會ヲ開設シテ
産業獎勵ノ道ヲ講セシメラレ物産月ニ繁殖シ國富年ニ増進シ今回ノ博覽會ニ至リテハ最モ觀
ルヘキ成績ヲ示セリ洵ニ昌代ノ慶象ト謂フヘシ裁仁親シク此大典ニ列シ褒賞授與ノ榮ヲ荷フ
茲ニ別冊授賞人名錄ヲ捧呈シ恭シク以聞ス

明治三十六年七月一日

第五回内國勸業博覽會總裁

大勳位功四級 裁 仁 親 王

審査總長奏上文

第五回内國勸業博覽會審査總長 臣 非 介 謹ミテ奏ス

明治十年以降内國勸業博覽會ヲ開ク已ニ四回ヲ重ネ今ヤ其第五回ヲ大阪ニ設ケラレタルニ方
リ臣非介審査總長ノ職ヲ奉シ各部ノ僚員ト共ニ全國出ス所ノ品類ヲ審査シ以テ其優劣ヲ制定
ス三月一日之ヲ初メ六月十日之ヲ卒フ其出品總計貳拾七萬六千四百七拾八點ニシテ其褒賞ヲ
授クヘキモノ名譽金牌貳拾四點名譽銀牌百參點壹等賞牌五百五點貳等賞牌貳千參百六拾點參
等賞牌七千五百七拾點褒狀貳萬五千八百五十八點協贊賞七拾點合セラ參萬六千四百九拾點ト
ナス之ヲ前回ノ博覽會ニ比スレハ出品點數ニ於テ拾萬七千參百八拾點ヲ増シ褒賞ノ數ニ於テ
壹萬八千七百八拾壹點ヲ加ヘタリ而シテ今回始メテ參考館ノ設ケアリ諸外國ヨリ出陳スル所

ノ参考品參萬壹千〇六拾四點ニ及ヒ本邦當業者ノ爲メニ參考ノ好資料タリ冷蔵庫植物室及水族館出陳ノ内國參考品ト共ニ調査ノ結果謝狀ヲ贈與スヘキモノ亦極メテ多シ今出品ノ全般ヲ通觀スルニ大體ニ於テ學理ノ應用機械ノ發達技術ノ進歩産額ノ増殖頗ル著シキモノアリテ實ニ國運ノ益々隆昌ナルヲ見ル是洵ニ

陛下至德聖明常ニ淑慮ヲ殖産興業ニ注カセラレ億兆ヲ化育シ國力ヲ培養シ給フノ洪謨ニ賴リ上下尊卑庶庶安堵多年孜々トシテ力ヲ産業ニ致シタル効果ナラスンハアラス誰カ陛下ノ盛徳ヲ欽仰セサラムヤ今褒賞授與ノ式ヲ舉ケサセラル、ニ當リ謹ミテ別冊審査概況ヲ具シテ陳奏シ伏テ誠衷ヲ布ク臣謹介誠恐頓首

明治三十六年七月一日

第五回内國勸業博覽會審査總長

正三位勳一等男爵 大鳥圭介

右奏上終りて 御名代宮殿下には御起立あらせられ左の勅語を下し給ひたり。

勅語

第五回内國勸業博覽會出品ノ審査全ク畢レルヲ告ク茲ニ褒賞授與式ヲ舉ケシム 朕ハ成績ノ殊ニ顯著ナルヲ嘉シ更ニ官民ノ益々奮勵以テ産業ノ繁盛ヲ期セシコトヲ庶幾フ汝官民其レ之ヲ勉メヨ

一同最敬禮の後、受賞者を呼ひて褒賞を授與せられ、終りて高崎大阪府知事、地方官總代として祝辭を陳へ以て式を終れり、受賞者中、名譽金牌は一々出品人各自當應は事務員技手吉川昌則出品人代理として拜受すに授與せられ、以下は總代を以て之を拜受したり即ち左の如し。

- 名譽銀牌受賞者總代東京府事務員 生方五郎
- 一等賞牌全 沖繩縣出品人 古賀辰四郎
- 二等賞牌全 北海道廳事務員 宇都野 勳
- 三等賞牌全 三重縣出品人 増井 冊吉
- 褒 狀受賞者總代島根縣出品人 川上房二郎
- 協贊賞狀全 鳥取縣事務員 某
- 臺灣各廳全 臺北茶商會副會長出品人總代 陳 輝 雪

又參考館其他外國各館謝狀受領者總代人名は左の如し。

- 英領加奈陀政府委員 ワイリアム、エー、ハインズ
- 清國政府委員 劉 世 附
- 全 桑 寶
- 韓國政府委員 三 神 敬 長
- 蘭領印度政府委員 アー、エー、エリオン
- 北米合衆國オレゴン州及布哇政府委員 ヘンリー、エー、ドゥン

本道管内出品者にして名譽賞を受けたる者金牌一、銀牌三あり、左に其薦告文を録す。

名譽金牌

採炭事業 北海道札幌區 北海道炭礦鐵道株式會社
北五條西三丁目
夕張、幌内、空知等ノ諸炭坑ヲ開キ其規模ヲ擴張シ大ニ諸機械ヲ改良シ設備ヲ完全ニセリ其産額逐年増大ス其功甚タ嘉賞スヘシ

名譽銀牌

鯉 搾 粕 北海道根室區 根室郡根室町 藤 野 四 郎 兵 衛
夙ニ父祖ノ遺業ヲ繼キ北海荒蕪ノ地ニ移リテ耕種ノ業ヲ起シ網器ヲ發明シ漁場ヲ開キ漁民ヲ誘導シテ捕漁採藻ノ業ヲ進メ鯉搾粕ヲ製産シテ廣ク世ノ需要ニ供ス今回出品スル所ノ搾粕ハ其質極メテ精良ナリ或ハ人ヲ派シテ遠ク海外ノ漁事ヲ踏査シ精勵業ニ孜ムルコト多年一日ノ如シ洵ニ當業者ノ模範ニシテ其功績甚タ偉大ナリ

名譽銀牌

亞麻布及網地各種

北海道札幌區
北七條第一丁目

北海道製麻株式會社

多年亞麻紡績工業ニ從事シ漸次良品ヲ製ス其出陳スル所ノ織物ハ組織齊整ニシテ細地ハ品質牢實ナリ特ニカヲ海外輸出ニ盡シ加奈陀地方ニ於ケル漁業ノ調査ヲ遂ケ遂ニ一種ノ機械ヲ案出シテ專ラ輸出漁網ノ編成ニ從事シ孜々經營業務ヲ擴張シ販額ノ増進ヲ圖ル其功績稱揚スヘシ

名譽銀牌

鐵道運輸事業

北海道札幌區
北五條西三丁目

北海道炭礦鐵道株式會社

夙ニ北海道ニ於ケル運輸事業ニ盡力シ移民及採炭事業ニ對スル功績勲ナカラス
當日本廳より式場に參列したる者左の如し

北海道廳事務員 技師 伊 吹 鎔 造
全 屬 宇 都 野 勳

全

技手 吉川 昌 則

○閉會式

五ヶ月間の開會日子は成功の喝采聲裡に夢と過ぎ、八月一日其閉會式を舉げさせられたれり。同日安廣事務官長左の辭を述へて閉會を請へり。

第五回内國勸業博覽會ハ昨日ヲ以テ正ニ豫定ノ會期ヲ終了セリ願フニ曩キニ開會式ヲ舉行セララルヤ

天皇陛下親臨アラセラレ優渥ナル勅語ヲ賜ヒ又褒賞授與式ニハ御名代トシテ貞愛親王殿下ヲ欽差セラレ重ネテ聖詔ヲ下シ賜フ臣民タル者深ク大旨ヲ奉體シテ勵精以テ産業ノ發達ニ努メサルヘクンヤ抑モ今回ノ博覽會ハ之ヲ前回ニ比スルニ其進歩殊ニ著シク出品點數ハ貳拾七萬六千點出品人

員拾參萬餘ニシテ前會ノ二倍ニ垂ントシ會場ノ地積館舍ノ規模亦從テ擴張シ列品ノ部類陳列ノ方法其ノ他萬般ノ設備總テ改良ヲ加ヒ面目ヲ革メタルナシテ審査ノ結果受賞者ノ數參萬六千有餘ニ及ヒ亦前回ニ倍スルノミナラス其ノ中名譽賞ノ光榮ヲ受ケタル者百二十七ヲ占メ其數實ニ前會ノ五倍ニ過ク又來觀ノ公衆ハ本會及水族館ヲ合セ五百參拾萬ニ及ヒ優ニ前會ノ約四倍ヲ超エタリ前回博覽會ノ開設ヲ距ルコト未タ十年ニ滿タサルニ其ノ盛況此ノ如キ所以ノモノハ曠近我カ産業ノ頓ニ振興シテ長足ノ進歩ヲ致シタルニ由ルモノニシテ畢竟官民共同勤勉ノ効果ニ外ナラサルナリ

參考館ヲ附設シテ外國品ノ陳列ヲナシタルハ今回ヲ以テ嚆矢トシ内國勸業博覽會亦一段ノ光彩ヲ添ヘタリ其出品高實ニ十有四ヶ國ニ亘リ出品點數亦豫想ノ外ニ出テ事務局ノ設備之ニ應スルコト能ハス終ニ自費ヲ以テ特別館ヲ建設スル者アルニ至レリ其我カ當業者ヲ啓發シ産業ノ進運ヲ裨補スルノミナラス將來ノ彼我貿易上ニ至大ノ効益ヲ及ホスヘキ疑ヲ容レサル所ニシテ本會ニ贊同シタル外國政府及出品者ノ好意ニ對シテ感謝ノ意ヲ表セサルヲ得サルナリ
本會ノ盛況畧ホ斯ノ如シ從ヒテ之カ經營設備ニ將々之カ管理措置ニ百端ノ事務頗ル繁雜困難ヲ極メタルニ拘ハラヌ本會ノ趣旨ヲ誤ラスシテ克ク圓滿ノ終局ヲ見ルニ至リタルハ全ク本會關係官民ノ共同盡力ニ依ルモノニシテ洵ニ欣慶ノ至リニ堪ヘサル所ナリ茲ニ燕辭ヲ陳ヘテ謹ミテ閉會ノ式ヲ舉ケラレンコトヲ請フ

次ぎに清浦副總裁は 總裁殿下の令旨を朗讀すること左の如し。

令旨

第五回内國勸業博覽會々期已ニ滿了シ茲ニ閉會ノ式ヲ行フ本會列品ノ夥シキ褒賞ノ多キハ初回博

覽會以來未タ其比ヲ見サル所ニシテ諸般ノ經營設備亦從テ一府ノ進歩ヲ致セリ是官民一致シテ勸業ノ聖旨ヲ裁體シ勤勉以テ産業ノ發達ヲカメタル結果ニシテ國家ノ爲メ慶賀ノ至リニ堪ヘサルナリ然レトモ今日ノ産業ハ未タ全程ノ半ニ達セス今後改良ヲ加フヘキモノ一ニシテ足ラス官民其レ益々一致精勵シテ前途ノ大成ヲカメヨ茲ニ閉會ノ式ヲ行フニ臨ミ一言以テ諸子ニ告ク終りに高崎大阪市知事地方官總代として祝辭を朗讀し滞りなく式を終りたり當日日本廳より儀式に參列したるもの左の如し。

北海道廳事務員技手 柳 川 振

○行幸啓

四月二十日開會式御舉行の後 天皇、皇后兩陛下には引き續き各館を御巡覽あらせらるへき旨仰せ出されたり之に就き安廣事務官長は各地方事務員を招集し御巡覽中は府縣事務員各々受持區域を定め各館に詰切るへき旨當日の心得と共に訓示せられしを以て本廳に於ては左の如く受持を定め掃除其他萬事不都合無き様注意を加へたり。

農業館	事務員	横瀬農夫也	看守人	一	名
林業館	事務員	石井忠昭	看守人	一	名
水産館	事務員	吉川昌則	看守人	一	名
動物館	事務員	坪内徳太郎	看守人	一	名
通運館	事務員	吉川昌則	看守人	一	名
機械館	事務員	石井忠昭	看守人	一	名
園藝	事務員	横瀬農夫也	看守人	一	名
工業館ノ内	事務員	吉川昌則	看守人	一	名
綿及絲類	事務員	吉川昌則	看守人	一	名

染織工業	事務員	横瀬農夫也	看守人	一	名
製作工業	事務員	石井忠昭	看守人	一	名
探礦冶金	事務員	吉川昌則	看守人	一	名
化學工業	事務員	横瀬農夫也	看守人	一	名
陶磁器類	事務員	石井忠昭	看守人	一	名
教育館	事務員	吉川昌則	看守人	一	名

又御巡覽當日各館に詰合ふへき者の服装は機械館に於ける運轉士及工女の如きものを除き男子は「フロツクコート」同服持合なき者は羽織袴、女子は一般に袴を着用せしむへき旨、事務官長より達せられ、其後再び事務局出品課長代理山脇事務官より左の如く口達ありたり。

- 一 兩陛下御巡覽ノ前日ニハ事務員看守人全力ヲ盡シ午後五時閉館後御巡覽アラセラルヘキ各館ヲ清潔ニ掃除スヘシ
- 一 御巡覽當日ハ事務員看守人各々部署ヲ定メ大通路ニ向ヒ整列シ御通過ノ際ハ最敬禮ヲナスヘシ
- 一 當日ノ入場者ニハ兼テ届出アリタル人名ニ依リ其前日ニ入館證ヲ交付スヘシ之ヲ所持セサル者ハ一切入館ヲ許サス
- 一 入場者ノ履物ハ靴若クハ草履ニ限ル服装ハ糞キニ通牒シタル通ナレトモ事務局文書課長ノ認可ヲ得タル向ハ一定ノ看守制服ヲ用ユルモ妨ケナシ
- 一 第二回ノ御巡覽前日ニハ更ニ一項ノ通り掃除ヲナスヘシ
- 一 腐敗ニ近キ出品物ハ此際一切搬出スヘシ
- 一 動物館ハ左ノ各項ニ依リ處理スヘシ
 - 床板糞尿桶及四圍ハ清潔ニ掃除シ糞糞筒桶等ハ表面ヨリ見エサル位置ニ置クヘシ
 - 牧夫ハ各動物ノ後ニ整列シテ動物ヲ看守シ排糞シタルトキハ直チニ之ヲ取除クヘシ

動物ハ各正面ニ向ケ左右ヨリ繋留スヘシ
 馬栓轡等ハ遺憾ナキ様整理シ置クヘシ
 馬名表等ニ抹消シタル部分アルトキハ之ヲ明記シ置クヘシ
 開會式の前日に至り更に左の通知を受けたり。

兩陛下御巡覽ニ關スル要件

- 一 美術館ニ若御ノ節ハ總裁、副總裁、審査總長、事務官長、御車寄ニ奉迎シ總裁便殿ニ御先導ス
- 二 御巡覽ノ時ハ總裁、副總裁、審査總長、事務官長ハ館ノ入口ニテ奉迎シ各部長ハ各其部ニ於テ奉迎ス
 御先導ハ副總裁、事務官長若シクハ事務官一人之ニ當ル總裁、審査總長及事務官一兩名扈從ス(服装高帽フロックコート)副總裁事故アルトキハ審査總長御先導ス
- 三 御説明ハ部長及ヒ審査官、事務員等、服装高帽フロックコート之ニ當ル但シ部長及ヒ説明員ハ各其擔當區域内ニ於テ奉迎シ擔當區域内ニ於テノミ扈從ス但シ甲部長ニシテ乙部ニ關係シ其説明ヲ要スルモノアルトキハ此限ニアラス
- 三 御巡覽各館ニハ府縣事務員及事務局ノ許可ヲ得タル者ヲシテ各自ノ擔當場所ニ詰切ラシム
- 五 御巡覽當日ハ美術館ハ公衆ノ觀覽ヲ禁止ス他ノ各館ハ御巡覽濟迄公衆ノ縱覽ヲ禁止シ御巡覽濟タル後公衆ノ觀覽ヲ許ス
- 六 御巡覽當日ハ總裁、副總裁ヲ除クノ外審査總長、事務官長、部長ハ徽章ヲ用ヒ其他ハ凡テ入館證ヲ用ユ其他ハ入館ヲ禁ス

兩陛下は左記御日割を以て各館を御巡覽あらせられ、親しく出品物を見そなはし給へり、當日日本廳事務員は豫定の擔當區域に詰り切り、諸事不都合無き様處理したり。

天皇陛下

四月二十三日 工業館。同二十五日 美術館、參考館。同二十七日 農業館、林業館、水産館、動物館、加奈陀館。同二十九日 教育館、機械館、植物室。五月一日 通運館、臺灣館。同三日 ホーン館、アンドリュース館、ヘルラー館、シーフインベルゲル館、マツフエー館、冷蔵庫。皇后陛下

四月二十四日 工業館。同二十六日 美術館、參考館。同二十八日 農業館、林業館、水産館、動物館、加奈陀館。同三十日 教育館、機械館、植物室。五月二日 通運館、臺灣館。同四日 ホーン館、アンドリュース館、ヘルラー館、シーフインベルゲル館、マツフエー館、冷蔵庫。

御巡覽中、兩陛下は本道出品の馬匹を御熟覽あらせられしことは前に記したる如しと雖、天皇陛下は特に本道水産館に御立寄遊はされしことも亦爰に拜記せざるへからず、是より先き右御立寄のことは村田審査部長より内達ありたるを以て、本廳は特に色丹土人出品に係る臘虎皮及標識鮭魚標本を館の前方に運び、館内には香水を撒布して臭氣を防ぐ等夫々設備を盡せり。
 超えて五月二十八日に至り、皇太子殿下、同妃殿下御同列にて、有栖川宮殿下と共に行啓あらせられ、同日より同月三十一日まで、毎日各館を御巡覽あらせられたれば、各館に事務員の詰切りて萬事不敬に涉らざる様注意を加へたること行幸の時に同じ。

第八章 各館の概況

○農業館

農業館は從來の博覽會に在ては更に陳列裝飾に意匠を用ゆること無く、頗る蕪雜を極め、全體の趣味索然

として只僅かに斯業専門家の参考に資するに過ぎず。一般観覧者の注意を惹くに足るもの殆んど絶無なりしか、今回は各府縣とも陳列に趣向を凝らし、其裝飾にも注意を加へたるの形跡歴然たるものあり、之を美術工業等の諸館に比し甚たしく索落の觀なきを得たるは、喜ぶべき進歩なりと言はざるべからず。農業館の建築は恰かも丁字形をなし、正門を右すれば左端は京都府にして右端を我が北海道となす、京都の宇治茶園の摸型を陳列して其舊都的雅致を誇るに對し、本道か若色寫真と洋式農具とを陳列して大農的耕作方法を示したるは、不用意の間に好個の對照をなし、彼れの織巧綺麗、婦女子の如くなるに對し、我は魁偉なる丈夫の儼然たるか如きを見るべし。

先づ全國の出品物に就て概評を試むれば、米は一般に佳良にして就中肥前、肥後、防長、江州、兵庫及伊勢等は粒狀色澤共に間然する所なく、府縣に於て比較的劣等の米産地たる秋田、青森の出品中にも、優良の陳品ありしは、一般に改良進歩の實蹟を證するに足るべく、中國筋の稗麥、奥羽地方の大豆中には到底本道産の企及すべからざる絶品多く、信越地方の大麥、江州の蒙蒙、栃木、滋賀縣の小豆等は、殆んど本道産に拮抗して優良の品多かりしも、小麥、玉蜀黍等に至りては一般に本道産に比して劣りたる觀ありき、特有作物中最も見事なりしは、岡山縣の蘭草、香川縣の麥稈、栃木縣の大麻等にして、是等は製品にも優良のものを認めたり、要するに作物の出品は一二縣の米を除くの外、他は概して品種不統一にして雜駁を極めたり、又作物に對する個人的の出品極めて多きに拘はらず、全國無數の農業機關よりの出品は甚だ少數にして、如何にして幾多の農事改良を企圖し施設しつゝあるかに付き、其真相を示すべき出品としては晨星の寥々たるか如き觀ありき、獨り農商務省農事試驗場の出品は、農事改良上重要な事項に付き、試驗研究の結果を示し一見何人にも了解し易からしむる様、模型又は寫真繪畫により、若くは統計によりて秩序正しく排列し、之に詳細なる解説を附し以て學理應用の農業改良上に缺くべからざるを示せるは、農業館出品中實に異彩を放ち

たる者にして、之に亞ては府縣農學校、農事試驗場より害蟲の經過、驅除豫防等に關して趣味と實益とを兼ねたる出品をなし、其數量も殆んど中合せたるかの如く多數なりしは、農業界に害蟲の恐るべきを指示して殆んど遺憾なかりき、學理の應用調査、研究の結果としての出品は、福岡、神奈川の兩農事試驗場、大阪府及熊本縣兩農學校の、病害に關する試験成績、研究調査等は、稍や人目を惹きしむ、農業經濟農事行政に關する調査統計等の出陳、極めて稀にして、僅かに福井縣及千葉縣に於ける耕地整理の圖、田區改正に關する成績調査、福岡縣の村是調査書、長野縣に於ける有利副産物の調査書等の外、注目すべきもの少なく、模範農場經營に關する設計の如きは、農業革新變遷の今日に當り、各種の農業機關に於て最も熱心に企圖せらるゝものなるに拘はらず、其出品なかりしは、誠に憾むべし、其他吾人の最も意外に感せしは、精巧なる改良農具の如きは、一も注目に値するものなく、僅かに水勢揚水器、麥稈摺器、械唐箕、馬耕犁等の粗笨なるの二三を除くの外は、多くは在來農具の構造に多少の變化改良を加へたるものゝみにて、農事の改良は依然乎巧的農業の範圍を脱する能はざるの觀あり、惟ふに是實際に於て、府縣農業の真相を最も能く證明したるものにあらざるなきを得んや。

農業館に於ける本道陳列場は、府縣に比して最も好位置を占め、外廓に重要物産の一たる小豆を順序能く排列し、門内の正面に府縣出品中に見る能はざる精巧の馬耕的農具を並へたるは、儘に觀覧人の注目に値せり、出品の主なるものは、大小豆、米、麥類、菜豆、蠶繭、玉蜀黍等にして、府縣に類例なきは、亞麻、牧草等とす、而して出品人の出品物撰擇は、府縣に比すれば、儘かに粗雜なるを認む、此の一事は本道農業の大規模なる點を顯はすものにして、吾人は本道當業者の態度、亦自から大なるものあるを感せざる能はざりき、出品中最も見事なるは大麥、小麥、燕麥、小豆、玉蜀黍、蠶繭、菜豆等にして、米、稗麥、大豆等は一般に見劣れり、而して大麥、燕麥、小豆の外は、品種概して不統一にして、間々劣等なる種類の出陳せらるゝを見る、殊に甚たしきは小麥にし

て、本道に於て最も良好の品種と唱へらるる「マーチンアムバー」種の出品少くして、比較的劣等の赤皮、赤白皮、白種多く、大豆も亦本道の全般に適して醸造用に好評を博する彼の白小粒の出品少くして、却て奥羽地方の温暖地に適する鶴の子又は白大粒多く、蠶桑の洋種なりしは善しとするも、獨逸種、米國種の混交せるか如き、玉蜀黍の原種の退化せるもの多きか如き吾人の大に遺憾とするところなり。又出品の點數より言へば本道の特産物とも云ふべき燕麥、菜豆、亞麻等の出品至つて少く、府縣人の驚歎を博すべき馬鈴薯、玉葱、甘藍の如きも各々數點に過ぎずして、園藝上に於ける本道の地位を表明する能はざるの概あり。本道名産の苹果は大に世人の注目を惹きしむる所、青森、秋田、山形諸縣のものに比すれば、色澤と選粒とに於て一籌を輸するものありき。蓋し栽培方法と害虫驅除に就て、彼れの熱心勉強に及ばざるものあるに由るか、將來深く注意せざるべからず。要するに今回の博覽會に於ける本道の出品は、普通農業を經營する上よりは先づ相應に其價値を發揮せしならんも、本道拓殖の經營方針とも云ふべき畜産業乃至耕牧混同農業を府縣に紹介するの點に於ては、多少閑却せる點ありしものゝ如し、今其一例を舉ぐれば、家畜飼料として牧草は僅か數品に止まり、而かも其調製甚だ不良にして、恰も藁屑の如き概あり。家畜用根菜類の出品は殆んど絶無にして、畜産の製品亦僅かに牛酪二點に止まれり。是等は本道農家の耕牧業に向て進歩すべくして、而かも尙進歩せざるを證するものにして、吾人の遺憾に禁へざる所なり。殖民地の廣大なる區劃其開墾の狀況、大牧場の實況「ソルキー」型にて耕鋤の有様、刈禾器にて麥類刈集の狀況、試験場の大規模なる設備等の寫真ありて、本道の大農的面目を現はしたるは大に喜ぶべし。

以上は農業館に於ける本道出品の缺點を忌憚なく指摘したるものなれども、大體に於ては優に府縣に超絶したるものありしは、爭ふべからず。穀類の豊美潤澤なる蠶卵と繭との色澤佳良なる、誰か往昔の蝦夷ヶ島根に産したるものと思はんや、況んや出品の種類極めて饒多にして、府縣に類例無き特殊の出品も亦多く、冥々の間大陸的氣格の髣髴として認めらるるものあるに於ておや。

○林業館

農業館の南に接し、水産館の北端に連なるものを林業館となす。西方更に動物館に對して細長なる別館を設く。隨て本道の林業出品も亦二館に分れたり。本館に於ける本道の陳列場は大通路の左側に於て、正面の玻璃窓中には毛皮類を陳列せり。其光澤の美なると、軟毛の密なるとは全國中比較すべきものなく、全く本道の特産たるを示せり。現に此類の出品は岩手外一二縣の出陳ありと雖も、比較するの價値あるもの無かりき。毛皮の後部に折れ曲りて、燐寸軸木及其小箱素地を陳列せり。燐寸軸木は近年産額頗る大なるに至り、本邦重要輸出品の一に属す。然れども本道に於ては、只其軸木と小箱素地とを神戸地方に輸出するに止まり、燐寸として輸出する能はざるは大に遺憾とする所なり。本品の如きは將來工業の發達と共に、原料としてよりは完全なる製品として輸出するの方針を執らざるべからず。軸木の傍らに經木の出品あり、是亦將來有望の産物なれども、現今は尙創業時代に屬し、品質亦良好と稱するを得ず。燐寸軸木と反對の側には、建築用材を陳列したり。其天鹽松、蝦夷松、櫻松の如きは深山の利用に依りて之を産出し、更に鋸器械を以て之を製材したるものにして、特に輸出向きとなせるは用意深しと謂ふべし。別館にも亦建築用材の一部を陳列したれども、水松、及桧の如き手藝製品の原料最も人目を惹き、鐵道枕木と枕木用材とは、内地用と外國向との二様を出品し、共に其價格の廉なるを見るべし。之を要するに本道の林業は今日尙天然林利用法の研究時期にあるものなり、而して本道は本邦中最も廣大なる林積を有し、林相亦良好なるもの多きに居るを以て、經營其宜しきを待は、農漁の兩業と相對して帝國の富源たること決して難きにあらざる。當業者の倍々奮發せんことを望む。

○水産館

二百六

本館に於ける本道出品區域は最も廣大なる面積を有し、陳列品亦頗る饒多にして觀覽人の注意を惹きたるもの尠なからず、鮭、鱈の如き、鯨の如き、昆布の如き、我が重要漁業と認むべきところのもの、概ね他府縣に比倫を有せざる特産物なるを以て、彼此相對照して之を論評するは聊か困難を感ずるもの無きにあらざると雖、之を前回は比較して現在の狀況如何を看るも、亦必ずしも利益なしとすへからず、即ち左に概評を試む。

食料品の中、灰鮑は從來本道を以て本場と稱せられたるに係はらず、概近濫獲の結果、形狀漸次小を來し品質亦改良の點あるを認むる能はず、之に反し九州地方の製品は著しく改善を加へ優に本道製品を凌駕するに至り、東北地方に在ても岩手縣の如きは、其製品又本道に勝るに至れり、本道當業者たる者深く此點に注意し製法に改良を加へて、市場に於ける聲價の廻復に努めざるへからず、海參も亦産額の多きに反して品質の佳良なるもの尠く、今回の出品中根室より出したる一二點を除きては、青森、岩手等に比して優りたる者なく、大體より之を觀れば本道産は寧ろ岩手に比して多少の遜色なき能はず、元來本道産のものには其素質惡しきにあらざれども、製造方法中特に脱腸不完全にして鹽味亦其宜きを失したり、將來深く注意を要す、貝柱は近來根室、北見地方に多額の産出あるを見る、出品中には良好のもの無きにあらざりしか、今日の現況より見れば更に優良なる出品無かるへからざるに是なかりしは憾むべし、鰯は前回は比すれば、本道産にも頗る進歩したるものあるを認む、殊に洗滌方法は著しき進歩の跡を認めたり、然れども、裁割は尙ほ不規則にして、展伸亦不十分なるを免れず、特に把束の一定せざるは惜むべし、是等の點に就ては關西地方及岩手縣に於て大に改良したる實績あるを認めたり、此種の産額培々多きを加ふる本道に在ては更に

一層の奮發を要す、乾鰯の出品したるものは孰れも良好なりしか、横濱邊に於ける市場の賣品には、往々骨を殘せるものあり、或は類似の乾魚を混入せるものありとの評あり、是等は本品の一般聲價に鮮なからざる惡影響を與ふるものなれば、同業者互に相戒しめ速やかに此弊風を除却せざるへからず、又本魚に就ては壓搾鮭の如き新規なる製品を見されども、世の需要に伴ひて此種の新製品を造出するの工風あらんとを望む、鹽鮭は近來收獲の量を減したるを以て、大に品質に改善を加へて價格の昂騰を期せざるへからず、然るに今回の出品の如きは概ね舊製法を墨守して、些の改良を加へたるものあるを認めず、最も甚たしきは一般に血切りのまゝ、直ちに鹽藏して、毫も洗滌に注意せざりしこと、是なり、洗滌するには幾分の手数を要すること勿論なれども、品質の良好なるものを得るに比すれば、其手数の如きは言ふに足らずと信ず、其他用鹽の方法と其選擇とに就ても、多大なる改善の餘地あるに拘はらず、當業者の深く留意せざるは誠に惜むべし、現に本廳水産試験場より出品したる本品の如きは以上の諸點に注意を加へたる結果、出品の末期に至るも少しも腐敗、變色等のとなく、十分陳列に勝へたるを見て知るべし、鹽鮭は民間出品のもの一點ありしか、陳列中腐敗したるを以て之を廢棄したり、然るに本廳水産試験場製造に係る同品は毫も異狀なく、之を試食するに變味するところなかりき、製造方法の如何によりて徑庭あること實に斯の如きものあり、昨年濠洲及ひ北清地方に試賣したる結果に就ても、試験場製品は大に好評を博したるの報あり、如斯は有望にして且つ有利なる外國輸出品として官民共に益々研究を要す、燻製類は鮭、鯨の二種ありて何れも良品たり、是等も倍々發達するの餘地あるものなるを以て更に當業者の奮發を望まざるを得ず、鯉魚は從來本道沿岸に産したれども、之を鯉魚節に製するは、本道に於て殆んど罕みなきもの、如く思考し、斯業に従事する者無かりしか、本廳の獎勵と當業者の奮發研究したる結果、終に良品を製出するに至れり、今回出品したるは日高に一點ありしのみなりしか、其品質良好にして一種の産物とするに足る、本品の如きは

其産地の範圍廣きを以て漸次製出の多きを見るに至るへし、鯨詰は近年大に産額を加へたるのみならず、種類も亦多きを加へたるは喜ふへし、就中根室の藤野四郎兵衛出品に係る鮭鱈は、品質良好にして産額亦多大なり、近來工場も大に改善を加へ、器具の如きも最も完備したるを見る。尙其他規模、産額共に少小ならざるもの二三のみならずあるに至りたるは、本道水産業の一進歩と稱すへし。鮭鱈以外の各種鯨詰は未だ市場に聲價を高むるに至らずと雖も、將來大に望みを囑すへきものにして、頗る喜ふへき傾向と言はざるへからず、昆布は概ね良好にして解説書に徴するも近來改良の著しきを認め、特に濱中組合が率先して本品の改良を圖り、根室地方亦之に倣て品質を改良したるは大に喜ふへし。天鹽及利尻禮文の如きも製法粗雑なりしか、近來は品質を改良したる結果、價格の昂騰したるを見るへし。此勢にして進まば、本業の將來は倍々有望なるものと言ふへし。

此外海藻に就ては、石花菜、若布の如き、近來産額の多きを加へたるに係はらず、其出品僅少なりしは、思ふに地方人の斯業に重きを置かざるに由るか、是等は漁家の副業として輕視すへからざるものなるを以て、益々採取に怠らざるを希望す。

鯨搾粕は近年往々鯨の凶漁より、漁家經濟の困難を惹起するのみならず、大豆粕の競争ありて肥料界に獨特を誇るを得ず、營業者たる者此點に注意して品質の改良と、經濟上廉價に産出し得る方法とを講せざるへからず、然るに今回の出品を見れば、其品質前回に比して大差なきか如く、只非常に劣悪なる出品を見ざるを多少の進歩と稱すへきか、抑も本品は本道第一の大産物なるか故に、一部の改良と雖經濟上至大の利益あるべきを以て、營業者は、銳意改良に怠らざるへからざることを言ふを待たず、然るに今回の出品中には乾燥器を利用したるもの一點の外、豫期したる改良品に接せざりしは大に遺憾に堪へず。

油類中出品の重なるものは、鯨油と肝油との二種とす。鯨油に在ては精製品に佳良なるものあるを見たれとも、採油の方法不完全なりし結果、一種の悪臭を脱せず、是等は最初採油の際不完全なる點あれば、到底良好の製品を得る能はず、假令製し得るとするも、多大の費用を要するを以て、結局原價を廉ならしむるに終る、乃ち營業者は、最初採油の際、最も綿密なる注意を要することを記憶せざるへからず、肝油に至ては一般に著しき改良進歩の點を認め、晩近鱈漁業の盛大に伴て本品製造業の進歩は最も喜ふへし。本品に就て最も注意すべきは、本廳水産試験場の出品に係るものとす、元來肝油には、一種の臭氣と嘔吐を促さしむる如き氣あるものと考へられ居りしか、研究の結果、是等は本品に固着したる特質にあらずして、其斯の如き臭氣と嘔吐の氣とは、製造の際空氣中の酸素と、本品の主要成分との化合より生ずるものなること確かめられたり、且つ其嘔吐の氣は、飲用者の胃を害すること少なからざるを以て、此兩缺點を排除せんと欲せば、空氣外に於て之を製造せざるへからず、水産試験場の出品は、乃ち此方法によりて製造したるものにして、今日に在ては未だ十分の成績を見たりと言ふ能はずと雖、此研究にして成功せば、完全なる良品を社會に供給し得へしと信す。

網地は出品人の數甚た少なかりしか、其出品物は頗る整頓したるもの多かりき、就中北海道製麻株式會社の出品は、本道特産の亞麻製にして、孰れも品質良好なり、殊に加奈陀輸出網は同國に於て大に聲價を得たる結果、輸出額の益々増加するは喜ふへし。如斯は獨り水産界の利益のみならず、本道拓殖の點より看ても鮮なからざる貢獻をなすものといふへし、之を要するに本品の如きは、水産出品として最も新たにして且つ最も進歩したるものと稱すへし。

漁具と水産製造器具は多少の出品を見たれとも、皆在來のものにして、改良進歩と認むべきものなし、府縣に在ては此種の出品物にして、漸次改良を加へたるものあるを見る、本道の營業者は、是等の點に就ても少しく留意せんことを望む。

○工業館

本道の開拓は維新以來の事業に屬し、今や移民の數百萬に達せりと雖、主として力を漁業の二業に注ぎ、工藝に至ては頗る幼稚の状態にあるを免かれず、是新開地に在ては當然の現象にして米國諸州の如きも最初は亦皆然らざるを得ざりしなり。故に今回の博覽會に於ける本道の工藝品を品臨せんと欲せば、先づ前記の事情を胸中に記憶し而して後、現在の出品に徴して將來の發達如何を卜するを至當とす。彼の現今出品の寥々たるを尺度として直ちに本道工業の將來を悲觀するか如きは、抑も近眼者流の論と言はざるべからず、今分類の順序に依り左に聊か各部の概況を示さんとす。

絲及綿類 正門を入りて左折すれば、工業館第一の入口たる絲及綿類の陳列場とす、而して入場第一左側に在て觀覽人を迎ふるを本道出品區とす、出品點數僅かに三十餘に過ぎずと雖、其生絲と眞綿とは色澤品位決して府縣のものに遜らず、只生絲に在ては其整理工程たる緒留、力絲、箆角等の整備を缺き、眞綿に在ては其形狀、束造の方法未だ完備せざるの遺憾ありしと雖、是適々斯業の將來に改良發達の餘地あるを示すものにして、絲質の根本的價値は府縣産に劣らざるものあり、他日養蠶の發達と共に大に輸出市場に聲價を博するの時あるべきを信す。

本部に於て更に特記すべきものを亞麻絲とす、北海道製麻株式會社の出品する所にして、他に類例を見ず、特に其生五十番以上のものは、品質外國品に劣らず、年々參拾萬圓内外の輸入を見る晒麻絲を防遏せんとするの勢あるは、盛なりと言ふべし。

染織工業 絲及綿類を終りて十數歩を進むれば、工業館中出品區域の最も廣大なる染織工業部に入るべし、其第一右端を本道出品區とし、爰に絹織物及麻布を陳列せり、絹織物は本道の如き新開地に於て

は、染織共に種々の不便ありて、其發達を見ること頗る困難なりと雖、其原料たる蠶業の發達速なるに伴ひ、之か消費方法を講ずるは最も必要のことたり、是本應か年々斯業に獎勵を加ふる由縁にして、今回の出品中、重なるものは本廳農事講習所及び染織事業の囑托員たる松崎龍平の出品に係る。

麻布は孰れも北海道製麻株式會社の出品にして、帆布、洋服地、ダック等、其紡績より製織、整理に至る迄、悉く文明の利器を應用し、殊に實用の點に於て大に賞賛に値すべきものあり、就中其帆布は原絲均一にして組織緊密、且牢實なるを以て、吸水量の多からざる等最も優等の資格を有せり、會社業務の規模亦廣大にして、獨り本道に於てのみならず全國に於ても亦當業者中の白眉と稱するに足る。

製作工業 本道の染織工業出品區を終り、大道路を東に向ひ數歩を進めて右折すれば、南北に通したる西側大通路あり、其右側に本道製作工業部あり、本部は家具、日用品等にして觀るべきもの尠しと雖、其中疊表及柳行李は輕忽に觀過すべからざるものとす、本品に就ては別に地方費事業出品の説明に於て詳らかに之を説くべきを以て、茲には之を略せり、本部出品の中、深野某の出品に係る鋼鐵製戸棚及菓子器は固と美術館に出品すべき計畫なりしも、鑑査の期限内に到達せざりしを以て、終に本部に陳列するに至りしなり。

採鑛及冶金 本部に於ける出品は其種類甚だ多からずと雖、北海道炭礦鐵道株式會社出品の石炭及骸炭各種と、其炭坑の經營に關する設計圖表並ひに炭坑の模型は雄大なる規模の一端を窺ふを得べく、硫黄は之に次て豊富なる産出あるを示せり、三井鑛山合名會社は別に一館を設け、府縣産出のものと共に本道に於て採取したる現品及製煉品を陳列し、添ふるに設計圖表等を以てしたり、然れども其陳列裝飾等のことは凡て同會社之に當れり、松前より出品したる蠟石は、其用途廣くして品質亦良好なるを認む、瑪瑙石及砂金等は出品數量甚だ少なく、未だ以て本道の産額を示すに足らず。

化學工業 本部の本道出品は、工業館東側の大通路に而し種々の品類を包含せり。其中最も注意すべきは札幌麥酒株式會社の麥酒にして、特に其麥芽は全國全業者中自から製造するを得るもの目下全會社あるのみ。清酒及醬油は各十餘點の出品を見たれども特に賞賛すべきもの無く、只本道の如き新開地に於て到處斯の如き製品あるに至りしを多とすべきのみ。粗製沃度及薄荷は本道特殊の産物に算すべきものにして、其出品者亦全道の各方面に亘れり。之を要するに本道に於ける本部の出品は、機械を應用して同一品種を多額に産出し、以て勞費を省き販路を擴むるの方針を執る者甚だ稀にして、只目下の需要に應ずると云ふのみ。將來大に當業者の發奮を要するものたり。

陶磁器類 本部の出品は其種類最も少なく製品も亦幼稚なるもの多し。只北海道セメント株式會社出品の「セメント」及人造石は、品質佳良にして且實用に適するとの評あり。煉瓦及瓦類は多少改良の點を見れども未だ十分の發達をなさざるもの、如く、陶磁器類に至りては蝦夷式の彫刻を施したるもの多少好事家の注意を惹きたれども、其品質、製法等は未だ見るべきものなきを憾む。

工業館の全體を通して本道の出品を觀來れば、其點數と外觀とに於て寂寞の感を免れずと雖、其工藝の範圍諸方面に亘り、之に加ふるに地形上各々特殊の便宜を有せり。將來の發達上より之を觀れば、本道は府縣に比して寧ろ多大の希望を屬すべき價值あるものと謂ふべし。

○教育館、通運館及機械館

教育館中の本道出品區は最も索落を極め、本應出品の統計と圖表を除きては、僅かに二三の寫眞を出品したるもののみ。北海道炭礦鐵道株式會社、同製麻株式會社等多數の職工勞働者を使役する者之に對する管理方法及其成績を出品せば、大に當業者に利益を與ふるものありしならんも、其出品を見ざりしは甚

た遺憾とするところなり。尙函館及小樽の如き要港に在る當業者にして、運輸、交通、貨物包裝等の方法及成績並ひに經濟上諸機關の組織、方法等を出品せば、研究に値するもの亦尠なからざりしなるべし。今後は此方面に向て多數の出品を望まざるべからず。

通運館に於ける本道出品は、本應出品圖表の外、北海道炭礦鐵道株式會社と北海道鐵道株式會社の鐵道運輸業に關する設計及寫眞並ひに其附屬品と小樽より出品したる電柱用腕木等とす。其中北海道鐵道株式會社は本應を経由せずして直ちに東京本社より出品したるを以て、本應出品目錄には之を缺けり。從て其陳列、裝飾等の如きも、本應吏員は更に關與したることなし。北海道炭礦鐵道株式會社は、先きにも之を記したる如く、特に社員を派して陳列に従事せしめたり。其出陳したる設計及圖表、寫眞等は、斯業上有益なる參考品にして、機關車用「エゼクター」及「スタンドパイプ」並ひに「チルドホエール」の如きは、全會社手宮工場の製品にして其設備の完全せるを見るに足る。電柱用腕木は廉價にして本道に於て潤澤なる供給をなし得るを示し亦有益なる出品の一たり。

機械館に於ける本道出品は僅かに二點に過ぎず。其工風の點は出品人の苦心を認むるに足るものわれども、未だ精巧完美なるものと云ふを得ず。然れども本道に於て斯の如き發明を企つるの傾向あるは大に欣ぶべしとす。

第九章 賣店

○賣店に關する設備

出品人をして出品と同一の物品を販賣すべき賣店を會場の一部に設置せしめ、遠來の觀覽人に之を販賣は、販路を擴張し需要を促進する手段として直接重大の干渉を有するや論を待たず、是博覽會に賣店を置

く所以にして、第五回内國勸業博覽會亦此設備に怠らず、曩きに賣店規則の發布ありたる後、事務局より三十四年十月二十四日に至り、本廳に於ける所要の坪敷を聞合し來れるを以て、本廳に於ては翌十一月一日を以て左の如く各支廳區役所に照會せり。

殖農第三七五八號

第五回内國勸業博覽會場内ニ設置スヘキ販賣店敷地ノ坪數ハ來三十五年八月二十一日迄ニ出品人ヨリ出願可致答ノ處目下各種建築物等地圖ノ都合モ有之豫メ概畧所要ノ坪數承知致度旨同會事務官長ヨリ申越候ニ付賣店開設ノ見込アル出品人ニ就キ賣品ノ種類及所要賣店ノ坪數御取調ノ上來ル十一月二十日迄ニ當廳ヘ到達スル様進達相成度此段及照會候也

明治三十四年十一月一日

殖民部長 高岡直吉

各支廳長

右に對して希望の旨申出ありたるは、函館、小樽、札幌の三區及び室蘭、空知、釧路の四支廳にして他は開設を希望する者無き旨の回答を得たり、然れども希望者所要の坪敷明瞭ならざるを以て、札幌區の主なる營業者をして評議せしめたる結果、全道聯合賣店として五十坪、外に札幌麥酒株式會社獨立の賣店として十坪を要求するに決し、三十四年十二月二十四日付を以て其旨を事務局に回答し、一面には其建築に對し地方費より金五百圓を補助すヘキ目的を以て、第一次北海道會に豫算を提出し其協賛を得たり。

超えて三十五年五月に及び、再び各支廳區役所に左の通牒を發し開設に付き注意を與へ置きたり。
第五回内國勸業博覽會ニ際シ開設スヘキ賣店ノ件ニ就テハ昨年十一月一日付殖農三七五八號ヲ以テ

一應及照會候義モ有之候處右ハ本道生産物ノ販路ヲ擴張スヘキ好機會ニ候條精々御獎勵相成度本廳ニ於テモ其開設企望者ヲシテ北海道聯合賣店ヲ建設セシムルノ必要ヲ認メ候條左記ノ事項並ニ三十四年五月農商務省告示第七十號第五回内國勸業博覽會賣店規則等御垂示ノ上右開設企望者(本會規則各號ノ一ニ該當ス)ノ住所氏名及最近三ヶ年間其賣品ノ數量、販賣價格等御取調來ル六月三十日迄ニ其者ノ出品願書出品目錄ト共ニ御差出相成度此段及通牒候也

明治三十五年五月十六日

殖民部長 高岡直吉

札幌小樽、函館、釧路、空知

各支廳長宛

釧路、根室、松前、室蘭

札幌小樽、函館三區長宛

左記

- 一、北海道聯合賣店開設者ニハ三十五年度北海道地方費ヨリ其建築費トシテ金五百圓補助可相成事
- 二、前項ノ金額以外ニ要スル建築修繕裝飾及開會中(三十五年三月一日ヨリ三十五年七月三十一日まで)ハ勿論其後ニ於ケル賣店ノ管理其他一切ノ費用ハ開設者ノ共同負擔タルヘキ事
- 三、道廳ニ於テ賣店開設企望者ノ出品願書及其賣品最近三ヶ年間毎年ノ販賣高ト價額等ノ調書ヲ得タルトキハ之ヲ取集メ來ル七月十日マテニ各地ノ賣店開設企望者ニ通知スヘキ事
- 四、前項ノ通知書ニハ來ル八月十一日ヲ期シ札幌ニ於テ聯合賣店開設者協議會ヲ開キ左ノ事項ヲ協定スヘキコトヲ記載スヘシ

(イ)賣店ノ設計及第二項ノ費用分擔ノ方法

札幌葡萄酒醸造場主 谷 七太郎

北海道廳長官男爵 園田安賢殿

第五回内國勸業博覽會賣店開設ニ付決議事項

第一、北海道聯合賣店ハ開設スルコトニ協定ス

第二、賣店開設ニ要スル諸費用ヲ假リニ參千貳百八拾八圓ト定ム其内譯ハ左ノ通り

(一) 加入者ヲ二十人ト見積リ一人金百圓ツ、合計貳千圓ヲ出金スル事

但加入者ノ數豫定ヨリ増減アルトキハ隨テ設計ニ増減ヲ生スヘキ事

(二) 五百圓ハ賣品賣上金高ニ應シ按分比例ヲ以テ出金スル事

(三) 五百圓ハ賣店開設建築費ノ内へ御補助ヲ道廳ニ請願スル事

(四) 貳百八拾八圓ハ豫備費トシ閉會後賣店公賣代金ヲ以テ補充スル事

第三、加盟者中一人ヲ推舉シテ大阪ニ出張セシメ賣店建築及開設中管理方ヲ囑託スル事

第四、函館、小樽、其他ノ加盟者確定シタルトキハ加盟者ノ總會ヲ開キ收支豫算其他ノ事項ヲ協議確定スル事

ル事

第五、前項ニ依リ諸事確定ノ上ハ本會賣店規則ニ依リ開設願書ヲ其筋ニ差出ス事

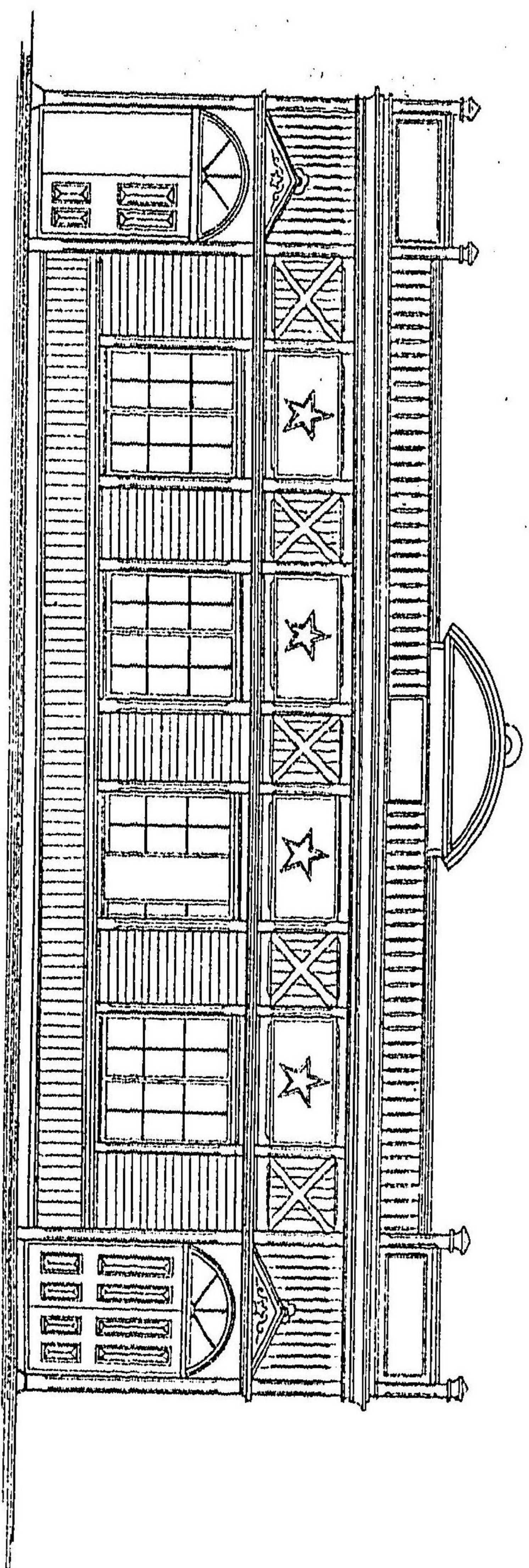
第六、豫算ノ大略ハ別紙ノ通り (別紙略ス)

第七、賣店加盟者等ニ關スル一切ノ事務所ヲ左ノ通り假定ス

札幌區北七條西五丁目四番地高橋儀兵衛方

右之通協議決定候也

北海聯合賣店出賣形正圖 一分百度尺

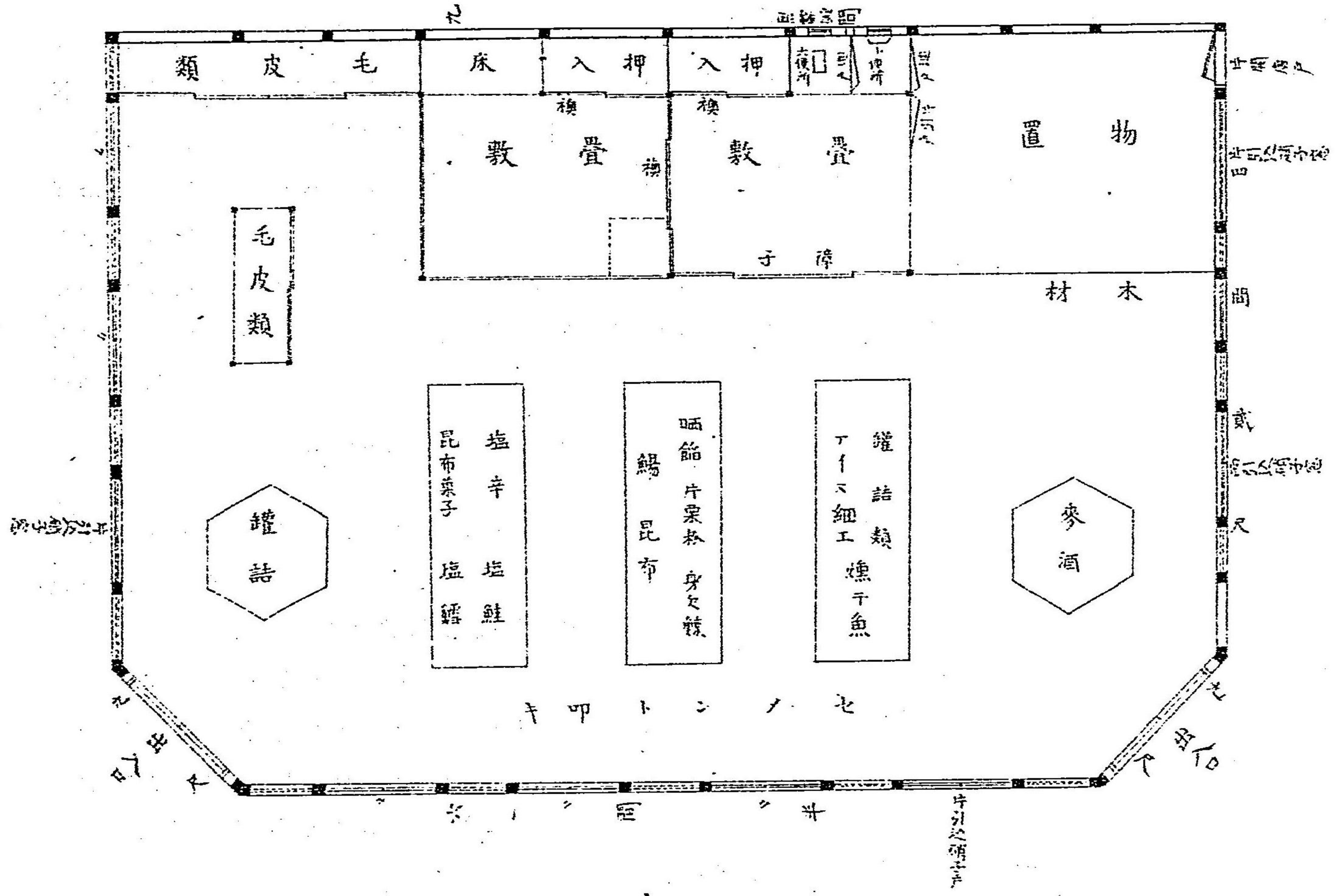


第六拾四圖

第四拾七圖

北海道聯合賣店平面圖

尺度百分之一



明治三十五年六月三日

本廳は右の願書を受理するや、直ちに其協議事項と收支概算とを添へ、函館、小樽の兩區長及商業會議所會頭に移牒し、兩區内重なる當業者に勸誘して至急聯合賣店開設事務所に申込み、共同して出願すべき様訓示したり。其後、本道賣店の敷地として四十五坪を配付せらるべき旨事務所より内報を得、札幌麥酒會社は場内に於て別に敷地使用の許可を得たる飲食店と聯合して麥酒を販賣することとなりたるを以て、全坪敷は全く聯合賣店の建築敷地とすることに決したり。是に於て建坪の増加に伴ふ建築費の不足は之を本廳より補助する必要があるを認め、更に三十五年度地方費に對し追加豫算として千五百貳拾五圓を要求し、第二次臨時道會の協賛を経たり。又一方に於ては發起人の盡力に依り、札幌、函の三區に於て多分の寄附金を募集し得たり。

○補助金の交付

賣店に關する諸般の設備は、漸次其歩を進め、發起人は明治三十五年八月二十六日に至り左の願書の本廳に提出するに至れり。

第五回内國勸業博覽會ニ付北海道聯合賣店建築費補助願

來ル明治三十六年三月一日ヨリ大阪ニ於テ第五回内國勸業博覽會御開設相成候ニ付テハ吾々出品人共同北海道聯合賣店ヲ開設シ本道物産ノ眞價ヲ内外ニ紹介仕度候間賣店建築費御補助被成下度別紙設計收支豫算書相添此段奉願候也

明治三十五年八月二十六日

石狩國石狩郡船場町二十五番地

高橋儀兵衛
外五名

北海道廳長官男爵 園田安賢殿

第五回内國勸業博覽會北海道聯合賣店開設豫算

收入ノ部

一金參千八百〇五圓也

内

金貳千〇貳拾五圓

賣店建築費

是ハ北海道廳へ補助請願ノ分

金五百圓

賣店賣却代收收入見込

金千貳百八拾圓

加盟者醜金及寄附金

是ハ札幌小樽其他有志ノ贊助ト聯合賣店開設者ノ負擔ニ係ル分

支出ノ部

一金參千八百〇五圓也

内

金貳千〇貳拾五圓

賣店建築費

是ハ賣店建設四十五坪一坪金四拾五圓但シ屋根ハトタン板ヲ用ユ

金參百圓

賣店裝飾費

是ハ看板其他裝飾一切ニ充ツル見込

金百八拾圓

店費

是ハ三十六年二月十五日ヨリ八月十五日マテ六ヶ月一ヶ月金參拾圓ツ、消耗品家具其他雜

費共

金貳百圓

報酬

是ハ賣店建築及開設中管理者報酬

金貳百圓

豫備費

金貳百圓

交際費

金六百參拾圓

給料

是ハ店員大小七人一人一ヶ月平均金拾五圓ツ、六ヶ月分

金七拾圓

旅費

是ハ店員往返旅費

明治三十五年八月二十六日右ノ通協定候也

右に對し本廳は詮議を経て左の指令を與へたり。

北海道廳指令第五三四二號

石狩國石狩郡石狩町字船場町二十五番地

高橋儀兵衛

札幌區南六條西三丁目二番地

小村密雄

同 區北二條東三丁目番外地

札幌麥酒株式會社
專務取締役 植村澄三郎

札幌區北二條東三丁目九番地
谷七太郎

同 區北六條西七丁目二番地
札幌製粉株式會社
社長 永田巖

同 區南二條西三丁目十八番地
一柳仲次郎

第五回内國勸業博覽會北海道聯合賣店開設願ノ件許可ス

但シ右ニ要スル敷地使用及建築等ニ關シテハ第五回内國勸業博覽會當廳事務員ノ指揮ヲ受クヘシ

明治三十五年十二月十二日

北海道廳長官男爵 園田安賢

補助金の下附に就ては更に左の指令を與へたり。

石狩國石狩郡石狩町字船場町二十五番地

高橋儀兵衛

札幌區南六條西三丁目二番地

小村密雄

同 區北二條東三丁目番外地

札幌麥酒株式會社

專務取締役 植村澄三郎

同 區北六條西七丁目二番地

札幌製粉株式會社

社長 永田巖

同 區北二條東三丁目九番地

谷七太郎

同 區南二條西三丁目十八番地

一柳仲次郎

第五回内國勸業博覽會北海道聯合賣店建築費補助トシテ金貳千〇貳拾五圓補助候條左ノ條項ニ據リ
經營スヘシ

明治三十五年十二月十二日

北海道廳長官男爵 園田安賢

一 賣店ノ開設人ハ第五回内國勸業博覽會賣店規則ヲ遵守スヘシ

一 賣店ノ建築ハ曩キニ出願人ノ提出シタル設計ニ據ルヘシ若シ已ムヲ得サル事故ノ爲メ其設計ヲ變更セントスルトキハ豫メ本廳ノ許可ヲ受クヘシ

一 賣店ノ建築ハ明治三十六年二月十五日迄ニ竣功セシムヘシ

一 本文ノ補助金ハ建築全部落成ノ上之ヲ交付ス但シ止ムヲ得サル場合ニ在テハ建築成工ノ程度ニヨリ金五百圓マテヲ内渡スルコトアルヘシ

- 一 賣店ヲ開始シ又ハ閉鎖セントスルトキハ豫メ本廳事務員ニ届出ツヘシ
- 一 賣店共同聯合者ハ豫メ各自ノ間ニ利益及ヒ損失ニ關スル申合規約ヲ作り本廳ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 賣店ノ經營ニ關スル規定等ヲ設ケントスルトキ亦同シ
- 一 賣店共同聯合者ハ前項ノ申合規約若クハ規定ニ據リ賣店管理人ヲ選定シテ本廳ニ届出ツヘシ
- 一 賣店管理人ハ建築起工ノ當初ヨリ閉會迄賣店ノ經營ニ付キ本廳事務員ノ指揮監督ヲ受クヘシ
- 一 賣店管理人ハ賣店ニ關スル一切ノ收支ヲ帳簿ニ明記シ時々本廳事務員ノ檢閲ヲ受クヘシ
- 一 閉會後ハ收支一切ノ計算ヲ明記シ其成績ヲ本廳ニ報告スヘシ
- 一 以上各項ニ背キタル場合ハ本文ノ補助金ヲ交付セス若クハ既ニ交付シタル補助金ヲ還納セシムルコトアルヘシ

○賣店の成績

聯合賣店の販賣を開始したるは明治三十六年三月六日にして、全年七月三十一日本會の閉會と共に閉鎖したり、三月中は各館出品物の整頓せざると他府縣賣店の開店せざるものありしとに由り甚たしき難關を極むるに至らず、販賣高の如きも一月百圓前後なりしか四月に入りてより遂かに觀覽人の數を増し、之と同時に賣店の繁榮は實に豫想外にして、本道賣店の如きは、毎日午後二時より全五時頃までは店頭殆んど立錫の餘地無きまでに混雜を極め、從て賣上高の如きも前月に倍するに至れり、爾來引き続き觀覽者の増加に伴ひ販賣高多きを加へ、六、七の二月は連日降雨の爲め少しく顧客を減せり、左に其賣上高の週計及通計を掲ぐ。

賣店販賣高一覽表

期別	自三月八日		自三月十四日		自三月十五日		自三月廿一日		自三月廿二日		自三月廿八日		自三月廿九日		自四月四日		自四月五日		自四月十一日		自四月十二日		自四月十八日		通計	
	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人		
鮮蠶繭	124,820								19,500	19,500	20,000	20,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	38,000	38,000	71,000	71,000	108,260	108,260	674,520	
ビール	7,370								2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	2,080	26,800
毛皮	22,000								5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	5,710	15,500
昆布	18,675								23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	23,967	131,980
小麥粉									6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	6,425	20,920
木材									9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
林檎									2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	18,230
土人細工									2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	21,835
乳酪									2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	38,400
類其他																										
計	54,935								80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	80,230	400,575

期別	通計	自四月十九日		自四月廿五日		自四月廿六日		自五月九日		自五月十日		自五月十六日		自五月十七日		自五月廿三日		通計
		内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	
鮭鱈類	1,930,000	1,050,000	880,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,930,000
ビール	2,160,000	930,000	1,230,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
毛皮	4,410,000	5,265,000	6,120,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000	4,410,000
昆布	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000	2,890,000
小麥粉	0,750,000	2,010,000	3,390,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000	0,750,000
木	7,190,000	1,815,000	3,000,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000	7,190,000
林	1,815,000	5,050,000	3,000,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000	1,815,000
土人細工	5,500,000	4,930,000	9,430,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
乳酪	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000	4,300,000
類其他	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000
計	5,930,000	1,090,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000	5,930,000

期別	通計	自五月廿四日		自五月三十日		自六月六日		自六月七日		自六月十三日		自六月十四日		自六月二十日		自六月廿七日		自六月廿八日		通計
		内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	
鮭鱈類	6,080,000	1,900,000	4,180,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000	
ビール	8,830,000	5,400,000	3,430,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	8,830,000	
毛皮	9,690,000	4,000,000	5,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	9,690,000	
昆布	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	2,030,000	
小麥粉	1,710,000	1,350,000	3,060,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	1,710,000	
木	4,840,000	7,060,000	2,220,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	4,840,000	
林	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	
土人細工	3,330,000	1,000,000	4,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	3,330,000	
乳酪	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	1,410,000	
類其他	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	2,640,000	
計	5,730,000	690,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	5,730,000	

期別	通計		通計		通計		通計		通計		通計	
	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人	内國人	外國人
鮭鱒類	2,330,000	2,330,000	1,700,000	1,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000	2,700,000
ビール	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000
毛皮	9,350,000	9,350,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
昆布	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000	1,120,000
小麥粉	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000	1,390,000
木材	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000	2,250,000
林檎	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000	1,970,000
土人細工	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000	7,290,000
乳酪	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000	8,500,000
燻乾魚	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000	2,060,000
類其他	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000	3,300,000
計	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000	21,990,000
合計	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000

開期の半はを過ぎて大阪府賣店主催となり、振商會なるものを起し、各府縣賣店の聯合より成る福引的景品を添付して販賣高を増さんとすの計畫あり、多數の賣店は之に加盟したれとも本道賣店は其必要を

認めざるを以て之に加盟せざりき。

○加盟者及其賣品並に其賣上高

聯合賣店最初よりの加盟者は、札幌製粉株式會社外十一名にして、其後賣店の盛況を聞きし特に物品を送付して販賣を囑托せしもの五名、合計十七名とす、其賣品及販賣高左の如し。

開設人各自販賣高一覽表

品目	金額	地名	氏名
毛皮類	六、三六八、七九〇	根室	植田元治郎
昆布類	四、三二〇、七八五	根室	藤野辰次郎
鮭、鱒、鱈類	四、八七二、三六〇	石狩	高橋儀兵衛
製鮭、鱈、鱈類	一、三三三、四三〇	札幌	札幌酒株式會社
製鮭、鱈、鱈類	一、七九九、九八五	札幌	札幌酒株式會社
製鮭、鱈、鱈類	八、一五九、九一〇	札幌	札幌酒株式會社
土人細工物	九、八七五、七五〇	全	岡本重助
晒粉	三、三三三、三六〇	全	札幌製粉株式會社
小麥粉	一、二〇六、九四〇	全	天鹽製粉株式會社
木材類	三、六二六、〇〇〇	札幌	岩淵利助
乳酪類	二、九一六、二二〇	全	北海道製粉株式會社
亞麻織物	二、六八四、八五〇	全	木下清次郎
半果物	三、九九五、〇〇〇	全	渡邊清俊
濃粉	四、二七五、〇〇〇	小室	永木長五郎
雲丹	—	—	—
鹽鯨	—	—	—

第九章 賣店

二百二十九

身 缺 鍊	四〇〇〇	小 樽	渡 邊 兵 四 郎
開 計	二二五四〇	札	中 村 音 次 郎
合 計	一四、七六五、三九四		

二百三十一

之を要するに以上の如き成績を得たるは本道販賣物品の他府縣に異りて人目を惹きたるに由ると雖、建築の設計宜しきを得て觀覽人の入り易く見えしもの亦與て効ありと云ふへし。

賣店の事務は、最初より加盟者の推選したる札幌麥酒株式會社事務取締役植村澄三郎大阪に於ては同人の代理として同會社大阪支店長増田多郎終始幹旋したり及藤野四郎兵衛本店支配人松本良太郎之を管理し本廳事務員之を監督したり。閉店後收支を計算して尙殘餘ありたるを以て、各地有志寄附金者へ夫々謝狀を添へて紀念品を分配し、常務管理者二名には慰勞紀念として銀杯を贈與し、尙殘金百六十六圓五十一錢三厘ありたるを以て、加盟者の決議に依り、之を北海道物産陳列場費の内に寄付し、賣店の事務全く終了を見たり。左に其收支計算を掲ぐ。

賣店收支計算

收 入	道 廳 補 助 金
一金貳千貳拾五圓	寄 附 金
一金千貳百八拾圓	賣店賣上手數料
一金參百七拾參圓參拾六錢五厘	賣店一切賣却代
一金參百拾七圓	預 金 利 息
一金拾圓貳拾貳錢	
合計金四千五圓五拾八錢五厘	

支 出

一金貳千參百四拾五圓參錢五厘	賣 店 建 築 費
一金五百拾貳圓拾五錢	給 料
一金八拾六圓貳拾五錢九厘	陳列臺設置及修理費
一金五拾七圓貳拾五錢	新 開 廣 告 料
一金四百四拾九圓八拾六錢八厘	裝 飾 消 耗 家 具 雜 費
一金八拾參圓拾壹錢	電 燈 料
一金百九拾五圓四拾錢	紀 念 品 新 調 代
一金百拾圓	雇員主任以下手當金
合計金參千八百參拾九圓七錢貳厘	
差 引	殘 金
金百六拾六圓五拾壹錢參厘	

○加盟者並に有志者の寄付

賣店の費用に關しては、地方費補助の事あり、當事者も亦固より之を分擔すへきは論なしと雖も、尙ほ或は足らざるを憂ふ、此に於てか發起人は左の檄文を札、楨、函の三區有志者に送り、以て其寄付を求めたり。

拜啓時下殘暑ノ候益御清穆奉慶賀候借來三十六年大阪ニ於テ第五回内國勸業博覽會開會ニ際シ本道生産品ノ紹介且販路擴張ノ爲メ不省等發起人ト相成共同賣店開設ノ計畫中ニ有之候抑賣店開設ノ主旨タル會場ニ出品セル同種類ノ物品ヲ同一ノ價格ヲ以テ場外ニ於テ販賣シ以テ來觀者ノ需用

ニ供シ其希望ヲ滿タスト共ニ販路ノ擴張ヲ期スルニシテ決シテ賣店加盟者ノミノ利益ヲ謀ルモノニ非サルハ今更申上ルマテモ無之儀ニ御座候
 而シテ本道賣店ノ建築裝飾等ハ府縣ノ賣店ニ比シ遜色ナキヲ期セサル可ラスト雖モ本道ノ出品タル未タ美術的又ハ工藝的製產品ニ乏シキヲ以テ一層其裝飾意匠等ニ留意シ觀客ノ注意ヲ惹クコトニ努ムル必要有之候

右ノ如クナルヲ以テ自然多額ノ經費ヲ要シ從テ賣店加盟者ノ力ノミニテハ能ク耐ヘ得ル所ニ無之而シテ札幌麥酒會社及ヒ札幌葡萄酒釀造所製品ノ如キハ敢テ小賣ヲ主トセサルニモ拘ラス進テ加盟セラレタルハ畢竟賣店ノ經營維持ヲ補助スルノ精神ニ出テラレタルモノト存候
 以上陳フルカ如ク本賣店開設ノ義ハ只管博覽會ヲ好機トシ廣ク本道物産ノ眞價ヲ紹介スルヲ以テ目的トスルニ外ナラサル義ニシテ素ヨリ毫モ營利ノミヲ目的トシタル次第ニ無之候條何卒生等ノ微意御諒察相應ノ義捐被成下不省等首唱ノ目的ヲ貫徹セシメラレシコト切望ノ至ニ不附候此段得貴意度敬具

明治三十五年八月二十六日

第五回内國勸業博覽會北海道聯合賣店開設發起人

高橋 儀兵衛
 小村 密雄

之に對する加盟者並に有志者の寄付金左の如し。

各地有志者寄付金額
 一金七百圓也
 札幌寄付金

内 譯

金百五拾圓	札幌麥酒株式會社	金百圓	北海道製麻株式會社
金百圓	北海道炭礦鐵道株式會社	金百圓	藤野四郎兵衛
金五拾圓	高橋儀兵衛	金參拾圓	札幌製粉株式會社
金參拾圓	北海道農會	金參拾圓	植村澄三郎
金參拾圓	谷七太郎	金貳拾圓	曾根靜夫
金貳拾圓	今井藤七	金拾圓	岩淵利助
金拾圓	渡部文三郎	金拾圓	一柳仲次郎
金拾圓	岡本重助	小樽	寄附金
一金四百圓也			

内 譯

金五拾圓	天鹽木材株式會社	金拾圓	山田吉兵衛
金拾圓	高野源之助	金七圓	渡邊兵四郎
金七圓	共成株式會社	金七圓	木村圓吉
金七圓	小川柳太郎	金七圓	金子元三郎
金七圓	板谷宮吉	金七圓	大野九平
金七圓	高橋合名會社	金七圓	津田源與門
金五圓	福長作太郎	金五圓	木村源三郎
金五圓	早川兩三	金五圓	麻里英三

金五	圓	佐藤 壽吉	金五	圓	遠藤治郎右衛門
金五	圓	本間賢次郎	金五	圓	倉内 嘉藏
金五	圓	田中武右衛門	金五	圓	田中 銀行
金五	圓	三木七郎右衛門	金五	圓	遠藤又兵衛
金五	圓	花田 傳七	金五	圓	新谷 喜作
金五	圓	武田 信政	金五	圓	松林 重熙
金五	圓	名取高三郎	金五	圓	小樽 銀行
金五	圓	北海道商業銀行	金五	圓	岩淵 道三
金五	圓	北海 銀行	金五	圓	今井合名會社
金五	圓	杉山 喬	金五	圓	龜尾 紋藏
金五	圓	中谷 宇吉	金五	圓	拾二 銀行
金五	圓	岡本 武藏	金五	圓	宮腰 定作
金五	圓	濱名甚五郎	金五	圓	鈴木市次郎
金五	圓	村住三右衛門	金五	圓	中立 銀行
金五	圓	倉橋 大介	金五	圓	添田 彌
金五	圓	渡邊幸次郎	金五	圓	早川善太郎
金五	圓	寺田 省歸	金五	圓	矢崎常三郎
金五	圓	藤山 要吉	金五	圓	米谷 秀司
金五	圓	白鳥 永作	金五	圓	鹽田回漕店

一金壹百八拾圓也

金五	圓	林 清一	金五	圓	拓殖 銀行
金五	圓	堀井音次郎	金五	圓	村林巳之助
金五	圓	松田直次郎	金五	圓	青木 乙松
金五	圓	壽原重太郎	金五	圓	中西勝右衛門
金五	圓	日本郵船會社支店	金參	圓	渡邊 三藏
金參	圓	篠田 治七	金參	圓	工藤 要助
金參	圓	河野 正治	函館 寄付 金		
內 譯					
金參拾圓	圓	松下 熊樾	金貳拾圓	圓	植田元治郎
金拾圓	圓	岡本 忠藏	金拾圓	圓	内野 高吉
金拾圓	圓	辻 快三	金拾圓	圓	渡邊熊四郎
金拾圓	圓	谷津菊右衛門	金拾圓	圓	山田庄三郎
金拾圓	圓	金澤 彦作	金拾圓	圓	菅谷 善司
金拾圓	圓	佐野 定七	金拾圓	圓	山縣勇三郎
金拾圓	圓	平出喜三郎	金拾圓	圓	内山 吉太
金拾圓	圓	遠藤 吉平			

第十章 觀覽

○優待券及特別入場者

本廳管内に於て事務局より優待券の交付を受けたる者左の如し。

北海道廳長官	男爵 園田安賢	北海道廳事務官	大塚 貢
函館支廳長	龍岡 信熊	小樽支廳長	橋本 求
札幌支廳長	齋藤 親廣	松前支廳長	波邊 佳介
檜山支廳長	粟津 九郎	壽都支廳長	赤壁 次郎
岩内支廳長	山田 有斌	空知支廳長	村津 寛
上川支廳長	久保 誠之	増毛支廳長	園田 雄吉
宗谷支廳長	松方 勇助	網走支廳長	吉田 直太郎
室蘭支廳長	長友 安孝	浦河支廳長	西 忠 義
釧路支廳長	山部 總俊	河西支廳長	上野 直温
根室支廳長	高瀬 深策	紗那支廳長	岩波 常景
函館區長	林 悅郎	小樽區長	山田 吉兵衛
札幌區長	加藤 寛六郎	北海道々會議長	中西 六三郎
北海道々會議議長	渡邊 兵四郎	函館商業會議所會頭	岡本 忠藏
函館商業會議所副會頭	辻 快三	小樽商業會議所會頭	高野 源之助
小樽商業會議所副會頭	板谷 宮吉	北海道農會長 農學博士	佐藤 昌介

北海道農會副會頭	伊藤 廣幾	函館商業學校長	神山 和雄
函館商船學校長	前田 淨一	北海道農事講習所長	吉澤 誠藏
北海道農事試驗場長	伊吹 翁造	北海道廳地方農事試驗場長	齋藤 謙吉
北海道水産試驗場長	藤村 信吉	從五位男爵	伊達 邦成
從五位男爵	伊達 正人	從五位男爵	片倉 景光
正六位勳四等	吉田三郎右衛門	正八位勳六等	田村 顯允
綠綬章受領者	依田 勉三	全	依田 佐二平
全	高田 萬次郎	全	新村 久兵衛
藍授章受領者	藤野 喜兵衛	全	柳田 藤吉
全	渡邊 伊平	全	和田 郁次郎
全	石川 光親	全	阿部 仁太郎
全	吉田 善太郎	全	金子 定吉
北海道果樹協會々頭 農學博士	應 次郎	北海道林業會長	高橋 琢也
北海協會々頭	伊藤 一隆	北海道與産會々頭 侯爵	菊亭 修季
北海道蠶絲協會長	足立 民治	札幌實業協會長	對馬 嘉三郎
小樽實業協會長	倉橋 大介	江差實業協會長	加藤 協三郎
北海タイムス社主幹	阿部 宇之八	北鳴新聞社長	伊東 正三
北辰日報社長	木村 秀實	北星新聞社主	吉田 辰三
函館毎日新聞社長	平田 文右衛門	函館日々新聞社長	小橋 榮太郎

函館公論社長	菅原精	北海新聞社長	廣谷 榎
北民社長	奥田 懋	北海道新聞社長	長谷川又太郎
小樽商業新報社長	粒 羅 彪	小樽毎日新聞社長	三角 茂 喜
小樽新聞社長	上田 重 良	北海道江差毎日新聞社長	寺川 半之丞
江差日々新聞社長	小林 屹 郎	北光社長	白土 宇 吉
北海旭新聞社長	中島 民二郎	室蘭時報社長	岡田 房之助
根室時事社長	三井 澤 藏	根室毎日新聞社長	弓削 春 雄
岩内時事社長	佐藤 健 成	岩内新報社主	丸山 浪 彌
厚岸新聞社長	木下 成 太郎	函館ハッル商賣社長英國人	ジョー、エー、ウヰルソン
函館露國セメソフ商會代表者	シ ョ ン、バ チ エ ラー	函館紳商	支那人 張 尊 三
札幌宣教師	ジョーン、パチエラー	露國領事	マシツド、ヘテンストロム
英國副領事	アール、ジョー、イー、フガースタイ		

合計九十一人

右の外、出品物、出品人及観覧人の舟車馬賃割引を承諾したる管内運輸業者九十名に對しては、事務局より特別入場券を交付せられ、農林、水産、教育、工藝及美術に關し、研究を希望する者は本廳、支廳、學校等の職員並に農會員、水産組合員、商業會議所役員に限り特別入場券の交付を得るを以て、本人の希望に依り、本廳より事務局に照會の上特別入場券を交付せられたる者七十九名ありたり。

○出品人の特典

出品人は自己出品物に對する陳列裝飾其他に就て時々館内に出入するの用務あるべきを以て、事務局に於て出品人の無料入場を許可したり。但し其出品人たるを證明する手段として、出品人自己の寫眞に管轄地方廳の事務所より證明を得、更に事務局の證明を得たるものを携帶せしむることとせり。本廳に於ける右證明人員は二十一名に過ぎざりし、蓋し普通の出品人は三五日にして概ね観覧を了り歸國するを常とするを以て、撮影の暇無きか若しくは其手数の繁雜を厭ひて観覧券を購ひしに由るならん。出品人は又出品地より開會地迄の間を往復するに、流車賃、汽船賃の割引を求むるを得たり。其割引率は概ね二割にして、本廳及び大阪事務所に於て直接、間接に交付したる割引券三千五百九十枚に及へり。出品人にして前項の無料入場寫眞を撮影せざるものに對しては、協賛會より事務所に贈與せられたる観覧券一日分を交付したり。但し右贈與せられたる観覧券は其數五百枚に過ぎざりしを以て、交付し盡したる後は出品人自費を以て観覧券を購求したり。

○一般観覧人

一般観覧人に對しても、割引券を所持する者にして(鐵道會社によりて割引券を要せざるものもあり)大阪迄の往復切符を購ふ者には一割の割引をなすべきを以て、本廳より各支廳、區役所を経て配付したる割引券三千九百八十六枚に及へり。然れども本道は開催地を距ること甚だ遠く、且開會中は恰も鯨漁期に際したるを以て、普通観覧人は甚だ少數なりしか如し、其観覧人は悉く本廳事務所に来らざりしにより、詳細の統計を作る能はずと雖、事務所に来りし者に對しては、不案内の者には旅宿を指定し、若くは観覧の順序を説明する等の便宜を與へたること鮮ならず、特に其宿所は事務所に備付けたる帳簿に一々之を記載せしめ、前後來所の者に公示したるを以て、數百里外の異郷に於て知己相互に訪問するを得たるか如きものも多かりしを信ず、其帳

簿に記載したる人員は出品人を通して百九十二名に及へり。

第十一章 經費

○豫算並に決算

經費豫算は、最初三十五年度分壹萬六千參百四拾九圓參拾五錢なりしも、賣店補助費に於て千五百貳拾五圓事務所費に於て百貳拾五圓を増加し、三十六年度分は五千八百八拾參圓五拾參錢にして、合計貳萬參千八百八拾貳圓八拾八錢となれり、其明細は左の如し。

科 目	三十五年度		備 考
	豫算額	決算額	
第五回内國勸業博覽會費			
官廳出品物調製	一七,九九九.三五〇	一三,三二九.〇一五	
井二運搬荷造費	三,三二八.四五〇	二,八二八.六三八	
出品物運搬補助費	二,五五三.〇七〇	四〇五.六八八	
陳列及裝飾費	八,二〇七.七一五	五,五七六.五五五	外金壹千圓ハ事務所費へ流用
賣店補助費	二,〇二五.〇〇〇	二,〇二五.〇〇〇	
事務所費	一,八九五.一一五	二,三九三.一三四	内金壹千圓ハ陳列及裝飾費ヨリ流用
科 目	三十五年度	三十六年度	備 考
第五回内國勸業博覽會費			
事務所費	五,八八三.五三〇	四,五三一.一七八	三十六年度ハ決算未済ニ付三十七年二月二十三日迄支拂額ヲ掲ケハ動
官廳出品費	一,八一五.五一〇	二,二一〇.九四三	内參百九拾五圓四拾參錢參厘ハ動
官廳出品費	一,八六六.八二〇	一,五五一.四〇〇	物運搬補助費ヨリ流用

動物運搬補助費

二,二〇二.〇〇〇

七六八.八三五

外參百九拾五圓四拾參錢參厘ハ事務所費へ流用

参考の爲め左に各府縣の經費額を掲げ一覽に便す。

第五回内國勸業博覽會各府縣經費豫算及決算額一覽表

府縣名	三十五年度		三十六年度		備 考
	豫算額	決算額	豫算額	決算額	
東京府	二八〇,六四七.四〇〇	二七七,六〇〇.五五七	九,九九六.〇〇〇	九,七四〇.〇六九	三十六年度分ハ決算未済ニ付三十六年十二月迄仕拂額ヲ掲ス
京都府	一六,九三五.八〇〇	一六,五五二.五三九	四,七四〇.二〇〇	四,六二七.五四二	
大阪府	三三,五二六.一〇〇	三三,九六一.六四三	一〇,四六六.六五〇	九,〇一〇.七四四	三十六年度決算額ニ對スル不足額ハ他費目ヨリ流用
兵庫縣	六,三五八.六九一	六,一九三.五三七	二,七四四.八九五	二,八三三.七八〇	三十六年度分ハ決算未済ニ付三十六年十二月迄仕拂額ヲ掲ス
神奈川縣	一五,四四八.三五四	一五,四四八.三五四	六,二二六.七九二	六,二二六.七九二	
長崎縣	七,九九九.六七〇	七,二三五.四九九	四〇,一九五.二〇〇	三二,四六一.〇〇四	内賣店補助七百三十九圓六十三錢 三十六年度分ハ決算未済ニ付三十六年十二月迄仕拂額ヲ掲ス
新潟縣	一〇,六六一.五〇〇	九,四四一.四四三	六,三六四.一四七	五,七九二.八九九	内賣店補助八百圓
埼玉縣	七,七四三.三五〇	六,八〇八.六〇〇	七,二九五.六〇〇	六,〇五五.五七七	賣店及祝祭費補助三千五百圓 三十六年度分ハ決算未済ニ付三十六年十二月迄仕拂額ヲ掲ス
群馬縣	八八,一七五.七〇〇	七九,三三九.一六六	三,一〇五.四七〇	二,九三五.九二四	三十六年度分ハ決算未済ニ付三十六年十一月迄仕拂額ヲ掲ス

